

橋本市民病院

2022年度



病 院

年 報

HASHIMOTO MUNICIPAL HOSPITAL
HOSPITAL ANNUAL REPORT



2022年度の病院年報が完成しました。2022年度も一般診療を守りながら、コロナ対応に追われた1年でした。2022年度は、コロナ感染による院内クラスターがあり、救急受け入れや新規入院の制限など診療上大きな影響がありました。スタッフ皆さまもそれぞれ個人的および家庭生活など負担のかかる中で病院診療に努めていただいたこと心より感謝いたします。

経営については、クラスターによる診療制限の影響もあり一日入院患者数は前年度に比べ減少しており、給与費、材料費、諸経費などが増加、またコロナ補助金の減少など含めた総収支については前年度より減少しております。

その中で、入院外来などの医業収益は前年度より増加しました。救急車受け入れ件数も22%増加で年間2500件を超えております。各科診療および各部署の頑張りによるもので、また委員会活動各チーム医療活動についてもコロナ前と同様の活動を継続いただいたスタッフ皆さまに感謝申し上げます。

2023年5月からは感染症法上の5類へと分類され、新たな診療体制が開始されています。経営についてまた診療体制の再検証など新たなスタートとなります。地域医療における国が進めるキーワードとして、紹介重点医療機関、かかりつけ医制度があります。また行政が第8次医療計画の策定を計画しており、5疾病6事業（新たに感染症対策が追加）それぞれにおける当二次医療圏の中での、そして和歌山県全体の中での橋本市民病院に求められるあり方が示されてきます。今後地域の中でかかりつけ医である診療所との役割分担を明確にし、地域の基幹病院としての役割・機能を担う橋本市民病院であることが具体的に求められます。橋本市民病院スタッフの方々にはご理解ご協力をお願い申し上げるとともにいろいろご意見をいただきながら進めていければと思います。

またこの病院年報をお手にしていただいた医療機関や地域の方々につきましても、橋本市民病院に対して、これまで同様今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2023年8月

目次

巻頭言

ごあいさつ

目次

I 病院の概況

病院の理念 基本方針	1
患者の権利と義務	1
病院の沿革	2
病院の概要	4
病院組織図	8
職員数推移	9
施設基準一覧	10
経営状況	12

II 医事統計

1-1 科別1日平均患者数	14
1-2 1日平均入院患者数	14
1-3 1日平均外来患者数	15
2-1 新入退院数(科別)	16
2-2 施設基準上の平均在院日数	17
2-3 科別平均在院日数(単純計算)	17
3-1 病棟別延べ患者数	18
3-2 病棟別入退院数	18
3-3 重症度、医療・看護必要度	19
4-1 紹介率・逆紹介率(割合)	20
4-2 紹介患者数(初診)	20
5-1 救急車件数	21
5-2 救急車搬送元別	21
5-3 消防搬送先	22

III 診療情報(年次報告)

月別退院患者数	24
診療科別退院患者数	28
診療科別上位5疾患	32

IV 診療科紹介

総合内科	38
消化器内科	40
代謝内科	42

呼吸器内科	44
小児科	46
産婦人科	47
外科	49
整形外科	53
脳神経外科	55
脳血管内治療科、脳血管内治療センター	57
眼科	59
泌尿器科	60
麻酔科	62
放射線科	63
歯科口腔外科	64
皮膚科	66
病理診断科	67
循環器内科	68
救急科	70
健診センター	71
V 看護部紹介	73
看護部	74
外来	84
3階西病棟	85
3階東病棟	86
4階西病棟	87
4階東病棟	88
5階西病棟	89
5階東病棟	90
HCU病棟	91
中央手術室 / 中央材料室	92
VI 診療技術部紹介	93
薬剤部	94
臨床検査科	96
放射線科	99
臨床工学科	101
リハビリテーション科	103
栄養管理科	107
歯科技工室	110
地域医療部	111
医療安全管理部	119

Ⅶ 事務局紹介	121
総務課	122
医事課	123
診療情報課	124
Ⅷ 委員会紹介	127
委員会組織図	130
Ⅸ 連携登録医名簿	131

I 病院の概況

理 念

1. 医療を介して地域の発展に尽くす
2. こころの通う医療で地域住民の健康の保持・増進に尽くす
3. 中核病院としての機能の向上に尽くす

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、理解と納得に基づいた信頼される医療を目指します
2. 急性期医療を中心に、安全・良質で適切な医療を提供します
3. 病病連携、病診連携に努め、地域完結型医療を推進します
4. 医学の研鑽に励み、地域での医療の進歩と後進の育成に寄与します
5. 行政の医療、保健、福祉施策に積極的に参画します
6. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

患者の権利

1. 人格を尊重される権利
2. 質の良い医療を平等に受ける権利
3. 病気について納得できるまで説明を受ける権利
4. 自分の病気に対する治療・検査等を自分で選択し、自分で決定する権利
5. 自分の受けている医療に対する情報を知る権利
6. 医療上生じたプライバシーを保護される権利

患者の義務

1. 診療にあたって正しい情報を提供する義務
2. 医療へ積極的に参加する義務
3. 規則を遵守して他の患者に対して迷惑をかけない義務

病院の沿革

1947年	伊都郡橋本町大字妻に1町6ヶ村組合立「国保橋本病院」開設
1952年	全館焼失
1953年	橋本市東家に移転
1954年9月	橋本町外七ヶ町村組合立国保病院 (内科、産婦人科、小児科、放射線科)
1957年	結核診療所(50床)開設、病床数163床 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科)
1963年11月	新築第一期工事完成 「国保橋本市民病院」(総合病院)として事業開始 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科、 整形外科、眼科、神経精神科)
1964年11月	新築第二期工事完成 病床数323床(一般130、結核70、精神100、伝染23) 付設准看護婦養成所開校(1991年3月閉所) 救急告示病院の指定
1965年	地方公営企業法適用(一部適用)
1970年5月	有志で託児を開始(市役所別館)
1991年	医療事務業務の委託開始
1992年	伝染病床、精神病床を閉鎖し、一般病床255床となる
1993年	脳神経外科、循環器科開設
1993年10月	病院託児所「ひまわり園」を開設
1994年	訪問看護ステーション併設、橋本市介護支援センター併設、 健診センター(人間ドック)開設
1995年	看護基準2.5対1(13対1)の届出
1996年	泌尿器科開設、眼科の常勤化
1997年	麻酔科開設 地域災害拠点病院に指定
1999年	物品管理システムの導入(3月)、給食業務の全面委託(4月)
2000年	(橋本市) 歯科保健センター開設
2001年	院外処方完全実施(11月)、ナースキャップの廃止(11月)
2003年4月	地域医療連携室開設 院内託児所で給食を開始(病院給食委託業者に依頼)
2003年11月	臨床研修病院(管理型)に指定
2004年4月	地方公営企業法全部適用(市長が管理者を兼務)
2004年10月	放射線科の常勤医化
2004年11月	橋本市小峰台に許可病床数300床(稼働250床)で新築移転(11月) 病院名を「橋本市民病院」に改名 訪問看護ステーション・健診センター・歯科保健センターは併設継続、橋本市介護支 援センターは併設せず、東家地区で継続 院内託児所「ひまわり園」リニューアル
2005年1月	院内託児所において24時間保育を開始
2005年10月	病院事業管理者を設置
2006年3月	DPC(診断群分類包括評価)対象病院の許可(厚生労働省)
2006年4月	心臓血管外科、呼吸器科(4月)、循環器センターの開設(4月) 看護基準10対1看護の届出 女性専門外来、女性泌尿器外来、男性更年期外来開設

2006年 6月	乳腺・呼吸器外科開設
2006年 7月	D P Cによる包括診療開始 和歌山県立医科大学第二病理教室より病理医派遣 (毎週水曜日：病理診断開始)
2006年 9月	皮膚科外来診療科開始
2006年11月	日本医療機能評価機構の認定病院となる
2007年 1月	がん診療連携拠点病院に指定
2007年 3月	地域包括医療・ケア認定施設に認定
2007年 7月	5階東病棟 30床稼働（うち亜急性期病床 20床）
2008年 4月	5階東病棟 20床稼働（300床フルオープン）
2008年 5月	急性期病床 288床、亜急性期病床 12床に変更
2008年 8月	病理診断科開設（常勤病理医着任）
2009年 4月	皮膚科常勤化、耳鼻咽喉科の非常勤体制に変更
2009年 6月	臨床研修病院（基幹型）の返上 和歌山県立医科大学の協力型として継続
2009年 8月	呼吸器内科常勤医 2名退職し、非常勤体制に変更
2009年 9月	和歌山県立医科大学より内科地域枠常勤医師の派遣（2010. 3月まで）
2009年10月	眼科常勤医師 2名体制
2010年 1月	5階東病棟閉鎖（稼働病床数 250床）、亜急性期病床の廃止 呼吸器内科常勤化（近畿大学医学部より常勤医赴任）
2010年 2月	和歌山 DMAT 指定病院に指定
2011年 4月	腎臓内科の開設 5階東病棟の再開、3階東病棟を産婦人科病棟に変更し 46床から 20床に減床 (稼働病床数 274床：うち亜急性期病床 8床) (医療安全管理部、医療安全管理室の開設)
2011年 7月	病院敷地内禁煙の実施 禁煙外来の実施
2011年 9月	基幹型臨床研修病院の指定
2012年 1月	日本医療機能評価機構認定更新 Ver. 6 (認定期間 2011.11.20～2016.11.19)
2013年 2月	医療情報システムの更新
2013年 7月	医療安全管理部、医療安全管理室と独立して医療安全管理部、感染管理室を開設
2013年10月	診療技術部 超音波検査室を開設 H C U 6床開設、地域包括ケア病棟開設 (稼働病床数 280床：うち H C U 6床、地域包括ケア病棟 50床) 救急科の開設、診療情報部を開設
2014年 9月	リハビリテーション科を東館に新設・移転
2015年 4月	へき地医療拠点病院に指定 (稼働病床数 300床：うち H C U 6床、地域包括ケア病棟 50床)
2016年 4月	卒後臨床研修センター開設、総合内科の開設
2016年12月	内視鏡センター開設
2017年 4月	腫瘍内科の開設
2017年 8月	血液内科の開設
2018年 4月	血管内治療センター開設、地域医療部に入退院支援室を開設
2018年 8月	脳死下臓器提供を実施（心臓、肺、肝臓、膵臓、腎臓、眼球の提供）
2019年 3月	乳腺・呼吸器外科常勤医 2名退職し、非常勤体制に変更
2020年 1月	病院マイクロバスの運行停止
2020年 4月	リウマチ・膠原病科の開設
2022年 2月	医療情報システムの更新（NEC 社製 MegaOak/iS）
2022年 7月	地域包括ケア病棟 50床から 49床へ減床

病院の概要

施設名	橋本市民病院
開設者	橋本市長
管理者	橋本市病院事業管理者
所在地	和歌山県橋本市小峰台二丁目8番地の1
開設年月日	昭和38年11月18日
診療科	内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、病理診断科、消化器内科、代謝内科、救急科、腫瘍内科、血液内科、リウマチ・膠原病科
橋本市人口	59,947人（2023年4月30日現在）
地方公営企業法適用	1965年4月1日
指定及び指定医療機関	保険医療機関、救急告示病院、労災保険指定病院、生活保護法指定医療機関、母体保護法医療機関、未熟児養育指定医療機関、原爆被害者一般疾病指定医療機関、妊婦一般健康診査取扱機関、国民健康保険療養取扱機関、結核予防指定医療機関、地域災害拠点病院、小児慢性特定疾患治療研究事業指定病院、特定疾患治療研究事業指定病院、指定自立支援医療機関、地域がん診療連携拠点病院、助産施設、公害医療機関、産科医療補償制度加入機関、日本がん治療認定研修施設、和歌山 DMAT 指定病院、基幹型臨床研修病院、へき地医療拠点病院
学会認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本内科学会認定教育関連施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本消化器病学会専門医認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本口腔外科学会専門医研修機関、日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設、日本脳神経外科学会専門医プログラム研修連携施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医研修施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設、日本病理学会研修登録施設、日本手外科学会基幹研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、マンモグラフィ検診施設、呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本麻酔科学会認定専門医研修施設、日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練施設、日本医学放射線学会画像診断管理認証施設（MRI安全管理に関する事項）、日本消化器内視鏡学会指導連携施設

許可病床数

病棟	病床数
3階西病棟	54床
3階東病棟	41床
4階西病棟	50床
4階東病棟	50床
5階西病棟	50床
5階東病棟（地域包括ケア病棟）	49床
HCU病棟	6床
合計	300床

施設の概況

地域・地区	第一種中高層住居専用地区
防火地域	指定なし
法 22 条地域	指定あり
日影規制	4 時間 / 2.5 時間 測定面積 4 m
敷地面積	43,904.08m ²

本館

建築面積		6,894.80m ²
延床面積	6 階	378.18m ²
	5 階	2,894.00m ²
	4 階	2,894.00m ²
	3 階	3,051.61m ²
	2 階	2,931.13m ²
	1 階	5,882.99m ²
	地 階	3,975.95m ²
	計	22,007.86m ²
階数		地下 1 階 地上 6 階
構造		鉄筋コンクリート造 (免震構造)
高さ		最高高さ 22.98m 軒の高さ 29.50m
駐車台数	総数	674 台
	① 一般用(うち身体障害者用)	344 台 (15 台)
	② 職員用	330 台
部門別面積	(1) 病棟部門	8,659.59m ²
	H C U	352.35m ²
	(2) 外来部門	2,114.70m ²
	一般外来部	1,923.75m ²
	救急部	190.95m ²
	(3) 診療部門	3,389.10m ²
	検査部	789.96m ²
	放射線部	1,224.18m ²
	手術部	813.57m ²
	分娩部	180.02m ²
	特殊診療部	29.02m ²
	(4) 供給部門	2,702.24m ²
	薬剤部	206.40m ²
	材料滅菌室	211.89m ²
	給食室	389.78m ²
	洗濯室	25.04m ²
保管搬送室	313.95m ²	

部門別面積	機械室	1,555.18㎡
	(5) 管理部門	3,061.91㎡
	運営関係	1,929.21㎡
	講堂	318.81㎡
	厚生関係	813.89㎡
	(6) その他	2,080.32㎡
	健診センター	87.66㎡
	総合待合	495.37㎡
	地域医療・健康情報プラザ	43.60㎡
	地域医療部	192.69㎡
	その他	1,261.00㎡
合計	22,007.86㎡	

東館

建築面積		754.74㎡
延床面積	2 階	676.62㎡
	1 階	725.31㎡
	計	1,401.93㎡
階数		地上 2 階
構造		鉄筋造（耐震構造）
高さ		最高高さ 9.93m 軒の高さ 9.28m
部門別面積	(3) 診療部門	520.01㎡
	リハビリテーション部	520.01㎡
	(5) 管理部門	705.80㎡
	運営関係	705.80㎡
	(6) その他	176.12㎡
	その他	176.12㎡
合計		1,401.93㎡

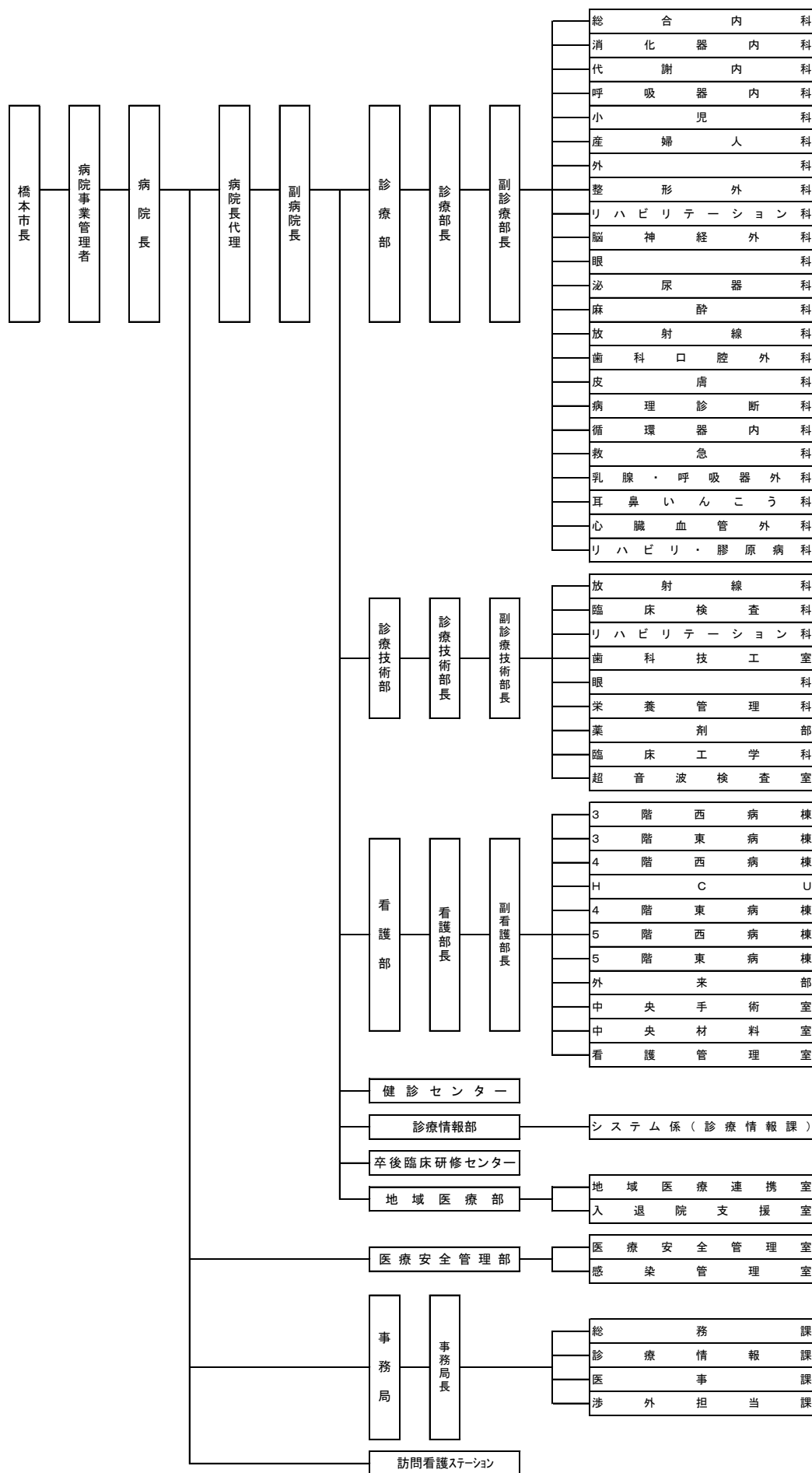
付帯設備概要 本館

(1) 電気設備	受電方式／常用・予備2回線受電方式 変圧器容量／4,825 KVA 予備電源／ガスタービン発電機、無停電電源装置 電池式(MSE型)
(2) 空調設備	空調方式／単一ダクト、VAV、外気処理空調機+ ファンコイルユニット 空冷ヒートポンプ パッケージエアコン 熱源／排熱投入型冷温水発生器×2台 ブラインチラー コージェネレーション発電機185KW×2
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備 連結送水管設備 固定式泡消火設備 ハロン消火設備
(5) 昇降機	一般乗車4基、寝台用2基(自家発管制運転) 人荷用4基(内1基自家発管制運転) 小荷物用1基

東館

(1) 電気設備	予備電源／エンジン発電機、無停電電源装置
(2) 空調設備	空調方式／空冷ヒートポンプ パッケージエアコン
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備
(5) 昇降機	寝台用1基

病院組織図



職員数推移

(単位：人)

病 院		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
診療部	医師	47	41	49	44	48	46	48	47	54	49	55	49
	歯科医師	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
小 計		48	42	51	45	50	47	50	48	56	50	57	50
看護部	看護師	170	30	169	33	167	31	160	32	154	38	160	34
	助産師	10	2	12	2	11	3	11	3	13	4	16	3
	准看護師	2	8	2	6	1	5	1	5	1	5	1	5
	看護助手等	0	40	0	39	0	40	0	55	0	59	0	56
小 計		182	80	183	80	179	79	172	95	168	106	177	98
診療技術部	薬剤師	12	0	10	2	10	1	10	1	13	1	13	0
	放射線技師	10	1	10	1	10	1	10	1	10	1	10	1
	臨床検査技師	12	3	11	4	10	3	12	2	12	2	12	2
	超音波検査士	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	理学療法士	23	0	23	0	23	0	22	0	23	0	23	0
	作業療法士	4	0	4	0	4	0	3	0	4	0	4	0
	言語聴覚士	3	0	3	0	4	0	3	0	3	0	3	0
	臨床工学技士	6	0	6	0	7	0	7	0	7	0	6	0
	管理栄養士	3	1	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0
	歯科技工士	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	歯科衛生士	0	3	0	2	0	4	0	2	0	3	0	2
	その他技師	0	3	0	3	0	3	0	4	0	4	0	4
小 計		75	11	72	12	73	12	72	10	77	11	76	9
事務局	事務職員	19	27	21	31	21	31	22	32	22	36	22	35
	社会福祉士	5	0	5	0	4	0	4	0	5	0	5	0
	その他職員	0	11	0	10	0	12	0	12	0	8	0	10
小 計		24	38	26	41	25	43	26	44	27	44	27	45
合 計		329	171	332	178	327	181	320	197	328	211	337	202
訪問看護ステーション		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
訪問看護ステーション	看護師	-	-	-	-	-	-	0	7	0	8	0	8
	事務職員	-	-	-	-	-	-	0	4	0	4	0	4
合 計		-	-	-	-	-	-	0	11	0	12	0	12
病院事業合計		329	171	332	178	327	181	320	208	328	223	328	223

※ 2020年度に訪問看護ステーションを統合

※各年度3月31日時点の実人数

届出施設基準等一覧

2023年3月31日現在

基本診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
地域歯科支援病院歯科初診料		平成31年4月1日	(病初診) 第21号	
歯科外来診療環境体制加算2		平成30年4月1日	(外来環2) 第21号	
歯科診療特別対応連携加算		令和4年4月1日	(歯特連) 第9号	
一般病棟入院基本料	急性期一般4	令和4年10月1日	(一般入院) 第1077号	
救急医療管理加算		令和2年4月1日	(救急医療) 第30号	
超急性期脳卒中加算		平成20年4月1日	(超急性期) 第5号	
診療録管理体制加算1		平成26年5月1日	(診療録1) 第9号	
医師事務作業補助体制加算1	50対1	平成26年4月1日	(事補1) 第4号	
急性期看護補助体制加算	50対1	令和4年10月1日	(急性看護) 第247号	
療養環境加算		平成26年7月1日	(療) 第457号	
栄養サポートチーム加算		平成29年11月1日	(栄養チ) 第25号	
医療安全対策加算1				
医療安全対策地域連携加算1		平成30年4月1日	(医療安全1) 第67号	
感染対策向上加算1				
指導強化加算		令和4年4月1日	(感染対策1) 第6号	
患者サポート体制充実加算		平成25年3月1日	(患サポ) 第38号	
報告書管理体制加算		令和4年4月1日	(報告管理) 第2号	
ハイリスク妊娠管理加算		平成21年4月1日	(ハイ妊娠) 第35号	
ハイリスク分娩管理加算		平成22年4月1日	(ハイ分娩) 第19号	
呼吸ケアチーム加算		平成29年6月1日	(呼吸チ) 第6号	
後発医薬品使用体制加算1		令和4年4月1日	(後発使1) 第58号	
病棟薬剤業務実施加算1		令和3年6月1日	(病棟薬1) 第47号	
病棟薬剤業務実施加算2		令和3年6月1日	(病棟薬2) 第7号	
データ提出加算	2イ(200床以上の病院)	平成26年10月1日	(データ提) 第46号	
入退院支援加算1				
入院時支援加算		令和4年10月1日	(入退支) 第214号	
地域連携診療計画加算				
総合機能評価加算				
せん妄ハイリスクケア加算		令和2年4月1日	(せん妄ケア) 第15号	
地域医療体制確保加算		令和4年10月1日	(地医確保) 第15号	
ハイケアユニット入院医療管理料1		平成26年5月1日	(ハイケア1) 第1号	
小児入院医療管理料4		平成27年8月1日	(小入4) 第411号	
地域包括ケア病棟入院料2				
看護補助者配置加算		令和4年10月1日	(地包ケア2) 第130号	
看護補助体制充実加算				
看護師処遇改善評価料4.2		令和5年1月1日	(看護週4.2) 第2号	
※入院時食事療養費1		平成18年3月1日	(食) 第453号	

特掲診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
歯科疾患管理料の「注11」に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料		平成28年4月1日	(医管) 第55号	
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算		令和4年4月1日	(遠隔ペ) 第10号	
糖尿病合併症管理料		平成20年4月1日	(糖管) 第4号	
がん性疼痛緩和指導管理料		平成22年4月1日	(がん疼) 第21号	
がん患者指導管理料イ		令和4年10月1日	(がん指イ) 第31号	
がん患者指導管理料ロ		平成26年4月1日	(がん指ロ) 第2号	
がん患者指導管理料ハ		平成26年4月1日	(がん指ハ) 第2号	
糖尿病透析予防指導管理料		平成25年7月1日	(糖防管) 第17号	
小児運動器疾患指導管理料		令和4年2月1日	(小運指管) 第20号	
乳腺炎重症化予防ケア・指導料		平成30年4月1日	(乳腺ケア) 第3号	
婦人科特定疾患治療管理料		令和2年10月1日	(婦特管) 第81号	
二次性骨折予防継続管理料1		令和4年4月1日	(二骨管1) 第16号	
二次性骨折予防継続管理料2		令和4年4月1日	(二骨継2) 第14号	
二次性骨折予防継続管理料3		令和4年4月1日	(二骨継3) 第17号	
下肢創傷処置管理料		令和4年10月1日	(下創管) 第12号	
地域連携夜間・休日診療料		平成22年4月1日	(夜) 第2号	
院内トリージ実施料		平成30年4月1日	(トリ) 第16号	
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算		令和2年4月1日	(救搬看護) 第31号	
外来腫瘍化学療法診療料1		令和4年4月1日	(外化診1) 第9号	
連携充実加算		令和4年4月1日	(外化連) 第16号	
ニコチン依存症管理料		平成29年7月1日	(ニコ) 第313号	
がん治療連携計画策定料		平成29年12月1日	(がん計) 第188号	
肝炎インターフェロン治療計画料		平成22年4月1日	(肝炎) 第1号	

特掲診療料の施設基準(届出)				
項 目		受理日付	受理番号	備 考
薬剤管理指導料		平成22年9月1日	(薬) 第435号	
地域連携診療計画管理加算		平成28年4月1日	(地連計) 第1号	
医療機器安全管理料1		平成20年4月1日	(機安1) 第19号	
在宅療養後方支援病院		平成26年4月1日	(在宅病) 第1号	
在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		平成30年4月1日	(遠隔酸素) 第1号	
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		平成30年4月1日	(遠隔持続陽) 第11号	
精密触覚機能検査		令和1年11月1日	(精密触覚) 第2号	
BRCA1/2遺伝子検査	腫瘍細胞を検体とするもの 血液を検体とするもの	令和4年4月1日	(BRCA) 第17号	
先天性代謝異常検査		令和2年4月1日	(先代異) 第1号	
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)		平成26年4月1日	(HPV) 第58号	
検体検査管理加算(I)		平成20年4月1日	(検I) 第468号	
検体検査管理加算(II)		平成20年4月1日	(検II) 第15号	
ヘッドアップディスプレイ試験		平成28年1月1日	(ヘッド) 第10号	
コンタクトレンズ検査料1		平成29年4月1日	(コン1) 第391号	
小児食物アレルギー負荷検査		平成18年4月1日	(小検) 第3号	
画像診断管理加算		令和2年4月1日	(画1) 第436号	
画像診断管理加算		令和2年7月1日	(画2) 第411号	
CT撮影及びMRI撮影	64列以上のマルチスライスCT	令和2年7月1日	(C・M) 第404号	
	MRI(1.5テスラ以上)	平成24年4月1日	(C・M) 第275号	
冠動脈CT撮影		令和2年7月1日	(冠動C) 第13号	
心臓MRI加算		令和2年7月1日	(心臓M) 第14号	
抗悪性腫瘍剤処方管理加算		平成22年4月1日	(抗悪処方) 第11号	
外来化学療法加算1		平成29年1月1日	(外化1) 第450号	
無菌製剤処理料		平成20年4月1日	(菌) 第420号	
心大血管疾患リハビリテーション料(I)		平成28年4月1日	(心I) 第13号	
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)		平成29年1月1日	(脳I) 第108号	
運動器リハビリテーション料(I)		平成26年9月1日	(運I) 第114号	
呼吸器リハビリテーション料(I)		平成26年9月1日	(呼I) 第88号	
がん患者リハビリテーション料		平成26年9月1日	(がんリハ) 第18号	
集団コミュニケーション療法料		平成26年9月1日	(集コ) 第17号	
歯科口腔リハビリテーション料2		平成26年4月1日	(歯リハ2) 第3号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1		平成27年2月1日	(医処休) 第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1		平成27年2月1日	(医処外) 第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1		平成27年2月1日	(医処深) 第2号	
口腔粘膜処置		平成30年4月1日	(口腔粘膜) 第69号	
レーザー機器加算		平成30年4月1日	(手光機) 第65号	
歯科技工加算		平成22年4月1日	(歯技工) 第85号	
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算		令和4年7月1日	(緊急固) 第5号	
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	過活動膀胱に係るもの	平成29年11月15日	(仙神交便) 第2号	
乳がんセンチネルリンパ節加算1	併用法	令和1年9月1日	(乳セ1) 第12号	
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)		平成30年4月1日	(穿瘻閉) 第5号	
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)		令和2年4月1日	(経特) 第420号	
経皮的中隔心筋焼灼術		令和2年2月1日	(経中) 第9号	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術		平成18年3月1日	(ペ) 第412号	
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)		平成18年3月1日	(大) 第407号	
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術		平成25年4月1日	(早大腸) 第7号	
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術		平成18年3月1日	(腎) 第406号	
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍摘出術		平成29年1月1日	(腹前) 第6号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1		平成27年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1		平成27年2月1日	(医手外) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1		平成27年2月1日	(医手深) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術		平成26年4月1日	(胃瘻造) 第14号	※胃瘻造設術
輸血管理料II		平成24年9月1日	(輸血II) 第25号	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算		平成24年10月1日	(造設前) 第9号	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算		平成26年4月1日	(胃瘻造嚥) 第6号	
広範囲顎骨支持型送致埋入手術		令和1年10月1日	(人工歯根) 第4号	
麻酔管理料(I)		平成18年3月1日	(麻管1) 第412号	
保険医療機関間の連携による病理診断		令和1年5月1日	(連携診) 第7号	
病理診断管理加算1		平成24年4月1日	(病理診1) 第3号	
悪性腫瘍病理組織標本加算		平成30年4月1日	(悪病組) 第4号	
口腔病理診断管理加算1		平成26年4月1日	(口病診1) 第1号	
クラウン・ブリッジ維持管理料		平成18年3月1日	(補管) 第27号	
※酸素の届出		令和4年4月1日	(酸素) 第8134号	

経営状況

(単位：千円)

科目 \ 年度	2004年度 (平成16年度) (移転開設年度)	2009年度 (平成21年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度) 予算額
病院事業収益①	3,429,768	6,227,460	7,006,482	7,409,804	7,367,059	7,612,252	7,780,613	7,394,520	7,907,330	8,701,608	8,562,420	7,681,181
医業収益	3,128,080	5,478,757	6,227,436	6,623,296	6,590,838	6,805,643	7,000,592	6,601,594	6,395,859	6,417,410	6,603,204	6,788,281
入院収益	2,070,774	3,615,003	4,294,039	4,587,464	4,575,553	4,737,257	4,886,803	4,585,608	4,554,455	4,458,340	4,670,803	4,901,472
外来収益	840,087	1,392,571	1,563,996	1,671,288	1,676,299	1,737,326	1,782,960	1,694,017	1,459,597	1,676,533	1,667,209	1,604,772
その他医業収益	217,219	471,183	369,401	364,544	338,986	331,060	330,829	321,969	381,807	282,537	265,192	282,037
医業外収益	300,191	472,198	775,011	786,443	776,164	805,704	746,519	751,276	1,269,438	2,031,056	1,642,108	633,818
訪問看護収益	-	-	-	-	-	-	-	-	70,237	74,831	67,452	68,007
特別利益	1,497	276,505	4,035	65	57	905	33,502	41,650	171,796	178,311	249,656	191,075
病院事業費用②	4,972,217	6,533,493	6,888,215	7,312,963	7,506,585	7,600,554	7,764,277	7,662,237	7,553,227	7,462,961	8,171,537	8,052,300
医業費用	3,784,633	6,136,873	6,302,983	6,865,220	7,075,737	7,183,635	7,333,838	7,238,511	6,928,484	6,924,588	7,544,512	7,771,476
給与費	2,269,406	2,894,863	3,254,903	3,587,627	3,780,798	3,837,742	3,969,878	4,041,264	3,878,200	4,079,083	4,293,010	4,206,703
材料費	838,491	1,340,444	1,392,014	1,357,889	1,301,673	1,362,822	1,491,093	1,376,567	1,238,827	1,190,483	1,387,949	1,442,308
経費	619,620	909,645	1,036,176	1,297,699	1,357,291	1,316,145	1,269,849	1,238,850	1,252,487	1,291,365	1,429,473	1,641,201
減価償却費	50,127	983,281	607,284	605,920	618,468	649,261	588,208	564,904	545,592	319,072	402,970	466,444
その他医業費用	6,989	8,640	12,606	16,103	17,507	17,665	14,810	16,926	13,378	44,585	31,110	14,820
医業外費用	247,814	386,135	411,728	437,734	425,876	409,503	408,511	414,416	428,459	467,553	470,521	197,268
訪問看護費用	-	-	-	-	-	-	-	-	65,682	66,998	65,013	75,643
特別損失	939,770	10,485	173,504	10,009	4,972	7,416	21,928	9,310	130,602	3,822	91,491	7,913
差引①-②	△ 1,542,449	△ 306,033	118,267	96,841	△ 139,526	11,698	16,336	△ 267,717	354,103	1,238,647	390,883	△ 371,119
資本的収入③	6,989,142	570,255	68,900	276,243	259,900	116,827	409,495	396,757	491,907	1,038,443	850,198	769,814
資本的支出④	7,012,542	1,172,169	714,583	939,467	966,828	802,948	711,272	717,858	830,366	1,339,974	1,119,887	1,180,361
差引③-④	△ 23,400	△ 601,914	△ 645,683	△ 663,224	△ 706,928	△ 686,121	△ 301,777	△ 321,101	△ 338,459	△ 301,531	△ 269,689	△ 410,547

備考：病院事業収益・費用は税抜き額、資本的収入・支出は税込み額

II 医事統計

- 1** – 1 科別 1 日平均患者数
- 2 1 日平均入院患者数
- 3 1 日平均外来患者数

- 2** – 1 新入退院数（科別）
- 2 施設基準上の平均在院日数
- 3 科別平均在院日数（単純計算）

- 3** – 1 病棟別延べ患者数
- 2 病棟別入退院数
- 3 重症度、医療・看護必要度

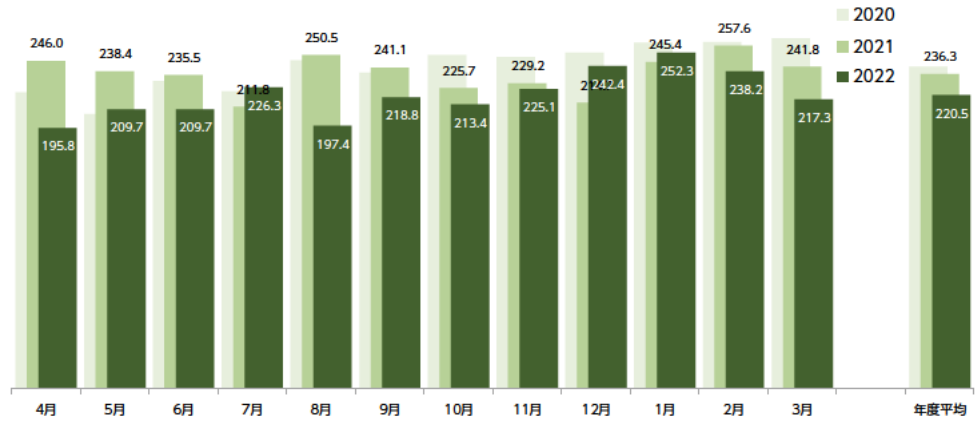
- 4** – 1 紹介率・逆紹介率（割合）
- 2 紹介患者数（初診）

- 5** – 1 救急車件数
- 2 救急車搬送元別
- 3 消防搬送先

1-1 科別1日平均患者数

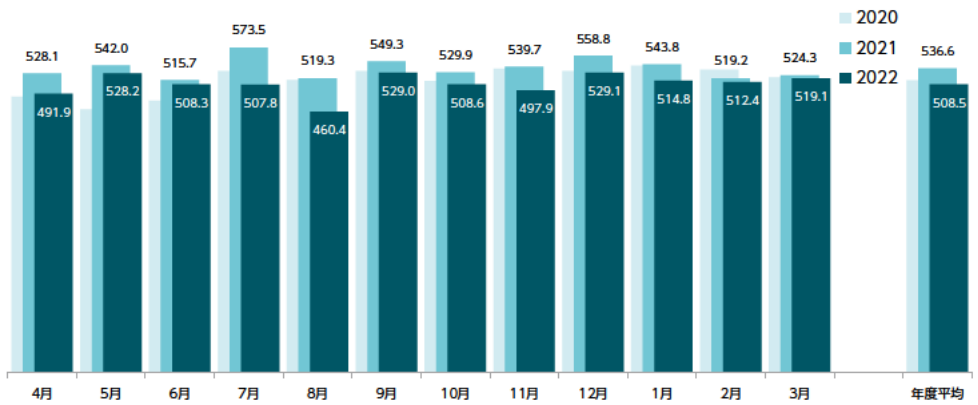
入院(24時)患者数

月平均		
前年度	今年度	比
236.5	220.5	93.2%



外来患者数

月平均		
前年度	今年度	比
537.0	508.5	94.7%



1-2 1日平均入院患者数 (退院日除く24時患者)

診療科	2020年度	2021年度	2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比
内科	34.2	44.9	58.6	55.6	47.8	40.5	44.1	31.6	50.6	51.4	41.2	44.1	53.0	62.6	56.8	43.7	35.9	44.9	46.4	103.0%
消内	12.4	13.9	14.7	16.9	10.7	8.6	6.3	13.1	10.3	9.0	15.6	7.2	11.4	11.4	11.5	13.5	10.4	13.9	10.6	76.4%
代内	2.8	1.8	0.7	2.3	2.5	1.8	0.9	1.8	1.9	1.0	0.7	0.4	1.4	1.9	2.6	3.0	2.3	1.8	1.6	89.5%
呼内	5.3	15.3	26.6	31.2	29.2	28.4	29.7	31.2	29.4	21.7	26.4	24.7	27.0	23.2	28.4	25.5	21.7	15.3	26.4	171.4%
循内	37.0	27.9	20.9	28.2	25.6	20.4	19.1	17.4	20.2	12.5	14.7	20.1	20.6	24.2	27.9	32.8	28.3	27.9	21.5	76.8%
外科	46.5	33.5	19.9	20.4	21.1	20.8	21.3	19.6	19.9	15.5	18.2	15.6	15.0	13.3	16.6	12.3	12.1	33.5	16.7	49.9%
整形	47.0	40.8	41.0	44.9	44.7	27.1	29.6	35.1	37.2	39.4	46.3	47.4	47.7	49.5	53.1	50.3	52.0	40.8	42.9	104.9%
脳外	17.7	15.6	19.1	16.2	15.9	8.2	11.0	8.9	6.7	6.9	11.4	10.9	10.9	13.6	13.9	13.0	14.0	15.6	10.8	69.2%
脳血	-	-	-	-	-	0.9	7.3	7.6	5.7	6.5	7.5	4.9	5.0	10.0	10.3	10.2	5.8	-	6.8	-
乳腺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
心外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
泌尿	7.7	8.2	9.3	11.1	9.5	6.2	6.8	8.3	9.9	5.9	8.1	9.2	6.4	8.5	6.2	6.9	8.1	8.2	7.6	91.6%
皮膚	0.9	0.8	2.4	3.0	2.9	1.5	1.4	1.0	0.7	0.5	0.7	1.5	2.0	2.5	2.0	1.1	0.0	0.8	1.2	145.3%
眼科	2.9	2.6	1.4	2.4	3.3	2.9	3.0	3.9	2.5	2.5	2.7	2.7	1.4	2.3	2.5	3.1	3.2	2.6	2.7	106.2%
放射	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
耳鼻	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
麻酔	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
小児	2.2	4.5	6.5	2.4	3.1	3.5	1.8	1.3	3.5	2.3	2.8	3.7	2.8	2.1	2.6	1.1	1.8	4.5	2.5	54.3%
産婦	21.4	23.3	22.5	20.7	21.8	23.1	25.1	23.7	24.2	16.9	18.3	18.5	17.4	12.8	15.5	19.4	18.7	23.3	19.4	83.4%
救急	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	153.4%
歯科	3.4	2.9	1.6	2.3	3.6	2.1	2.3	5.2	3.6	5.0	4.0	2.2	2.9	4.2	2.5	2.4	3.0	2.9	3.3	113.5%
リハ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
リ膠	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
合計	241.8	236.3	245.4	257.6	241.8	195.8	209.7	209.7	226.3	197.4	218.8	213.4	225.1	242.4	252.3	238.2	217.3	236.3	220.5	93.2%
退院含	256.5	252.4	261.4	274.2	259.0	209.6	224.1	224.4	243.5	211.7	233.7	228.0	241.1	259.5	267.5	254.0	233.4	252.4	235.8	93.3%

1-3 1日平均外来患者数(平日割)

診療科	2020年度	2021年度	2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
内科	28.6	30.3	36.4	32.5	29.7	23.5	26.1	21.3	26.8	27.0	27.8	28.6	26.5	29.5	34.9	27.4	23.4	30.3	26.8	88.1%			
消内	22.7	23.4	22.1	24.2	22.8	22.1	21.9	21.9	20.5	21.5	26.7	23.3	21.3	24.8	24.1	19.9	21.8	23.4	22.5	96.1%			
代内	28.9	30.8	31.4	31.1	30.4	31.8	30.9	29.6	28.1	27.5	32.2	28.9	27.3	32.2	30.2	28.4	27.0	30.8	29.5	95.4%			
呼内	25.0	24.7	25.4	24.9	22.0	25.8	24.4	23.0	25.8	23.5	26.8	24.4	26.1	25.8	25.8	27.2	26.6	24.7	25.4	102.6%			
循内	44.6	44.7	46.9	45.9	43.3	44.5	52.3	45.5	46.6	44.3	48.5	45.3	44.7	53.0	49.6	45.5	48.4	44.7	47.3	105.5%			
外科	28.3	29.3	30.5	28.9	27.8	27.3	26.8	26.5	26.2	22.3	28.1	25.4	25.0	26.5	27.1	25.7	25.1	29.3	25.9	88.4%			
整形	71.5	67.5	71.3	61.1	63.9	62.6	64.7	62.6	62.7	62.0	61.8	60.2	57.4	58.3	54.7	66.4	58.5	67.5	61.0	90.2%			
脳外	36.1	35.8	35.8	37.1	36.2	34.7	34.9	34.1	33.5	31.1	35.8	34.9	33.3	37.8	30.2	34.4	35.6	35.8	34.2	95.3%			
脳血	-	-	-	-	-	1.2	2.4	2.5	2.5	2.1	2.7	2.7	2.4	3.6	2.7	3.1	1.8	-	2.5	-			
乳腺	4.9	4.9	4.4	4.8	5.6	5.2	4.0	5.6	4.5	3.7	6.5	5.1	4.4	5.8	5.2	5.0	6.5	4.9	5.1	104.9%			
心外	2.6	2.6	2.9	1.8	3.0	2.3	2.2	2.9	2.4	2.4	3.1	2.3	2.7	2.8	2.1	2.1	2.5	2.6	2.5	94.0%			
泌尿	56.7	59.8	62.8	58.3	60.5	51.8	52.4	54.3	53.0	45.5	59.7	52.9	58.2	62.3	54.8	53.0	60.2	59.8	54.8	91.6%			
皮膚	20.4	21.1	19.5	19.1	19.9	17.5	20.6	20.5	20.5	17.8	23.3	20.4	19.6	16.7	20.7	18.7	21.2	21.1	19.8	93.9%			
眼科	37.3	37.8	39.5	35.7	41.3	39.3	38.8	38.0	40.2	34.5	38.7	40.3	32.1	39.4	39.0	35.2	38.2	37.8	37.8	100.1%			
放射	10.2	9.8	5.4	12.4	9.1	6.8	12.8	10.9	11.8	5.8	3.9	4.1	3.6	2.9	3.2	3.5	10.6	9.8	6.7	68.5%			
耳鼻	16.8	17.4	15.8	14.6	16.9	16.1	16.9	18.1	17.3	12.9	16.7	17.1	17.6	14.4	14.6	15.3	16.8	17.4	16.1	92.7%			
麻酔	1.6	1.7	2.2	1.7	1.5	2.2	2.5	2.5	2.3	1.6	1.7	1.9	2.9	2.0	2.2	2.6	2.2	1.7	2.2	131.5%			
小児	18.6	28.1	25.5	23.4	24.9	21.5	28.8	26.8	24.5	20.5	24.5	28.4	25.2	29.3	29.8	32.4	26.4	28.1	26.4	94.2%			
産婦	31.0	34.8	35.1	33.1	34.3	31.3	34.2	33.3	33.0	31.0	32.8	33.0	33.8	31.8	33.0	33.7	32.6	34.8	32.8	94.1%			
救急	5.3	5.5	4.7	5.0	4.1	5.6	6.6	5.4	4.7	5.2	6.2	7.0	7.5	6.4	6.3	5.7	4.4	5.5	5.9	107.7%			
歯科	22.0	22.7	22.2	19.9	22.4	15.6	20.3	19.4	17.4	13.9	17.2	19.0	20.9	19.6	20.2	22.2	24.0	22.7	19.1	84.1%			
リハ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%			
リ膠	2.5	3.9	4.1	3.7	5.9	3.7	3.7	3.7	3.9	4.3	4.8	4.0	5.6	4.6	4.5	5.1	5.1	3.9	4.4	112.1%			
合計	515.6	536.6	543.8	519.2	524.3	491.9	528.2	508.3	507.8	460.4	529.0	508.6	497.9	529.1	514.8	512.4	519.1	536.6	508.5	94.7%			

2-1-1 新入院数

診療科	2020年度	2021年度	2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
内科	52.1	92.1	176	91	86	69	64	49	122	91	67	66	93	129	79	73	56	92.1	79.8	86.7%			
消内	41.7	45.3	59	57	50	41	47	49	49	50	53	46	47	38	38	45	38	45.3	45.1	99.4%			
代内	9.9	5.7	4	6	7	9	6	9	8	8	3	4	6	6	5	7	4	5.7	6.3	110.3%			
呼内	12.4	13.4	8	12	9	7	14	18	28	23	18	21	29	23	21	24	20	13.4	20.5	152.8%			
循内	48.2	42.6	40	35	48	37	43	39	32	39	32	47	44	49	47	44	58	42.6	42.6	100.0%			
外科	58.8	54.9	42	46	66	43	50	39	44	31	51	39	43	39	63	39	47	54.9	44.0	80.1%			
整形	60.5	54.7	62	50	57	35	56	62	54	53	50	59	55	59	51	61	50	54.7	53.8	98.3%			
脳外	31.0	20.2	22	19	22	9	17	15	12	13	21	17	22	18	19	21	18	20.2	16.8	83.5%			
脳血	-	-	-	-	-	1	26	14	9	13	19	15	17	30	17	17	21	-	16.6	-			
乳腺	0.0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.0	0.0%			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
泌尿	42.7	46.0	49	45	56	38	30	41	41	32	34	41	42	43	33	34	40	46.0	37.4	81.3%			
皮膚	0.4	0.2	1	0	0	2	0	0	0	1	2	1	0	2	0	0	0	0.2	0.7	400.0%			
眼科	32.2	28.3	24	24	32	31	36	38	25	30	26	33	17	24	34	28	34	28.3	29.7	104.7%			
放射	0.2	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
小児	11.7	26.5	34	12	15	20	9	11	17	14	26	21	16	19	20	11	12	26.5	16.3	61.6%			
産婦	37.8	46.4	48	48	35	37	46	47	59	47	31	38	41	37	37	34	39	46.4	41.1	88.5%			
救急	1.5	2.1	3	4	2	0	0	1	2	7	3	4	2	1	0	2	2	2.1	2.0	96.0%			
歯科	10.4	9.6	9	13	11	7	11	16	11	13	6	8	15	12	14	7	10	9.6	10.8	113.0%			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
合計	451.3	488.0	581	462	496	386	455	448	513	465	442	460	489	529	478	447	449	488.0	463.4	95.0%			

2-1-2 退院数

診療科	2020年度	2021年度	2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
内科	49.6	85.9	141	98	95	59	75	56	110	103	80	66	88	111	95	66	60	85.9	80.8	87.7%			
消内	42.5	47.2	40	56	60	43	41	49	45	32	59	40	44	39	38	49	41	47.2	43.3	95.6%			
代内	7.0	4.4	0	1	10	6	2	4	3	3	1	2	1	8	4	3	8	4.4	3.8	66.2%			
呼内	13.8	22.3	23	34	33	23	38	32	43	39	29	37	47	36	40	34	37	22.3	36.3	270.2%			
循内	48.5	43.4	37	28	53	35	40	33	33	35	25	40	44	48	31	40	69	43.4	39.4	92.6%			
外科	74.5	65.3	44	49	59	51	51	48	57	32	53	50	42	47	54	50	43	65.3	48.2	87.7%			
整形	37.6	29.7	34	20	31	21	32	35	38	24	29	29	40	42	43	34	42	29.7	34.1	62.3%			
脳外	31.3	22.6	24	22	24	15	22	12	16	10	18	17	19	18	18	16	30	22.6	17.6	87.2%			
脳血	-	-	-	-	-	1	10	21	12	10	23	15	12	24	22	19	18	-	15.6	-			
乳腺	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0%			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
泌尿	42.8	47.5	44	48	63	38	30	39	42	35	30	44	43	50	27	38	36	47.5	37.7	81.9%			
皮膚	0.6	0.3	0	0	2	2	1	0	1	0	2	0	0	2	0	2	0	0.3	0.8	500.0%			
眼科	31.6	28.3	17	26	30	37	30	39	30	25	31	32	13	29	30	29	38	28.3	30.3	106.8%			
放射	0.3	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
小児	13.3	28.5	33	16	17	23	13	9	18	18	26	22	19	19	20	14	15	28.5	18.0	67.9%			
産婦	45.1	54.0	50	53	42	52	52	48	67	58	34	47	55	41	37	42	49	54.0	48.5	104.5%			
救急	1.1	1.7	2	2	2	0	0	1	2	7	2	3	1	1	0	1	2	1.7	1.7	80.0%			
歯科	10.1	9.8	6	12	12	7	9	15	14	11	7	10	12	16	11	6	12	9.8	10.8	113.0%			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
合計	449.6	490.8	495	465	533	413	446	441	531	442	449	454	480	531	470	443	500	490.8	466.7	95.6%			

2-2 施設基準上の在院日数

	2020年度	2021年度	2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
在院	5,335	5,113	5,710	5,424	5,456	4,009	4,558	4,296	5,303	4,858	4,976	4,915	5,190	5,761	6,038	5,178	4,967	5113	5004	95.8%			
入院	348	370	506	364	370	308	366	431	492	455	425	440	470	515	462	441	427	370	436	110.3%			
退院	346	374	428	363	408	334	358	426	517	428	435	435	458	517	454	435	480	374	440	110.3%			
単月計算	15.4	13.7	12.2	14.9	14.0	12.5	12.6	10.0	10.5	11.0	11.6	11.2	11.2	11.2	13.2	11.8	11.0	13.7	11.4	86.8%			
直近3ヶ月			13.0	13.4	13.6	13.9	13.1	11.6	10.9	10.5	11.0	11.3	11.3	11.2	11.8	12.0	12.0						

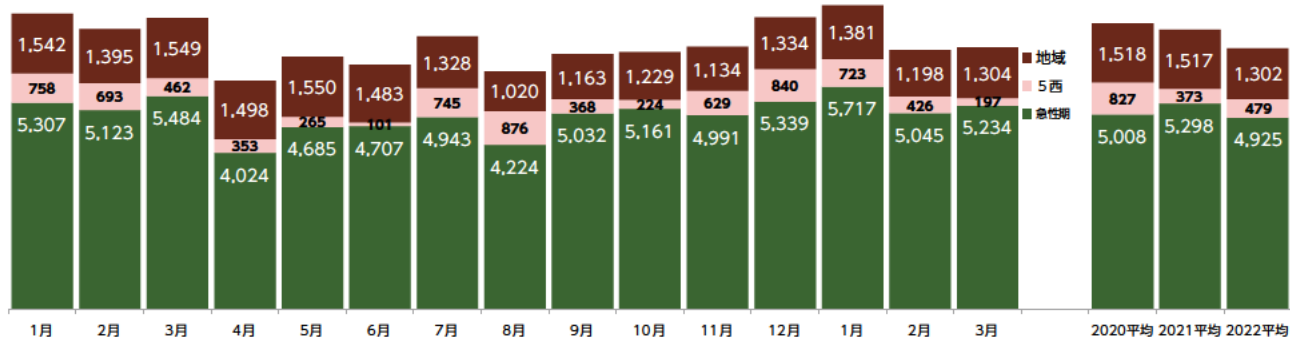
保険入院のみ（自費診療や生活保護等公費のみを）除く
 特定入院科、短期滞在該当分（DPC 算定においても短手3に該当する5日以内）は除く

2-3 単純平均在院日数

診療科	2020年度	2021年度	2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
内科	20.5	15.4	11.5	16.5	16.4	19.0	19.7	18.1	13.5	16.4	16.8	20.7	17.6	16.2	20.2	17.6	19.2	15.4	17.6	118.4%			
消内	9.0	9.1	9.2	8.4	6.1	6.1	4.4	8.0	6.8	6.8	8.4	5.2	7.5	9.2	9.3	8.0	8.1	9.1	7.3	78.5%			
代内	10.2	10.9	11.0	18.6	9.2	7.3	6.8	8.5	10.5	5.8	10.5	3.7	12.3	8.6	17.8	16.6	11.7	10.9	9.9	102.0%			
呼内	12.2	26.2	53.3	38.0	43.1	56.9	35.5	37.4	25.7	21.7	33.7	26.4	21.3	24.4	28.9	24.7	23.6	26.2	28.3	81.5%			
循内	23.3	19.7	16.8	25.1	15.7	17.0	14.3	14.5	19.3	10.5	15.4	14.3	14.0	15.5	22.2	21.8	13.8	19.7	15.9	79.9%			
外科	21.2	17.0	14.4	12.0	10.4	13.3	13.1	13.5	12.2	15.2	10.5	10.9	10.6	9.6	8.8	7.7	8.4	17.0	11.0	59.4%			
整形	29.1	29.4	26.5	35.9	31.5	29.0	20.9	21.7	25.1	31.7	35.2	33.4	30.1	30.4	35.0	29.6	35.0	29.4	29.7	130.7%			
脳外	17.3	22.1	25.7	22.1	21.4	20.5	17.4	19.8	14.8	18.5	17.5	19.9	16.0	23.4	23.4	19.6	18.0	22.1	19.0	81.1%			
脳血	-	-	-	-	-	26.0	12.6	13.1	16.9	17.5	10.8	10.1	10.3	11.5	16.4	15.8	9.2	-	12.9	-			
乳腺	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-	-			
心外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
泌尿	5.5	5.4	6.2	6.7	4.9	4.9	7.0	6.3	7.4	5.5	7.6	6.7	4.5	5.7	6.4	5.3	6.6	5.4	6.1	112.5%			
皮膚	57.5	122.8	148.0	-	90.0	22.0	84.0	-	42.0	34.0	10.5	92.0	-	39.0	-	31.0	-	122.8	50.2	32.7%			
眼科	2.8	2.8	2.1	2.6	3.3	2.5	2.8	3.0	2.8	2.8	2.9	2.6	2.9	2.7	2.4	3.0	2.8	2.8	2.8	100.3%			
放射	19.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
耳鼻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
麻酔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小児	5.4	5.0	6.1	4.9	5.9	4.8	5.0	4.0	6.1	4.4	3.3	5.3	4.9	3.5	4.0	2.6	4.2	5.0	4.4	83.5%			
産婦	15.7	14.1	14.2	11.4	17.6	15.6	15.9	14.9	11.9	10.0	16.9	13.5	10.9	10.2	12.9	14.3	13.2	14.1	13.2	86.3%			
救急	1.2	1.0	0.8	1.0	1.0	-	-	1.0	1.0	1.9	0.8	2.9	1.3	1.0	-	0.7	1.0	1.0	1.5	175.6%			
歯科	10.2	9.1	6.7	5.0	9.7	8.9	7.2	10.0	9.0	12.8	18.6	7.7	6.4	9.3	6.2	10.5	8.5	9.1	9.2	101.6%			
リハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
リ膠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	16.3	14.7	14.1	15.6	14.6	14.7	14.4	14.2	13.4	13.5	14.7	14.5	13.9	14.2	16.5	15.0	14.2	14.7	14.4	97.9%			

3-1 病棟別患者数

病棟	2020年度		2021年度		2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比		
3西	1,312	1,398	1,376	1,328	1,411	1,161	1,336	1,291	1,333	994	1,308	1,308	1,230	1,311	1,448	1,213	1,308	1,398	1,270	90.9%		
3東	886	972	952	951	1,002	770	777	920	927	773	923	978	1,024	1,067	1,155	1,030	1,015	972	947	97.4%		
4西	1,359	1,416	1,404	1,356	1,470	1,047	1,326	1,251	1,327	1,135	1,304	1,326	1,233	1,352	1,444	1,355	1,377	1,416	1,290	91.1%		
4東	1,311	1,365	1,418	1,354	1,438	927	1,081	1,126	1,200	1,206	1,380	1,418	1,376	1,449	1,518	1,310	1,422	1,365	1,284	94.1%		
5西	827	373	758	693	462	353	265	101	745	876	368	224	629	840	723	426	197	373	479	128.5%		
5東	1,518	1,517	1,542	1,395	1,549	1,498	1,550	1,483	1,328	1,020	1,163	1,229	1,134	1,334	1,381	1,198	1,304	1,517	1,302	85.8%		
HCU	140	148	157	134	163	119	165	119	156	116	117	131	128	160	152	137	112	148	134	90.8%		
合計	7,354	7,187	7,607	7,211	7,495	5,875	6,500	6,291	7,016	6,120	6,563	6,614	6,754	7,513	7,821	6,669	6,735	7,187	6,706	93.3%		
急性期	5,008	5,298	5,307	5,123	5,484	4,024	4,685	4,707	4,943	4,224	5,032	5,161	4,991	5,339	5,717	5,045	5,234	5,298	4,925	93.0%		
5西	827	373	758	693	462	353	265	101	745	876	368	224	629	840	723	426	197	373	479	128.5%		
5東	1,518	1,517	1,542	1,395	1,549	1,498	1,550	1,483	1,328	1,020	1,163	1,229	1,134	1,334	1,381	1,198	1,304	1,517	1,302	85.8%		
合計	7,354	7,187	7,607	7,211	7,495	5,875	6,500	6,291	7,016	6,120	6,563	6,614	6,754	7,513	7,821	6,669	6,735	7,187	6,706	93.3%		



3-2-1 新入院数 病棟別

病棟	2020年度		2021年度		2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比		
3西	90.1	133.8	131	127	158	109	109	118	114	93	121	119	131	133	120	130	131	133.8	119.0	88.9%		
3東	126.8	136.8	132	137	135	115	141	134	118	111	93	103	91	99	91	94	94	136.8	107.0	78.2%		
4西	69.7	70.7	66	61	70	59	80	80	61	76	64	84	79	65	75	65	80	70.7	72.3	102.4%		
4東	63.4	75.3	79	55	67	49	65	75	61	61	63	68	61	66	66	59	56	75.3	62.5	83.1%		
5西	77.7	47.1	141	59	38	46	31	16	107	90	30	25	66	84	54	29	10	47.1	49.0	104.1%		
5東	0.3	0.0	0	0	0	0	0	0	25	24	38	42	28	39	42	41	47	0.0	27.2	-		
HCU	23.4	24.3	32	23	28	8	29	25	27	10	33	19	33	43	30	29	31	24.3	26.4	108.6%		
合計	451.3	488.0	581	462	496	386	455	448	513	465	442	460	489	529	478	447	449	488.0	463.4	95.0%		
他	373.4	440.9	440	403	458	340	424	432	381	351	374	393	395	406	382	377	392	440.9	387.3	87.8%		
5西	77.7	47.1	141	59	38	46	31	16	107	90	30	25	66	84	54	29	10	47.1	49.0	104.1%		
5東	0.3	0.0	0	0	0	0	0	0	25	24	38	42	28	39	42	41	47	0.0	27.2	-		
合計	451.3	488.0	581	462	496	386	455	448	513	465	442	460	489	529	478	447	449	488.0	463.4	95.0%		

3-2-2 退院数 病棟別

診療科	2020年度		2021年度		2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比		
3西	86.5	128.2	119	126	157	103	103	115	135	88	118	129	125	142	112	137	117	128.2	118.7	92.6%		
3東	123.8	134.3	109	130	135	126	130	128	127	106	85	96	99	98	90	94	100	134.3	106.6	79.3%		
4西	77.8	79.8	71	62	94	70	87	87	76	83	90	91	96	82	75	119	79.8	86.9	109.0%			
4東	42.7	49.8	47	31	38	31	42	52	48	31	44	41	45	53	56	41	49	49.8	44.8	89.1%		
5西	73.8	46.1	102	74	55	38	39	15	74	93	44	21	50	60	54	23	14	46.1	43.8	94.9%		
5東	42.2	47.8	40	38	47	43	40	38	59	46	69	73	64	76	73	67	95	47.8	61.9	129.4%		
HCU	2.9	4.8	7	4	7	2	5	6	1	2	6	4	6	6	3	6	6	4.8	4.4	93.0%		
合計	449.6	490.8	495	465	533	413	446	441	531	442	449	454	480	531	470	443	500	490.8	466.7	95.1%		
他	333.6	396.8	353	353	431	332	367	388	398	303	336	360	366	395	343	353	391	396.8	361.0	91.0%		
5西	73.8	46.1	102	74	55	38	39	15	74	93	44	21	50	60	54	23	14	46.1	43.8	94.9%		
5東	42.2	47.8	40	38	47	43	40	38	59	46	69	73	64	76	73	67	95	47.8	61.9	129.4%		
合計	449.6	490.8	495	465	533	413	446	441	531	442	449	454	480	531	470	443	500	490.8	466.7	95.1%		

3-3 重症度、医療・看護必要度にかかる指標

* 10月より必要度Ⅱに変更

病棟	2020年度	2021年度	2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比
3西	32.8%	38.6%	38.7%	41.9%	41.7%	40.9%	48.5%	41.0%	33.3%	28.1%	26.4%	25.5%	28.3%	31.5%	25.7%	31.8%	34.1%	38.6%	32.9%	85.3%
3東	24.7%	29.7%	27.7%	27.7%	28.0%	34.5%	33.2%	27.9%	27.2%	23.0%	22.3%	26.9%	25.4%	30.0%	21.7%	22.5%	28.6%	29.7%	26.6%	89.3%
4西	33.4%	32.8%	32.0%	34.5%	32.4%	27.0%	34.5%	28.3%	17.8%	14.6%	22.1%	30.2%	29.7%	28.3%	20.4%	26.6%	27.3%	32.8%	25.4%	77.5%
4東	29.7%	33.0%	29.5%	34.5%	29.2%	32.3%	35.0%	36.8%	23.3%	26.6%	40.2%	26.4%	27.5%	35.1%	27.3%	38.4%	29.9%	33.0%	31.4%	95.2%
5西	34.9%	13.0%	5.3%	28.4%	20.3%	10.0%	4.0%	0.9%	5.3%	23.1%	22.1%	50.0%	41.7%	43.1%	43.2%	35.4%	29.4%	13.0%	25.0%	191.8%
一般合計	31.6%	32.7%	29.3%	34.7%	32.4%	32.0%	36.9%	28.5%	22.4%	23.0%	28.0%	28.3%	29.6%	33.5%	26.3%	30.7%	30.1%	32.7%	28.9%	88.2%
5東	20.0%	22.4%	20.3%	13.2%	14.4%	13.4%	23.2%	21.1%	6.3%	10.5%	14.2%	7.9%	9.6%	13.8%	12.8%	9.8%	8.4%	22.4%	13.1%	58.3%
HCU	98.6%	94.7%	91.1%	87.9%	95.7%	85.7%	89.7%	84.9%	89.7%	86.0%	80.3%	90.1%	80.8%	83.8%	84.9%	87.6%	84.8%	94.7%	85.9%	382.9%

直近3ヶ月平均（提出値）

病棟	2022年			2022年									2023年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般合計	32.6%	32.8%	32.1%	33.1%	33.7%	32.3%	28.9%	24.7%	24.5%	26.5%	28.6%	30.4%	29.4%	29.8%	28.9%
5東	23.7%	18.5%	16.0%	13.7%	17.0%	19.3%	17.4%	13.2%	10.0%	10.8%	10.6%	10.5%	12.2%	12.2%	10.4%
HCU	92.9%	91.0%	91.8%	90.3%	90.8%	87.1%	88.4%	87.1%	85.8%	85.6%	83.9%	84.8%	83.3%	85.3%	85.8%

4-1 紹介率・逆紹介率 (割合)

概要	区分	2020年度		2021年度		2022年			2022年						2023年			前年月平均比較			
		平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比
A	初診紹介数	361	401	338	344	411	359	414	458	344	319	381	409	388	368	375	355	389	401	380	94.7%
B	救急搬送初診数	108	109	109	99	112	74	118	120	115	162	146	140	138	194	129	124	121	109	132	121.4%
C	逆紹介数	548	610	611	647	799	487	591	610	580	513	552	563	563	558	578	567	685	610	571	93.5%
D	初診の患者数	1,365	1,382	1,200	1,154	1,374	1,127	1,424	1,446	1,388	1,330	1,337	1,387	1,354	1,506	1,441	1,350	1,259	1,382	1,362	98.6%
E	時間外及び救急初診数	270	260	289	232	260	229	359	294	376	406	368	353	316	473	388	345	289	260	350	134.4%
D-E=F	○時間内の初診数	1,096	1,122	911	922	1,114	898	1,065	1,152	1,012	924	969	1,034	1,038	1,033	1,053	1,005	970	1,122	1,013	90.3%
G	再診の患者数	9,254	9,589	9,988	9,126	8,358	8,826	8,756	9,864	8,963	8,980	9,396	8,908	8,801	9,295	8,490	8,508	10,269	9,589	9,088	94.8%
H	時間外及び救急再診数	67	95	77	70	11	56	75	57	42	39	59	85	66	65	119	40	64	95	64	67.4%
G-H=I	○時間内の再診数	9,187	9,495	9,911	9,056	8,347	8,770	8,681	9,807	8,921	8,941	9,337	8,823	8,735	9,230	8,371	8,468	10,205	9,495	9,024	95.0%
F+I=J	●時間内の患者数	10,282	10,616	10,822	9,978	9,461	9,668	9,746	10,959	9,933	9,865	10,306	9,857	9,773	10,263	9,424	9,473	11,175	10,616	10,037	94.5%

*地域医療支援病院・特定機能病院・診療報酬で定義がそれぞれ違うため留意が必要です

地域医療支援病院の要件

区分	紹介率	逆紹介率
1	80%	-
2	65%	40%
3	50%	70%

①~③のいずれか

紹介割合の減算規定

紹介割合	逆紹介割合
50%	30%

基準を満たさなければ初再診料が減算

地域医療支援病院の定義

概要 (術は載)	区分	2020年度		2021年度		2022年			2022年						2023年			前年月平均比較			
		平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比
A ÷ F	紹介率	32.9	35.8	37.1	37.3	36.9	40.0	38.9	39.8	34.0	34.5	39.3	39.6	37.4	35.6	35.6	35.3	40.1	35.8	37.5	104.9%
C ÷ F	逆紹介率	50.0	54.4	67.1	70.2	71.7	54.2	55.5	53.0	57.3	55.5	57.0	54.4	54.2	54.0	54.9	56.4	70.6	54.4	56.3	103.6%

診療報酬上の定義 (地域医療支援病院および紹介受診重点医療機関)

概要 (術は載)	区分	2020年度		2021年度		2022年			2022年						2023年			前年月平均比較			
		平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比
(A+B) ÷ F	紹介割合	42.8	45.4	49.1	48.0	46.9	48.2	50.0	50.2	45.4	52.1	54.4	53.1	50.7	54.4	47.9	47.7	52.6	45.4	50.5	111.2%
C ÷ J	逆紹介割合	53.2	57.5	56.5	64.8	84.5	50.4	60.6	55.7	58.4	52.0	53.6	57.1	57.6	54.4	61.3	59.9	61.3	57.5	56.8	98.9%

*転院軽快退院の退院後初回受診で次の受診が必要ないとされる患者は計算できていないため、実際の逆紹介割合はもう少し高いと考える

4-2 初診のうち紹介患者数

診療科	2020年度		2021年度		2022年			2022年						2023年			前年月平均比較			
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比
内科	25.3	22.0	24	16	26	14	22	15	18	20	19	17	28	20	26	16	8	22.0	18.6	84.5%
消内	18.1	20.5	28	21	18	22	18	26	18	12	16	25	18	15	22	11	24	20.5	18.9	92.3%
代内	5.8	5.3	5	4	6	7	9	6	4	4	6	3	4	4	5	6	4	5.3	5.2	96.9%
呼内	8.6	10.8	6	7	12	12	7	12	6	8	9	13	19	15	14	4	11	10.8	10.8	100.8%
循内	27.9	27.1	18	24	22	20	34	37	21	15	25	20	28	27	22	35	25	27.1	25.8	95.1%
外科	21.8	28.9	27	21	28	19	19	20	22	13	27	25	20	22	17	26	24	28.9	21.2	73.2%
整形	35.1	45.3	43	41	43	28	57	49	36	46	33	38	37	27	43	37	39	45.3	39.2	86.4%
脳外	18.2	20.4	23	22	21	22	18	20	25	9	10	15	19	19	10	13	23	20.4	16.9	82.9%
脳血	-	-	-	-	-	1	2	3	3	4	2	3	6	9	2	3	5	-	3.6	-
乳腺	2.0	1.8	0	2	2	1	0	2	1	1	4	2	1	3	2	1	1	1.8	1.6	90.5%
心外	3.6	3.3	4	2	2	2	3	7	3	3	4	3	6	4	1	0	1	3.3	3.1	94.9%
泌尿	23.9	23.5	17	25	24	26	21	28	19	22	19	30	20	24	22	23	31	23.5	23.8	101.1%
皮膚	6.1	6.9	8	1	5	4	5	10	8	8	9	5	2	8	8	6	11	6.9	7.0	101.2%
眼科	23.3	25.5	24	26	29	36	39	25	24	30	33	33	15	31	27	33	28	25.5	29.5	115.7%
放射	41.3	48.4	32	51	52	46	56	60	46	30	55	53	49	41	38	37	37	48.4	45.7	94.3%
耳鼻	7.1	8.2	9	4	9	8	7	19	9	6	8	15	6	3	9	9	9	8.2	9.0	110.2%
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-
小児	10.2	13.1	1	7	9	6	11	19	8	9	18	15	16	15	14	10	11	13.1	12.7	96.8%
産婦	18.7	20.3	10	17	23	31	26	27	18	19	15	27	21	21	23	19	21	20.3	22.3	110.3%
救急	5.9	7.3	5	5	7	9	8	8	5	5	9	7	6	8	5	6	3	7.3	6.6	90.8%
歯科	53.3	58.8	52	45	70	41	52	59	50	51	53	60	62	48	63	56	71	58.8	55.5	94.3%
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-
リ膠	4.8	3.8	2	3	3	4	0	6	0	4	7	0	5	4	2	4	2	3.8	3.2	84.4%
合計	360.7	401.0	338	344	411	359	414	458	344	319	381	409	388	368	375	355	389	401.0	379.9	94.7%

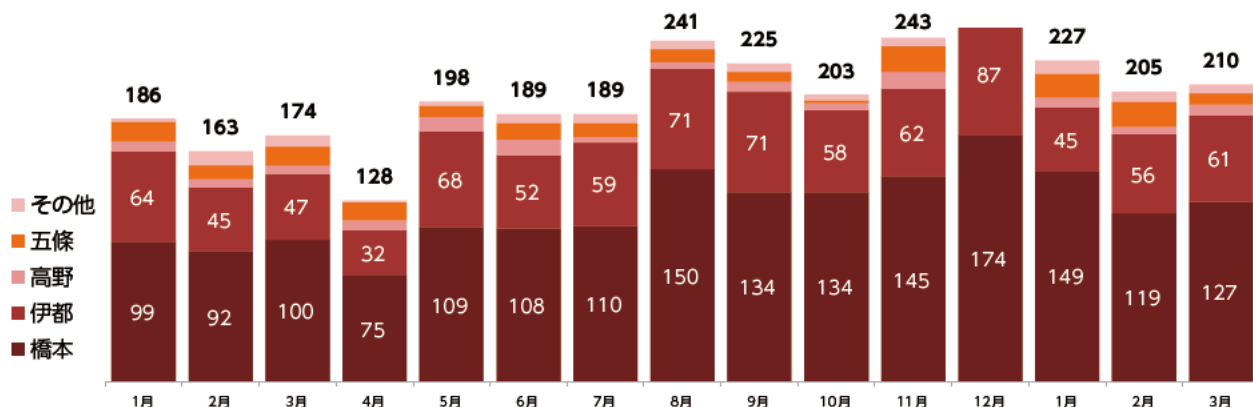
5-1 救急車件数

診療科	2020年度	2021年度	2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
内科	41.7	54.1	66	57	64	44	41	34	41	67	58	48	65	79	62	54	61	54.1	54.5	100.8%			
消内	11.2	7.0	8	9	7	15	11	19	11	23	11	16	11	22	17	20	15	7.0	15.9	227.4%			
代内	6.4	2.8	4	1	1	4	6	6	5	4	1	1	3	8	6	3	0	2.8	3.9	142.4%			
呼内	1.6	2.1	2	2	0	0	2	4	6	6	6	6	8	8	4	4	2	2.1	4.7	224.0%			
循内	20.7	16.3	20	24	18	16	25	18	22	22	29	23	23	28	23	25	31	16.3	23.8	145.4%			
外科	12.5	13.4	13	8	11	3	8	13	14	10	4	7	12	9	22	7	11	13.4	10.0	74.5%			
整形	27.3	26.3	26	22	20	13	27	27	29	31	32	32	28	50	24	26	26	26.3	28.8	109.2%			
脳外	21.3	14.2	17	8	18	5	14	12	9	10	14	10	17	15	12	15	11	14.2	12.0	84.7%			
脳血	-	-	-	-	-	0	-	9	5	6	15	5	13	21	10	13	10	-	10.6	-			
乳腺	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
泌尿	5.2	3.3	3	1	8	6	4	6	4	1	4	2	3	5	2	2	5	3.3	3.7	110.0%			
皮膚	0.0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0.1	0.2	200.0%			
眼科	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.0	0.0%			
放射	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
小児	5.8	6.3	4	1	5	5	3	6	14	11	8	13	6	12	11	8	1	6.3	8.2	130.7%			
産婦	1.5	0.8	0	2	1	0	1	4	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0.8	0.8	90.0%			
救急	27.1	28.3	23	28	21	17	36	31	27	49	42	40	54	47	34	28	36	28.3	36.8	129.7%			
歯科	0.1	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
合計	182.3	175.1	186	163	174	128	198	189	189	241	225	203	243	305	227	205	210	175.1	213.6	122.0%			

5-2 救急車の搬送された元 (消防別)

搬送元	2020年度	2021年度	2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
橋本	111.3	104.3	99	92	100	75	109	108	110	150	134	134	145	174	149	119	127	104.3	127.8	122.5%			
伊都	41.2	47.7	64	45	47	32	68	52	59	71	71	58	62	87	45	56	61	47.7	60.2	126.2%			
高野	6.8	6.8	7	6	6	7	10	11	4	5	7	5	12	11	7	5	8	6.8	7.7	112.2%			
那賀	1.5	1.8	0	3	3	0	0	1	0	2	0	0	3	4	2	4	0	1.8	1.3	72.7%			
医大	0.2	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	100.0%			
近大	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	-			
長野	0.5	0.2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.1	50.0%			
五条	16.1	10.8	14	10	13	13	8	12	10	9	7	2	18	13	17	18	8	10.8	11.3	104.7%			
その他	3.7	2.4	1	5	4	1	1	2	6	2	3	4	3	13	7	2	5	0.0	4.1	-			
Dヘリ	0.7	1.0	1	1	1	0	2	2	0	2	2	0	0	3	0	1	1	1.0	1.1	108.3%			
合計	182.3	175.1	186	163	174	128	198	189	189	241	225	203	243	305	227	205	210	175.1	213.6	122.0%			

医療圏内	159.3	158.8	170	143	153	114	187	171	173	226	212	197	219	272	201	180	196	158.8	195.7	123.2%
医療圏外	23.1	16.3	16	20	21	14	11	18	16	15	13	6	24	33	26	25	14	16.3	17.9	110.3%
合計	182.3	175.1	186	163	174	128	198	189	189	241	225	203	243	305	227	205	210	175.1	213.6	122.0%



5-3-1 橋本市消防本部の搬送先

搬送先	2020年度		2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
橋本市民病院	111.3	104.3	99	92	100	75	109	108	110	150	134	134	145	174	149	119	127	104.3	127.8	122.5%			
紀和病院	26.8	27.6	27	23	26	34	22	24	52	33	29	31	48	36	56	45	33	27.6	36.9	133.8%			
山本病院	11.7	16.4	18	21	10	21	20	21	31	23	9	11	15	13	3	21	13	16.4	16.8	102.0%			
紀北分院	2.8	0.8	1	3	0	0	1	1	3	5	3	1	0	2	1	2	2	0.8	1.8	210.0%			
和歌山医大	5.0	6.2	4	9	5	4	2	8	8	16	11	9	10	9	10	7	8	6.2	8.5	137.8%			
日赤和歌山	2.5	5.4	4	13	4	5	2	4	4	6	5	4	2	7	5	5	4	5.4	4.4	81.5%			
和歌山県他	3.9	5.1	4	10	3	6	4	1	8	16	2	1	8	7	11	3	9	5.1	6.3	124.6%			
近大病院	6.8	9.2	14	7	10	9	5	11	4	5	5	8	7	4	7	7	8	9.2	6.7	72.7%			
大阪府他	3.3	3.8	5	7	5	5	4	1	1	5	2	0	4	3	3	4	1	3.8	2.8	73.3%			
奈良県	1.2	1.6	1	2	2	1	2	0	3	3	5	2	1	1	1	2	0	1.6	1.8	110.5%			
合計	175.3	180.3	177	187	165	160	171	179	224	262	205	201	240	256	246	215	205	180.3	213.7	118.5%			
当院収容率	63.5%	57.9%	55.9%	49.2%	60.6%	46.9%	63.7%	60.3%	49.1%	57.3%	65.4%	66.7%	60.4%	68.0%	60.6%	55.3%	62.0%	57.9%	59.8%	103.4%			

5-3-2 伊都消防組合の搬送先

搬送先	2020年度		2022年			2022年												2023年			前年月平均比較		
	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年度	2022年度	前年比			
橋本市民病院	41.2	47.7	64	45	47	32	68	52	59	71	71	58	62	87	45	56	61	47.7	60.2	126.2%			
紀和病院	33.2	41.7	47	23	35	40	40	33	37	42	21	49	33	22	46	39	40	41.7	36.8	88.4%			
山本病院	10.3	11.9	12	18	5	16	18	9	15	11	8	9	9	9	9	6	7	11.9	10.5	88.1%			
紀北分院	15.5	5.9	9	4	1	0	2	8	6	2	2	1	6	1	0	3	3	5.9	2.8	47.9%			
和歌山医大	2.9	6.7	9	12	2	5	5	4	5	16	9	11	0	15	12	4	5	6.7	7.6	113.8%			
日赤和歌山	2.2	2.2	2	7	1	2	1	2	1	5	2	4	2	4	3	4	1	2.2	2.6	119.2%			
和歌山県他	19.5	23.6	22	35	23	28	24	33	30	42	27	19	19	35	25	35	36	23.6	29.4	124.7%			
近大病院	0.8	1.7	4	2	3	1	2	1	1	1	1	2	3	0	1	2	0	1.7	1.3	75.0%			
大阪府他	0.9	0.6	0	0	2	0	2	0	2	1	0	2	0	2	0	0	0	0.6	0.8	128.6%			
奈良県	0.2	0.8	2	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0.8	0.4	55.6%			
合計	126.7	142.6	171	146	120	124	162	144	156	192	141	156	134	176	141	149	153	142.6	152.3	106.8%			
当院収容率	32.5%	33.4%	37.4%	30.8%	39.2%	25.8%	42.0%	36.1%	37.8%	37.0%	50.4%	37.2%	46.3%	49.4%	31.9%	37.6%	39.9%	33.4%	39.5%	118.1%			

Ⅲ 診療情報

Ⅲ 診療情報（年次報告）

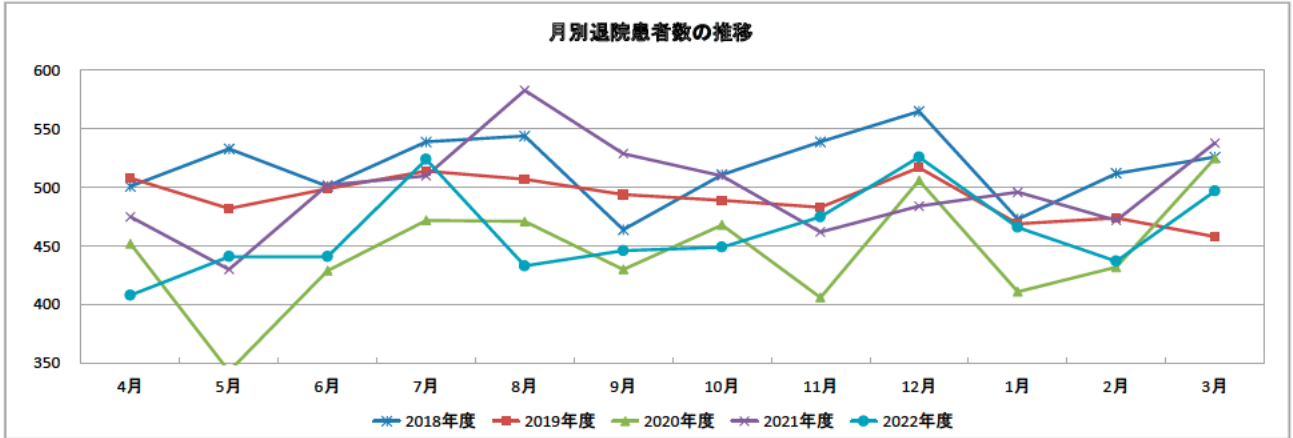
【分類及び集計方法】

- ① この病歴年報は 2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日までの間に退院した患者 5,543 名を対象として作成した。
- ② 疾病分類は世界保健機関（WHO）により定められた「疾病および関連保健問題の国際統計分類第 10 回改正」に基づいて作成された厚生労働省大臣官房統計調査部編第 10 回改正「疾病・傷病および死因統計分類提要」ICD-10（2013 年度版）準拠を使用した。
- ③ 退院患者情報はすべて、橋本市民病院 退院サマリシステム「Medi-Bank」より抽出した。
- ④ 同一患者がこの期間に数回退院した場合、各退院時の退院サマリからそれぞれ情報を抽出した。
- ⑤ 地域包括ケア病棟の患者については、主治医の診療科を主科として抽出した。

①月別退院患者数 (2022年度)

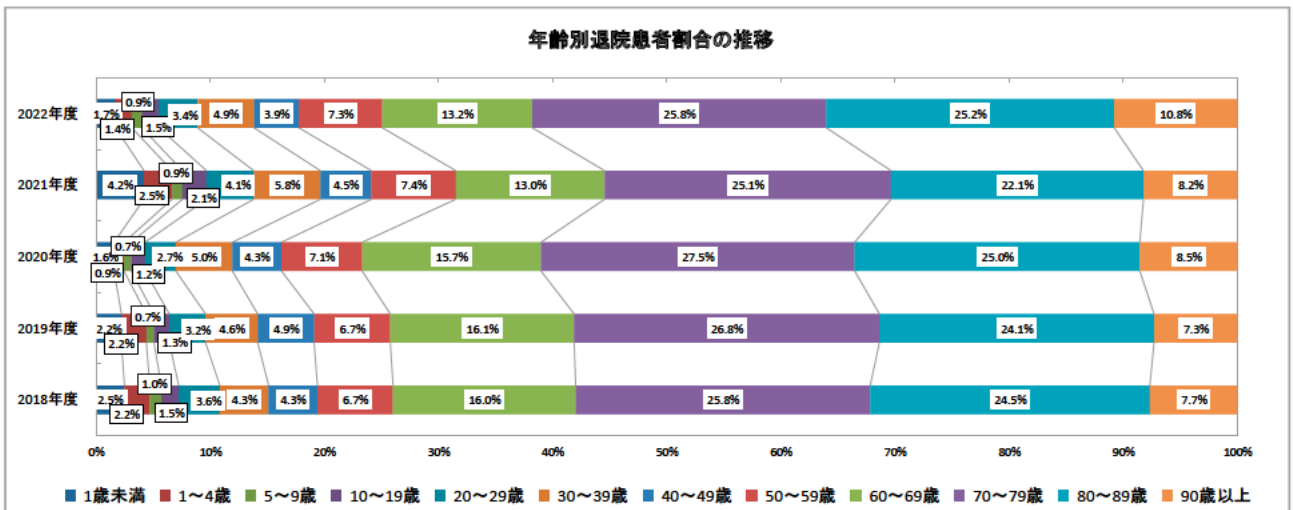
①-I: 性別 (月別)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
男	201	218	213	274	197	224	212	235	257	240	218	237	2,726	-295	3,021	2,741	3,029	3,249
女	207	223	228	250	236	222	237	240	269	226	219	260	2,817	-153	2,970	2,604	2,865	2,959
合計	408	441	441	524	433	446	449	475	526	466	437	497	5,543	-448	5,991	5,345	6,208	6,383
前年度差異	-67	11	-61	14	-150	-83	-61	13	42	-30	-35	-41	198					
2021年度	475	430	502	510	583	529	510	462	484	496	472	538	5,345					
2020年度	452	343	429	472	471	430	468	406	506	411	432	525	5,345					
2019年度	508	482	499	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894					
2018年度	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208					



①-II: 年齢別

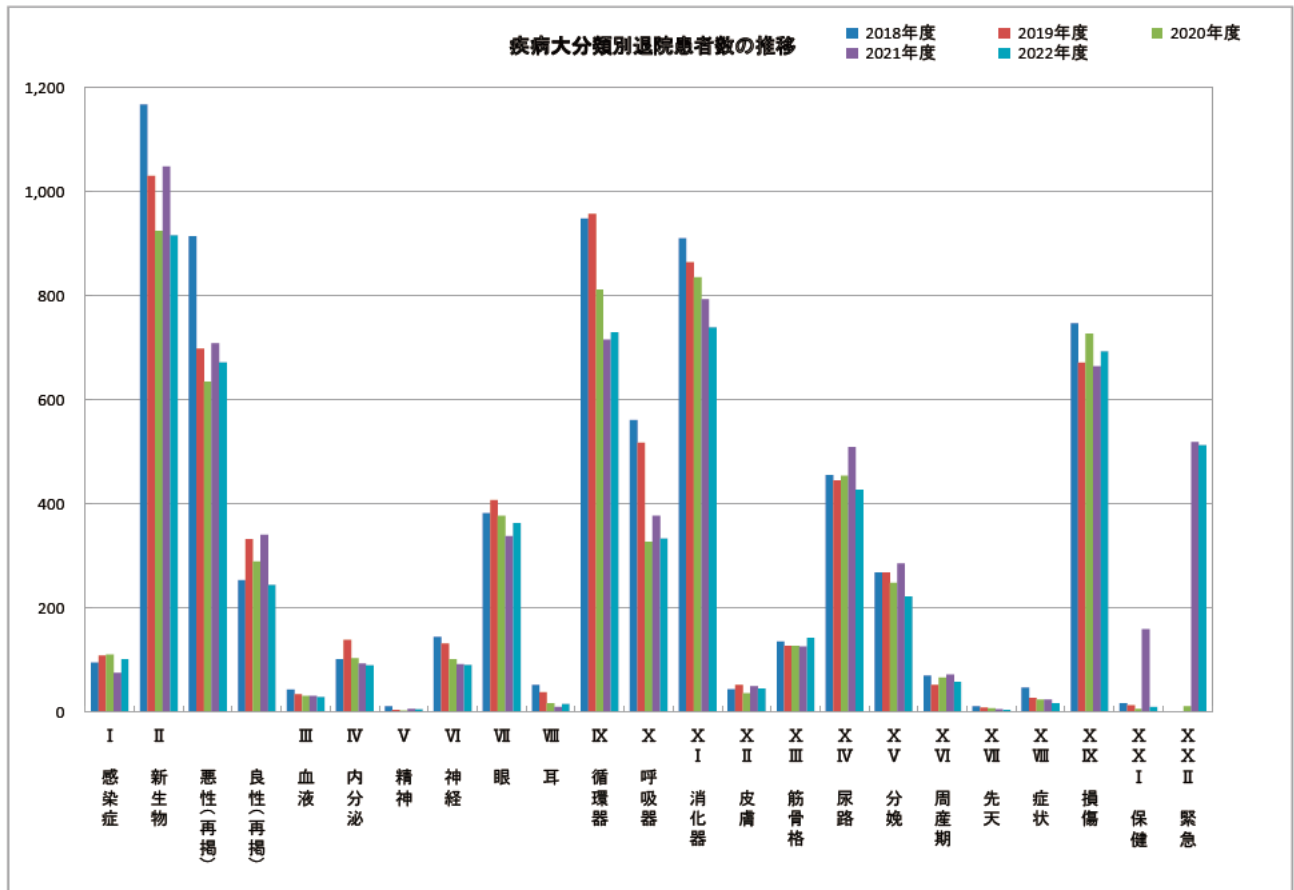
性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
1歳未満	9	7	4	8	11	8	11	9	10	7	3	8	95	-156	251	84	131	153
1~4歳	7	2	1	7	3	13	10	6	7	10	7	5	78	-70	148	46	128	138
5~9歳	10	6	3	2	5	5	3	2	2	2	5	4	49	-5	54	35	40	64
10~19歳	5	6	13	11	9	6	5	7	6	5	8	2	83	-43	126	64	79	94
20~29歳	23	21	16	22	23	8	17	18	12	11	4	13	188	-60	248	144	187	224
30~39歳	18	26	23	43	31	19	16	19	18	24	21	16	274	-76	350	265	270	265
40~49歳	17	15	21	26	28	22	20	11	19	12	13	14	218	-50	268	230	291	265
50~59歳	29	29	39	48	34	28	29	41	38	32	29	29	405	-38	443	378	394	413
60~69歳	45	55	55	77	48	62	56	63	70	66	61	71	729	-52	781	838	949	993
70~79歳	110	107	109	116	99	113	128	121	126	124	123	152	1,428	-76	1,504	1,469	1,577	1,602
80~89歳	96	114	117	112	96	127	108	122	150	119	110	127	1,398	73	1,325	1,336	1,418	1,522
90歳以上	39	53	40	52	46	35	46	56	68	54	53	56	598	105	493	456	430	475
合計	408	441	441	524	433	446	449	475	526	466	437	497	5,543	-448	5,991	5,345	5,894	6,208



①月別退院患者数 (2022年度)

①-Ⅲ：疾病大分類別

疾病大分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
感染症および寄生虫症	2	5	8	13	4	8	8	13	9	7	14	10	101	26	75	110	108	95
新生物	79	66	84	71	68	77	84	91	78	70	77	71	916	-132	1,048	924	1,030	1,167
悪性(再掲)	56	41	66	56	47	53	61	58	60	49	64	61	672	-36	708	635	698	914
良性(再掲)	23	25	18	15	21	24	23	33	18	21	13	10	244	-96	340	289	332	253
血液・造血器疾患、免疫機病の障害	2	1	4	2	5	2	3	3	2	1	1	3	29	-2	31	31	34	43
内分泌、栄養および代謝疾患	7	6	7	10	5	10	8	3	9	9	5	11	90	-3	93	103	139	101
精神および行動の障害	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	5	-1	6	3	4	11
神経系の疾患	8	6	7	10	5	9	7	10	5	8	8	8	91	-1	92	101	132	144
眼および付属器の疾患	37	30	39	30	25	31	32	13	29	30	29	38	363	25	338	377	407	382
耳および乳突突起の疾患	0	1	2	2	1	2	2	3	2	1	0	0	16	6	10	17	38	52
循環器系の疾患	43	62	55	46	44	51	63	67	77	61	61	99	729	14	715	811	957	948
呼吸器系の疾患	21	23	21	25	18	36	20	28	38	36	29	38	333	-44	377	327	517	561
消化器系の疾患	54	59	72	77	39	72	56	50	68	60	65	67	739	-54	793	835	864	910
皮膚および皮下組織の疾患	2	4	3	7	3	5	5	4	7	1	3	1	45	-5	50	36	52	44
筋骨格系および結合組織の疾患	12	15	16	15	9	8	12	11	10	9	11	14	142	16	126	127	127	135
尿路性器系の疾患	27	37	30	51	36	28	37	35	41	28	43	34	427	-82	509	454	445	455
妊娠・分娩・産じよく	18	20	13	28	22	12	20	22	14	20	13	20	222	-63	285	248	268	268
周産期に発生した病態	6	6	3	4	8	3	8	7	3	3	1	6	58	-14	72	66	52	70
先天奇形・変形・染色体異常	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4	-1	5	7	9	11
症状・徴候、他に分類されないもの	2	0	0	6	1	1	1	1	2	3	0	0	17	-7	24	24	27	47
損傷・中毒・外因の影響	44	56	60	56	47	46	60	66	73	64	55	66	693	29	664	727	671	747
保健サービスの利用	3	1	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	10	-149	159	6	13	17
原因不明の新たな疾患	40	42	14	69	92	44	22	47	59	55	19	10	513	-6	519	11	0	0
合計	408	441	441	524	433	446	449	475	526	466	437	497	5,543	-448	5,991	5,345	5,894	6,208

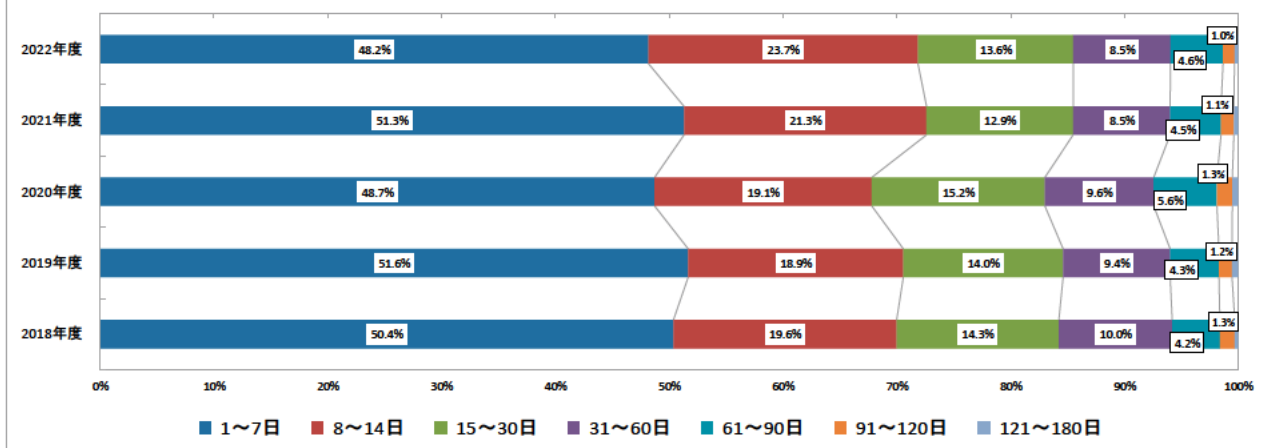


①月別退院患者数 (2022年度)

①-Ⅳ：在院期間別

在院期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
1～7日	207	202	235	257	219	220	228	229	242	205	211	214	2,669	-403	3,072	2,603	3,043	3,126
8～14日	81	111	96	137	106	104	96	110	132	109	107	124	1,313	37	1,276	1,019	1,114	1,217
15～30日	55	65	55	69	48	64	56	62	86	79	46	71	756	-15	771	813	826	885
31～60日	33	28	26	38	36	30	46	41	41	56	41	57	473	-38	511	511	554	619
61～90日	23	28	23	17	21	19	13	28	19	14	26	25	256	-12	268	297	253	260
91～120日	7	6	2	5	2	5	10	4	4	1	5	5	56	-11	67	72	68	81
121～180日	2	1	4	0	1	3	0	1	2	2	1	1	18	-5	23	28	32	19
181日以上	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	-1	3	2	4	1
合計	408	441	441	524	433	446	449	475	526	466	437	497	5,543	-448	5,991	5,345	5,894	6,208

在院期間別退院患者割合の推移

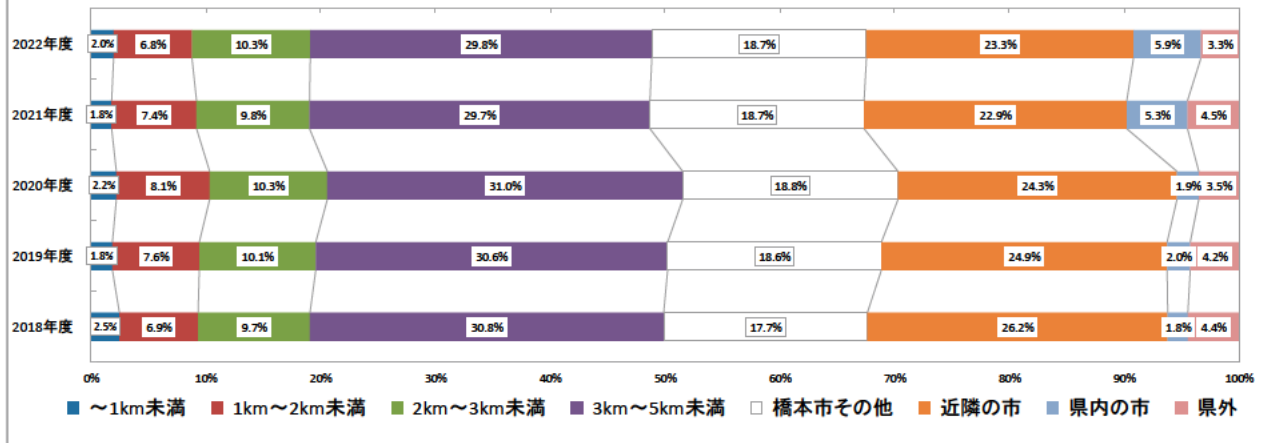


①-Ⅴ：地区別

地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
～1km未満	10	4	10	10	11	10	6	5	7	6	19	11	109	2	107	118	109	153
1km～2km未満	28	24	33	32	31	38	27	33	40	34	24	34	378	-66	444	434	447	426
2km～3km未満	42	44	40	60	49	59	42	48	40	41	47	59	571	-18	589	548	597	604
3km～5km未満	131	136	134	159	115	129	135	131	157	140	133	150	1,650	-127	1,777	1,655	1,806	1,914
橋本市その他	72	80	94	91	83	81	85	93	93	84	91	90	1,037	-81	1,118	1,003	1,098	1,101
近隣の市※	96	96	107	113	94	106	123	102	136	106	95	115	1,289	-82	1,371	1,299	1,466	1,624
県内の市	10	35	8	41	38	15	19	43	43	39	16	19	326	9	317	102	119	110
県外	19	22	15	18	12	8	12	20	10	16	12	19	183	-85	268	186	250	275
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
合計	408	441	441	524	433	446	449	475	526	466	437	497	5,543	-448	5,991	5,345	5,894	6,208

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

地区別退院患者割合の推移

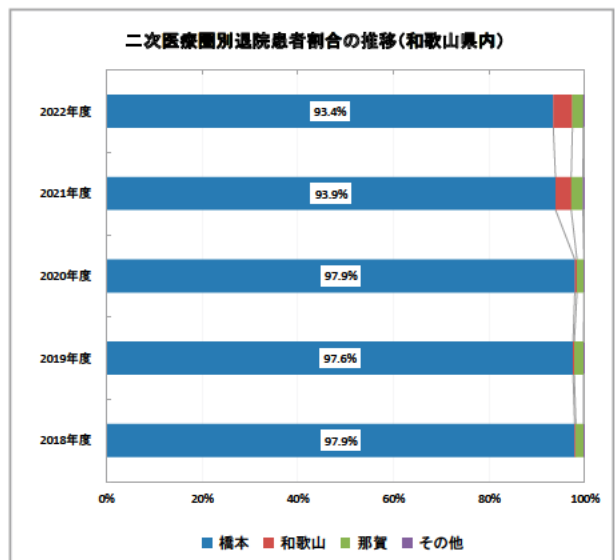
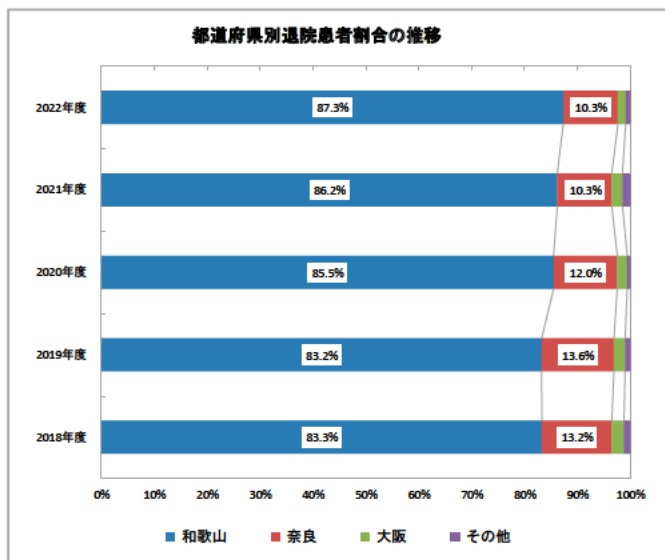


①月別退院患者数 (2022年度)

① - VI : 二次医療圏別

都道府県	二次医療圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
大阪	豊能		1		1								1	3	-3	6	2	4	5
	三島	1			1								1	3	1	2	3	3	7
	北河内		1											1	-4	5	5	6	5
	中河内					1					1	2		4	2	2	10	4	3
	南河内	1	3	4	4	2	1	1	3	1	5	4	1	30	-2	32	33	40	48
	堺市	2	3				2		2		1		1	11	-2	13	14	23	22
	泉州		3	2	3	3			2	2	1		1	4	4	17	21	33	24
	大阪市	1	3	1	2						1		1	9	-35	44	14	14	26
奈良	北和			1		2		1		1			1	6	2	4	3	5	2
	中和	2	6	2	2	1		2	1	1	4	4	2	27	-4	31	23	27	29
	南和	43	36	44	40	33	51	46	49	64	37	39	57	539	-45	584	618	772	791
和歌山	和歌山	6	26	4	29	30	9	5	23	25	27	4	7	195	25	170	21	12	14
	那賀	4	8	4	9	5	5	11	15	17	12	10	7	107	-19	126	66	96	81
	橋本	338	347	373	426	352	376	376	369	413	375	372	406	4,523	-323	4,846	4,473	4,786	5,061
	有田		1		1	2			1	1		1		8	-6	14	4	4	4
	御坊				1									1	-1	2	3	5	6
	田辺					1	1		1				3	6	2	4	1	2	
	新宮												1	1	1	0	0	1	4
その他		10	3	6	5	1	1	4	9	2	3		4	48	-41	89	31	57	76
合計		408	441	441	524	433	446	449	475	526	466	437	497	5,543	-448	5,991	5,345	5,894	6,208

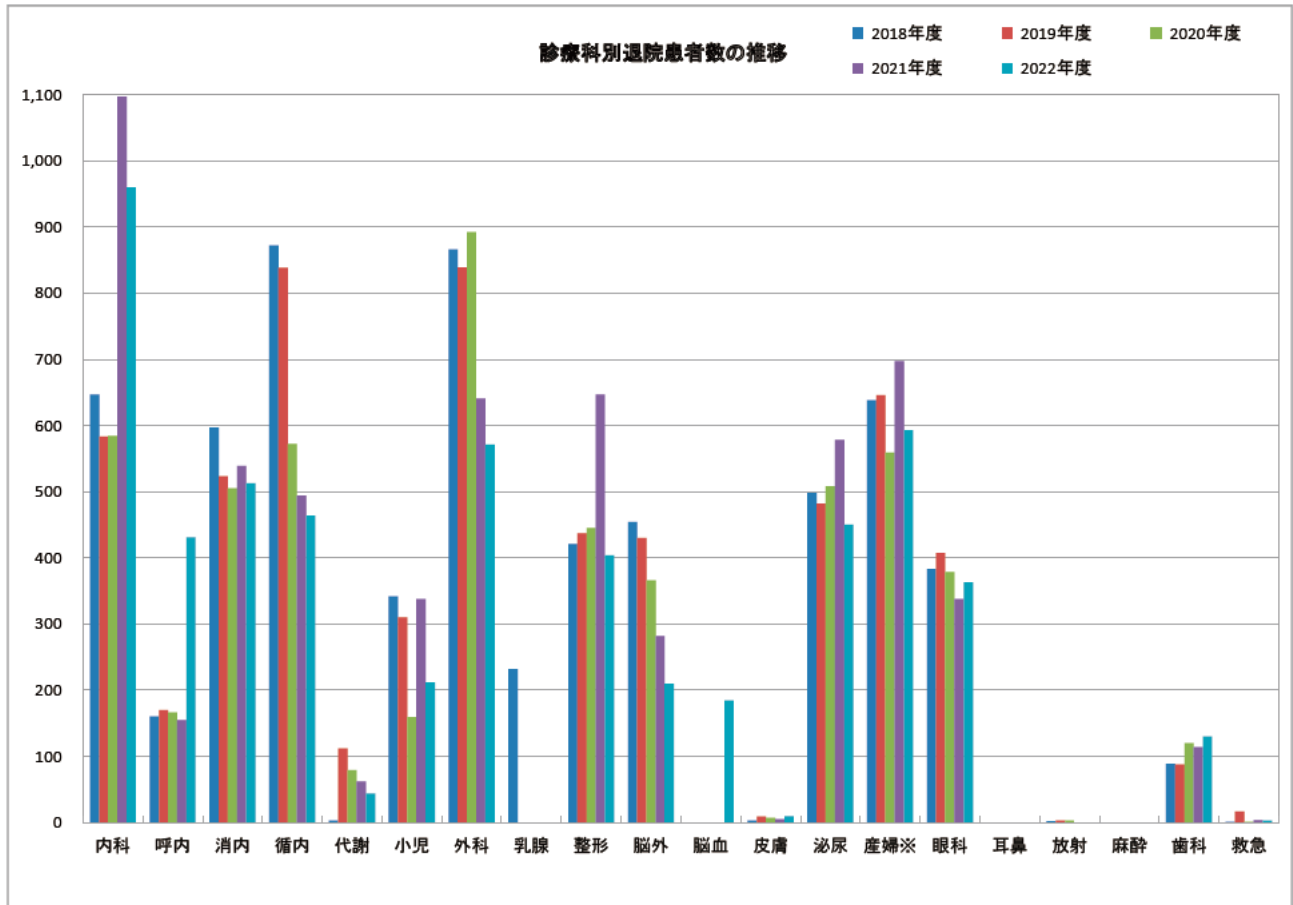
※外国 / その他は前年度以前に退院した二次医療圏で2022年度退院のないもの



②診療科別退院患者数 (2022年度)

②- I : 性別 (診療科別)

性別	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
男	447	216	316	241	24	117	362		188	128	111	5	359	6	147				59		2,726
女	513	215	197	223	20	95	209		216	82	74	5	91	587	216				71	3	2,817
合計	960	431	513	464	44	212	571	0	404	210	185	10	450	593	363		0		130	3	5,543
前年度差異	-137	276	-26	-30	-18	-126	-70	0	-243	-72	185	5	-128	-104	25		0		16	-1	-448
2021年度	1,097	155	539	494	62	338	641	0	647	282	0	5	578	697	338		0		114	4	5,991
2020年度	584	166	505	572	79	159	892	0	445	366	0	7	508	559	379		3		120	1	5,345
2019年度	583	170	523	838	112	310	839	0	437	430	0	9	482	646	407		3		88	17	5,894
2018年度	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	0	3	498	638	383		2		89	1	6,208



*健康新生児含む

②- II : 年齢別

年齢	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
1歳未満						94								1							95
1～4歳						73	1		3										1		78
5～9歳						29			8				1						11		49
10～19歳	14	2	3		1	16	10		21	1				7					8		83
20～29歳	24	8	2	2			6		18	1	1		1	118					6	1	188
30～39歳	30	4	14	2	2		20		18	3	1		3	164					13		274
40～49歳	30	8	23	1	2		20		24	11	6		20	59					13	1	218
50～59歳	45	22	44	27	9		45		52	16	14		44	58	14				15		405
60～69歳	88	65	89	52	6		110		65	24	28	1	84	49	53				15		729
70～79歳	147	120	176	113	17		224		71	78	49	2	189	57	168				17		1,428
80～89歳	335	137	129	180	5		114		88	56	68	3	91	53	111				27	1	1,398
90歳以上	247	65	33	87	2		21		36	20	18	4	17	27	17				4		598
合計	960	431	513	464	44	212	571		404	210	185	10	450	593	363				130	3	5,543

②診療科別退院患者数（2022年度）

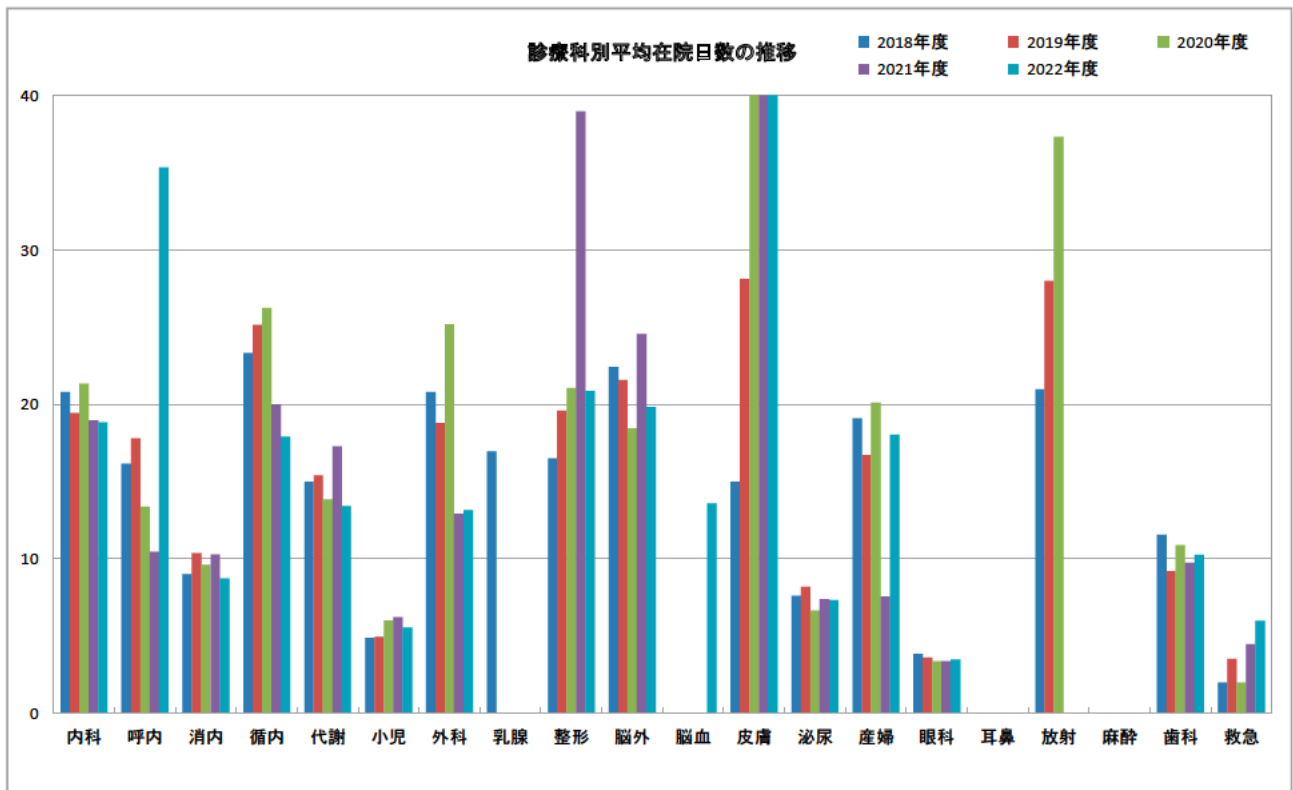
②-Ⅲ：疾病大分類別																					
疾病大分類	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
感染症および寄生虫症	56	7	9	2		16	3		1		1	1	2	2					1		101
新生物	22	79	168	2	2		222		6	9			236	129					41		916
悪性（再掲）	20	78	55	2	1		210		1	3			232	56					14		672
良性（再掲）	2	1	113		1		12		5	6			4	73					27		244
血液・造血器疾患、免疫機構の障害	15		4	2			5							3							29
内分泌、栄養および代謝疾患	42	1	6	1	35	2	1							2							90
精神および行動の障害	3		1											1							5
神経系の疾患	21	22	4			3			7	27	7										91
眼および付属器の疾患															363						363
耳および乳様突起の疾患	4	5	3			1				2	1										16
循環器系の疾患	28	5	5	411		1			2	122	154			1							729
呼吸器系の疾患	126	104	4	6	1	85	3		2	1									1		333
消化器系の疾患	44		301	2	1	4	315						1						71		739
皮膚および皮下組織の疾患	23						4		6			7	1	1					3		45
筋骨格系および結合組織の疾患	27	36	1			10			52					16							142
尿路性器系の疾患	80		2	8	4	4	3						208	118							427
妊娠・分娩・産じょく					1									221							222
周産期に発生した病態						57								1							58
先天奇形・変形・染色体異常				1						1				1					1		4
症状・徴候、他に分類されないもの	7	4				3	1				1								1		17
損傷・中毒・外因の影響	28	131	5	23			9		328	48	21	2	2	82					11	3	693
保健サービスの利用				5			4							1							10
原因不明の新たな疾患	434	37		1		26	1							14							513
合計	960	431	513	464	44	212	571	-	404	210	185	10	450	593	363	-	0	-	130	3	5,543

②診療科別退院患者数（2022年度）

②-Ⅳ：在院期間別

在院期間	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
1～7日	288	110	323	189	12	166	269		165	53	73	1	317	288	361				53	1	2,669
8～14日	335	66	113	91	20	42	149		55	63	48		95	174	2				58	2	1,313
15～30日	168	63	52	105	9	4	113		75	50	49	4	28	23					13		756
31～60日	110	77	18	51	3		32		82	34	12		7	43					4		473
61～90日	44	95	6	21			4		19	10	2	2	2	49					2		256
91～120日	8	17	1	3			2		6		1	3		15							56
121～180日	7	3		4			1		1				1	1							18
181日以上							1		1												2
合計	960	431	513	464	44	212	571		404	210	185	10	450	593	363				130	3	5,543
平均在院日数※	18.8	35.3	8.8	17.9	13.4	5.6	13.2		20.9	19.8	13.6	52.2	7.3	18.1	3.5				10.3	6.0	15.8
前年度差異	-0.1	24.8	-1.5	-2.1	-3.9	-0.7	0.2		-18.1	-4.7		-20.4	-0.1	10.5	0.1				0.5		0.2
2021年度	19.0	10.5	10.3	20.0	17.3	6.2	12.9		39.0	24.6		72.6	7.4	7.6	3.4				9.7	4.5	15.6
2020年度	21.3	13.4	9.6	26.2	13.9	6.0	25.2		21.1	18.5		44.3	6.7	20.1	3.4				10.9	2.0	17.4
2019年度	19.5	17.8	10.4	25.2	15.4	5.0	18.8		19.6	21.6		28.1	8.2	16.7	3.6				9.2	3.5	16.2
2018年度	20.8	16.2	9.0	23.3	15.0	4.9	20.8	17.0	16.5	22.4		15.0	7.6	19.1	3.9				11.6	2.0	16.3

※小数点第2位を四捨五入



②-V：地区別

地区	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計	
～1km未満	30	9	13	7	1	5	9		7	3	3		6	6	9				1		109	
1km～2km未満	41	26	56	32	2	3	40		29	19	12		37	27	47				7		378	
2km～3km未満	100	45	64	21	2	36	68		43	15	26	2	39	66	36				8		571	
3km～5km未満	250	139	143	146	18	63	151		117	66	52	6	144	180	137				36	2	1,650	
橋本市その他	156	97	94	112	13	31	112		87	38	40		100	87	43				26	1	1,037	
近隣の市※	178	97	127	131	6	41	172		90	55	46	1	97	130	86				32		1,289	
県内の市	190	12	11	6		7	14		12	6	3		14	33	1				17		326	
県外	15	6	5	9	2	26	5		19	8	3	1	13	64	4				3		183	
住所不明等																						
合計	960	431	513	464	44	212	571		404	210		10	450	593	363				130	3	5,543	

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

②診療科別退院患者数（2022年度）

②- VI：二次医療圏別																						
都道府県	二次医療圏	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
大阪	豊能						1					1				1						3
	三島						1									2						3
	北河内									1												1
	中河内					1					1	1				1						4
	南河内	2	1	1	1	1		2		4					6	12						30
	堺市						3			1	2				2	2				1		11
	泉州	2	3				1			3	1				7	3				1		21
	大阪市						2			1						6						9
奈良	北和	2					1			1						2						6
	中和	2	1	1	1		4	2		6				1	7	1				1		27
	南和	50	31	57	59		14	54		19	17	18	2	19	81	105				13		539
和歌山	和歌山	157	9	3	3		4			2	1			1	13					2		195
	那賀	18	2	7	3		2	13		10	5	3		11	18	1				14		107
	橋本	705	383	443	397	42	167	500		353	180	162	8	401	425	256				98	3	4,523
	有田	6												1	1							8
	御坊	1																				1
	田辺	4					1								1							
	新宮	1																				
その他		10	1	1			11			3	3			1	18							48
合計		960	431	513	464	44	212	571	-	404	210	185	10	450	593	363	-	-	-	130	3	5,543

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2022年度			2021年度			2020年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
内科	1位	COVID 関連	434	11.5	COVID 関連	427	9.8	固形物および液状物による肺炎	71	27.0
	2位	固形物および液状物による肺炎	69	28.7	固形物および液状物による肺炎	73	34.5	尿路系のその他の障害	47	21.1
	3位	尿路系のその他の障害	39	29.2	尿路系のその他の障害	52	23.8	肺炎, 病原体不詳	40	19.6
	4位	その他の敗血症	24	29.5	心不全	24	33.1	腸のその他の疾患	39	2.4
	5位	肺炎, 病原体不詳	21	21.5	その他の敗血症	21	37.0	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	26	22.8
呼吸器内科	1位	気管支および肺の悪性新生物	69	7.3	気管支および肺の悪性新生物	49	9.4	気管支および肺の悪性新生物	28	7.1
	2位	大腿骨骨折	52	68.3	睡眠障害	24	2.0	睡眠障害	26	2.0
	3位	COVID 関連	37	11.4	肺の画像診断における異常所見	8	2.0	肺炎, 病原体不詳	19	32.2
	4位	その他の間質性肺疾患	23	25.2	気胸	8	16.5	その他の間質性肺疾患	12	14.9
	5位	睡眠障害	20	2.0	その他の間質性肺疾患	7	30.4	肺気腫	8	9.8
循環器内科	1位	心不全	133	31.7	狭心症	142	5.4	心不全	174	37.6
	2位	狭心症	107	3.7	心不全	138	34.3	狭心症	122	6.5
	3位	急性心筋梗塞	51	19.7	急性心筋梗塞	53	20.6	急性心筋梗塞	54	22.4
	4位	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	33	10.0	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	27	12.1	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	43	16.8
	5位	心臓および血管のプロステシス, 挿入物および移植片の合併症	21	16.0	慢性虚血性心疾患	14	10.1	慢性虚血性心疾患	20	12.9
代謝内科	1位	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	22	11.6	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	29	13.1	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	37	13.6
	2位	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	5	10.0	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	5	13.6	下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	5	3.4
	3位	その他の内分泌障害	2	2.0	肺炎, 病原体不詳	3	96.7	尿路系のその他の障害	5	14.6
	4位	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	2	11.5	下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	2	4.0	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	4	10.0
	5位	詳細不明の糖尿病	2	36.5	消化器系のその他の疾患	2	4.5	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	2	4.0

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2022年度			2021年度			2020年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
小児科	1位	肺炎, 病原体不詳	30	4.5	COVID 関連	86	7.1	肺炎, 病原体不詳	24	3.4
	2位	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	29	3.7	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	62	3.8	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	17	9.2
	3位	COVID 関連	26	6.9	肺炎, 病原体不詳	49	3.7	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	12	8.5
	4位	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	18	6.5	新生児の呼吸窮<促>迫	24	8.6	新生児の呼吸窮<促>迫	11	7.5
	5位	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	15	10.4	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	16	10.2	胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	10	6.7
外科	1位	そけい<崟径>ヘルニア	81	4.7	そけい<崟径>ヘルニア	87	5.8	腸のその他の疾患	88	5.6
	2位	結腸の悪性新生物	70	16.8	胆石症	64	11.4	そけい<崟径>ヘルニア	78	5.6
	3位	胃の悪性新生物	46	21.6	結腸の悪性新生物	57	19.4	胆石症	74	13.2
	4位	直腸の悪性新生物	45	17.2	急性虫垂炎	45	10.2	大腿骨骨折	54	72.3
	5位	麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	39	18.6	腸のその他の疾患	44	8.2	結腸の悪性新生物	51	20.9
乳腺呼吸器外科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
整形外科	1位	前腕の骨折	72	11.3	大腿骨骨折	143	62.9	前腕の骨折	61	11.0
	2位	大腿骨骨折	62	40.0	前腕の骨折	74	14.8	下腿の骨折, 足首を含む	56	16.6
	3位	下腿の骨折, 足首を含む	57	17.5	下腿の骨折, 足首を含む	71	38.4	大腿骨骨折	47	46.6
	4位	肩および上腕の骨折	33	13.0	肩および上腕の骨折	65	32.1	肩および上腕の骨折	44	13.5
	5位	手首および手の骨折	19	7.5	腰椎および骨盤の骨折	51	56.3	手首および手の骨折	25	7.0

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2022年度			2021年度			2020年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
脳神経外科	1位	脳梗塞	74	21.9	脳梗塞	128	26.9	脳梗塞	157	20.0
	2位	頭蓋内損傷	41	18.5	頭蓋内損傷	53	15.9	頭蓋内損傷	59	11.9
	3位	脳内出血	22	26.6	脳内出血	35	31.9	脳内出血	48	26.7
	4位	てんかん	13	9.6	てんかん	15	19.3	その他の脳血管疾患	19	8.6
	5位	水頭症	11	13.8	その他の脳血管疾患	9	8.7	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	14	12.8
脳血管治療科	1位	脳梗塞	75	18.8						
	2位	脳内出血	29	14.1						
	3位	その他の脳血管疾患	24	4.5						
	4位	頭蓋内損傷	21	11.0						
	5位	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	20	3.7						
泌尿器科	1位	前立腺の悪性新生物	116	5.1	前立腺の悪性新生物	176	4.1	前立腺の悪性新生物	172	3.9
	2位	腎結石および尿管結石	84	4.2	腎結石および尿管結石	98	6.5	腎結石および尿管結石	94	5.4
	3位	膀胱の悪性新生物	81	10.4	前立腺肥大（症）	96	6.4	前立腺肥大（症）	54	6.9
	4位	前立腺肥大（症）	63	5.7	膀胱の悪性新生物	84	7.9	膀胱の悪性新生物	52	10.6
	5位	尿路系のその他の障害	27	7.4	尿路系のその他の障害	38	11.5	その他の膀胱障害	19	3.3
皮膚科	1位	類天疱瘡	4	73.8	有害作用、他に分類されないもの	1	6.0	熱傷および腐食、部位不明	2	49.5
	2位	摂取物質による皮膚炎	2	10.5	類天疱瘡	1	23.0			
	3位	帯状疱疹【帯状ヘルペス】	1	20.0	下肢の潰瘍、他に分類されないもの	1	70.0			
	4位	天疱瘡	1	24.0	乾せん<癬>	1	92.0			
	5位	足首および足の熱傷および腐食	1	63.0	丹毒	1	172.0			

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2022年度			2021年度			2020年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
産婦人科	1位	単胎自然分娩	95	7.9	出生児, 出生の場所による	145	6.8	単胎自然分娩	100	6.6
	2位	子宮平滑筋腫	40	8.7	単胎自然分娩	139	7.0	大腿骨骨折	33	76.7
	3位	大腿骨骨折	38	64.6	女性性器のポリープ	35	1.1	女性性器のポリープ	32	1.1
	4位	女性性器脱	36	11.1	子宮平滑筋腫	30	8.3	早産	25	20.1
	5位	女性性器のポリープ	31	1.1	卵巣の良性新生物	25	7.3	腰椎および骨盤の骨折	24	64.7
眼科	1位	老人性白内障	353	3.5	老人性白内障	330	3.4	老人性白内障	373	3.4
	2位	その他の白内障	9	4.7	その他の白内障	6	2.0	その他の体内プロステシス, 挿入物および移植片の合併症	2	1.0
	3位	視神経炎	1	8.0	水晶体のその他の障害	2	3.0	水晶体のその他の障害	2	3.0
	4位									
	5位									
耳鼻咽喉科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
放射線科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2022年度			2021年度			2020年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
麻酔科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
歯科・口腔外科	1位	埋伏歯	20	4.7	埋伏歯	27	5.1	埋伏歯	22	4.3
	2位	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	19	8.1	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	19	8.2	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	22	7.6
	3位	歯顎顔面（先天）異常 [不正咬合を含む]	18	6.5	歯髄および根尖歯周組織の疾患	9	5.2	歯髄および根尖歯周組織の疾患	18	7.1
	4位	歯髄および根尖歯周組織の疾患	15	6.5	顎骨のその他の疾患	8	10.9	頭蓋骨および顔面骨の骨折	11	27.0
	5位	頭蓋骨および顔面骨の骨折	11	15.2	その他および部位不明の骨および関節軟骨の悪性新生物	7	14.9	歯肉炎および歯周疾患	8	5.6
消化器内科	1位	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	107	2.4	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	198	2.7	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	164	2.7
	2位	腸のその他の疾患	106	2.3	胃の悪性新生物	30	16.8	腸の憩室性疾患	26	7.4
	3位	胆道のその他の疾患	33	17.7	腸のその他の疾患	23	2.5	胆石症	25	12.8
	4位	胆石症	30	13.0	腸の憩室性疾患	22	6.8	消化器系のその他の疾患	22	7.1
	5位	腸の憩室性疾患	20	7.6	胆道のその他の疾患	22	11.9	腸の血行障害	21	10.1
救急科	1位	処置の合併症，他に分類されないもの	1	2.0	気胸	1	1.0	下腿の血管損傷	1	2.0
	2位	肋骨，胸骨および胸椎骨折	1	8.0	心停止	1	1.0			
	3位	腹腔内臓器の損傷	1	8.0	胆石症	1	8.0			
	4位				続発性パーキンソン<Parkinson>症候群	1	8.0			
	5位									

IV 診療科紹介

IV 診療科紹介

総合内科

消化器内科

代謝内科

呼吸器内科

小児科

産婦人科

外科

整形外科

脳神経外科

脳血管内治療科、脳血管内治療センター

眼科

泌尿器科

麻酔科

放射線科

歯科口腔外科

皮膚科

病理診断科

循環器内科

救急科

健診センター

総合内科

【科概要、取り組み、年度総括】

当院の総合内科の特徴は、①どこに受診したらよいかわからない方の窓口の役目をする外来、②様々な問題を抱え、一つの科のみでは対応が難しい方（特に高齢者）の入院、③院内でのチーム医療への積極的な参加、この3つが挙げられます。①については、発熱や倦怠感といったどこを受診したらよいかわからない方の外来診療を行い、そのまま検査や治療を行ったり、必要に応じて専門科へつなぐ役割を果たしています。②については、さまざまな問題を抱え入院となる方が多く、特に感染症や原因がはっきりしない症状に紺する入院精査・治療を行っています。③に関しては、緩和ケアや感染管理といったチーム医療が必要とされ、内科医としてその中核的な役割を果たしております。2020年からは新型コロナウイルス感染症の対応も担っており、発熱患者の対応やワクチン接種業務を中心に活動しております。

総括として①研修医教育②学生教育について以下のように取り組みましたので報告します。

①研修医教育

医学部を卒業し、医師になった後は系統だって教育を受ける機会が少ないのが日本の現状です。総合内科は教育も重要であると考え、とくに研修医の教育に力を入れており、臨床研修病院として病院のバリューを高めることに貢献しております。また看護師やコメディカルとともに研修会や実技講習会を開催することで、病院全体のレベルアップに貢献していく予定です。2022年度も病棟ローテートが25名の合計51ヶ月、外来ローテートが11名の11ヶ月と多くの研修医を受け入れることができました。また橋本市や橋本市民病院の名前を全国に発信する活動も継続しています。

②学生教育

当科では医学部学生の見学や実習も積極的に受け入れており、「こんなに身体診察を行えたのは初めてでした」などの感想をいただいています。パンデミックで多くの臨床実習や対面授業が中止となる中、オンラインも活用しながら継続的な学習支援を行っています。2022年度も和歌山県立医科大学、近畿大学などから多くの学生を受け入れました。

【診療実績等】

1日平均患者数

外来 26.8名

入院 46.4名

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：堀谷 亮介 <small>ほりたに りょうすけ</small> 補職名：医長 専門領域：総合診療	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 (同上) / JMECC インストラクター 日本救急医学会 / ICLS ディレクター 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 日本専門医機構 / 総合診療専門研修 特任指導医 厚生労働省医師臨床研修指導医 熱帯医学衛生学位 (DTMH) 熱帯医学専攻修士課程修了 (MTM)
氏名：青木 達也 <small>あおき たつや</small> 補職名：副医長 専門領域：総合診療	日本内科学会 / 認定内科医
氏名：有吉 彰子 <small>ありよし しょうこ</small> 補職名：副医長 専門領域：画像診断 医学教育 インストラクショナルデザイン	検診マンモグラフィ読影認定医 日本医学放射線学会 / 放射線科専門医 (同上) / 放射線診断専門医・指導医 John Hopkins Bloomberg School of Public health 在学中 (2023年3月現在) 厚生労働省医師臨床研修指導医 医学博士

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：有吉 平 補職名：副医長 専門領域：総合診療 小児科	日本小児科学会 / 小児科専門医・指導医 日本小児感染症学会 / 小児感染症認定医 医学博士 臨床研修指導医
氏名：宮里 悠佑 補職名：副医長 専門領域：総合診療 臨床感染性感染症一般 (2022年9月入職)	日本内科学会 / 認定内科医 日本感染症学会 / 感染症専門医
氏名：平山 陽士 補職名：副医長 専門領域：総合診療 消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / JMECC インストラクター 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本救急医学会 / ICLS ディレクター 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医
氏名：松山 依子 専門領域：総合診療 血液内科	
氏名：松下 翔 専門領域：総合内科 (2022年9月入職)	日本内科学会 / 総合内科専門医
氏名：千田 修平 専門領域：総合診療 (2022年9月退職)	
氏名：石亀 慎也 専門領域：総合診療 (2023年3月退職)	
氏名：角野 直央 専門領域：総合診療 (2022年4月入職)	
氏名：天野 雄登 専門領域：総合診療 (2022年7月入職)	
氏名：池本 明由実 専門領域：総合診療 (2022年10月入職) (2023年3月退職)	

業績

講演会

No	年月	会名	演題名	演者	開催都市
1	2022年7月	諏訪中央病院 感染症レクチャー	Sexually transmitted infections	宮里 悠佑	茅野市
2	2022年8月	諏訪中央病院 感染症レクチャー	Fever of unknown origin	宮里 悠佑	茅野市
3	2022年10月	諏訪中央病院 感染症レクチャー	臨床で出会う真菌	宮里 悠佑	茅野市
4	2022年11月	新型コロナ感染対策研修	新型コロナの治療薬を楽しく学ぶ	宮里 悠佑	橋本市
5	2022年12月	諏訪中央病院 感染対策研修	楽しく学ぼう！標準予防策とコロナ	宮里 悠佑	茅野市
6	2023年2月	諏訪中央病院 感染症レクチャー	インフルエンザ	宮里 悠佑	茅野市

論文・雑誌掲載

No	年月	誌名等及び巻・頁	題名	筆頭著者	共著者
1	2022年11月	とことん極める！腎盂腎炎	気腫性膀胱炎 / 気腫性腎盂腎炎とは？	宮里 悠佑	
2	2022年12月	Intern Med. 2022 Dec 15; 61(24): 3743-3747.	Elevated white blood cell count and lactate dehydrogenase levels are important markers for diagnosing relapse of adult-onset still's disease under tocilizumab use	Sho Matsushita	Kenei Sada, Atsushi Manabe, Eriko Kashihara, Shunsuke Tagawa, Hiroyuki Akebo, Hirofumi Miyake, Ryuichi Minoda Sada, Kazuhiro Hatta
3	2023年1月	今日の治療指針 2023年版, 242-3	鉤虫症	宮里 悠佑	
4	2023年3月	CHEST JOURNAL	Gastroesophageal Reflux Disease or Proton Pump Inhibitor Use?: A Controversy Over the Association of Nontuberculous Mycobacterial Pulmonary Disease.	Kagawa T	Nagano H, Iwasaku M, Kawano R, Hirayama Y, Uruguchi K, Yoshioka T

座長・パネリスト・その他

No	開催年月	学会・研究会名	参加役割	参加者	開催都市
1	2022年9月	令和4年度プログラム責任者養成講習会	タスクフォース	堀谷 亮介	Web
2	2022年12月	令和4年度医師臨床研修指導医講習会	タスクフォース	堀谷 亮介	和歌山市
3	2023年3月	第239回日本内科学会近畿地方会	座長	堀谷 亮介	大阪市

消化器内科

【科の概要と取り組み、年度総括】

消化器内科は、主に消化器病を中心とした一般内科で腹痛、嘔吐、下痢、血便といった消化管（食道、胃、小腸、大腸）の疾患と、胆石、肝炎、胆嚢炎や膵炎などの肝胆膵の疾患があります。これらの消化器内科疾患に対し薬剤による治療、内視鏡治療、エコー下透視下での治療を積極的に行っています。

日々の診療においては「患者さんの話をよく聞くこと」、「時間と経費を無駄にしない診療」、「患者さん一人一人の病状に合わせた治療」を心がけ、また、開業医の先生方、近隣の病院との連携、情報提供や紹介入院治療などを行っています。

内視鏡治療の需要は年々高くなってきております。消化管癌については早期発見に力を入れ、積極的に拡大観察を施行しております。今後も当院で完結できるように、低い合併症率、高いクオリティを維持できるようにしたいと考えております。

【診療実績】

当院で完結することを目指して、積極的治療を行ってきました。

2022年の入院患者は541人で、2021年と比べほぼ横ばいとなっています。

1日平均患者数

外来 22.5名

入院 10.6名

2022年度の内視鏡治療症例数

食道 ESD	1例
食道 EIS・EVL	4例
胃 ESD	16例
上部内視鏡的止血術	35例
大腸ポリペクトミー	264例
大腸 ESD	12例
下部内視鏡的止血術	20例

2022年度の総内視鏡検査件数

上部内視鏡	1,295件
下部内視鏡	651件
ERCP	73件
EUS	18件
小腸カプセル内視鏡	4件

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：吉田 悟 <small>よしだ ざとし</small> 補職名：医長 専門領域：消化器内科	医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名：横山 英一郎 <small>よこやま えいいちろう</small> 専門領域：消化器内科 （2022年10月入職）	
氏名：中畑 明耶 <small>なかはた あきや</small> 専門領域：消化器内科 （2022年9月退職）	
氏名：杉原 悠斗 <small>すぎはら ゆうと</small> 専門領域：消化器内科 （2022年4月入職） （2022年9月退職）	
氏名：高橋 拓矢 <small>たかはし たくや</small> 専門領域：消化器内科 （2022年10月入職） （2023年3月退職）	

代謝内科

【科の概要と取り組み、年度総括】

内科(代謝・内分泌)は主として糖尿病・脂質異常症・肥満症・高血圧・メタボリックシンドローム等のいわゆる「生活習慣病」の診断・治療・管理をおこなっています。生活習慣病は動脈硬化の危険因子として、特に高齢者のQOLに大きな影響を及ぼすと考えられ、2007年以降、超高齢化社会に突入したわが国では生活習慣に早期から積極的に介入して個々の患者さんに良質な日常生活を送っていただくことが社会的にも最重要課題となってきています。これらの疾患を有する患者さんに対して長期間にわたる日常生活への介入、病態・病期に即した薬物治療の選択を行っていくためには、地域全体で医療連携を推進していく必要があります。当地域の基幹医療施設である当院においては総合病院の利点を生かして各専門科や各専門職(看護師・栄養士・薬剤師・検査技師・理学療法士等)との連携を図って、重症度や合併症の評価を行い、それに基づいた生活指導や治療介入を行います。

内分泌疾患領域では甲状腺疾患をはじめ、副腎疾患、下垂体疾患も当科で担っています。比較的特殊な検査を要するこれらの内分泌疾患の診断及び治療方針の決定を行います。

2022年度における当科診療体制は常勤医が2名、近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科から週3回、外来診療を応援していただいています。2023年1月からは常勤医が1名産休・育休を取得するため、2023年12月までは常勤医1名態勢となりますが、和歌山県立医科大学附属病院代謝内科から隔週火曜と毎週木曜日に外来診療を応援して頂いています。2022年4月～2023年3月の当科受診患者は延べ7157名、そのうち初診患者数は154名でした。2022年4月～2023年3月に当科で担当した入院患者は75名でした。院内で「糖尿病教室」を医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士が2週で1サイクルの内容でそれぞれ開催しており、教育入院患者だけでなく、入院中の糖尿病患者はだれでも参加でき、糖尿病についての大まかな知識が得られるように構成されています。コロナ禍前までは集まって開催していましたが、コロナ禍ではマンツーマンで開催する方法に変えて感染対策をしています。また、糖尿病療養指導士の育成にも積極的にすすめており、現在9名のCDEJと10名のWLCDEが現場で活躍しています。糖尿病療養支援外来(療養相談・フットケア・糖尿病腎症透析予防)を実施しています。「糖尿病ワーキングチーム」は、毎月第3火曜日に集まって、糖尿病医療チーム内での意見交換や11月14日の「世界糖尿病デー」に際して市民病院のブルーライトアップの実施、また「糖尿病とその予備軍を対象とした行事」の企画等をおこなっています。また、毎年11月に和歌山県立橋本体育館で開催される「すこやか橋本まなびの日」に「糖尿病ワーキングチーム」で出展し、血糖・血圧測定と糖尿病クイズをおこなっていましたが、2022度もコロナ禍で出店を見送りました。その代わりとして、来院された方へ糖尿病の予防の必要性・合併症などについてニュースレターを作成し配布させていただきました。今後も、行政などとも連携して、地域での健康教室などの催しにワーキングチームで参加し、近隣地域の医療を提供できるよう努めて参ります。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 29.5名

入院 1.6名

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名: <small>みやた かおり</small> 宮田 佳穂里 補職名: 医長 専門領域: 糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医、研修指導医
氏名: <small>もり みほ</small> 森 美穂 専門領域: 代謝内科一般 (2022年4月入職)	

業績

講演会

No	年月	会名	演題名	演者	開催都市
1	2022/11/16	循環器代謝疾患セミナー	将来を見据えたこれからの糖尿病治療 ～最新のアルゴリズムを考慮して～	宮田 佳穂里	橋本市

座長・パネリスト等

No	開催年月	学会・研究会名	演題名	氏名	開催都市
1	2022年5月	これからの糖尿病治療を考える会	2型糖尿病を進行させないための治療	宮田 佳穂里 (座長)	橋本市
2	2022年8月	糖尿病患者さんの未来を守る ～ Online Seminar ～	糖尿病患者さんの未来を守る ディスカッション	宮田 佳穂里	岩出市
3	2022年12月	GLP-1 Uptade Seminar	患者さんに適した GLP-1 受容体作動薬の使い方	宮田 佳穂里 (座長)	橋本市

呼吸器内科

【科概要、取り組み、年度総括】

診療スタッフはこれまでの2名から6月より和歌山県立医科大学呼吸器腫瘍内科より1名田中将規医師を迎え3名の常勤体制となり、また外来診療においても近畿大学医学部付属病院からのこれまでの応援に加え、和歌山県立医科大学同医局より外来応援1名が加わりより充実した外来入院検査体制となりました。2023年度は呼吸器外科2名を迎え、特に肺癌診療がさらに充実いたします。肺癌診療に加え、これまでどおり慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎、睡眠時無呼吸症候群、肺炎、肺抗酸菌症などの急性慢性呼吸器感染症、急性慢性呼吸不全など呼吸器疾患全般に対し、エビデンスに基づき患者様のQOLの向上を目指して診療を行っております。

【診療実績等】

年間気管支鏡検査	68件
紹介患者数	268件
新規入院患者数	246人
1日平均外来患者	25.4人
1日平均入院患者	26.4人
初期研修医受入数	2名

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名： ^{するだ ただとし} 駿田 直俊 補職名：病院長 専門領域：呼吸器内科	日本内科学会 / 総合内科専門医、指導医 日本呼吸器学会 / 呼吸器専門医、指導医 日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医、指導医 日本結核病学会 / 結核・抗酸菌症認定医、指導医 和歌山県立医科大学医学部 臨床教授
氏名： ^{ふじた えつお} 藤田 悦生 補職名：副病院長 部長 専門領域：呼吸器内科 アレルギー疾患 (2023年3月退職)	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本呼吸器学会 / 呼吸器専門医、指導医 日本アレルギー学会 / アレルギー専門医、指導医 日本気管食道科学会 / 気管食道科専門医 (内科気道系) 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 日本呼吸器内視鏡学会 / 気管支鏡専門医、指導医 日本心療内科学会 / 登録医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会)
氏名： ^{たなか まさのり} 田中 将規 専門領域：呼吸器内科 (2022年6月入職)	日本内科学会 / 総合内科専門医

業績

発表・講演

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年4月	The 62th Annual Meeting of The Japanese Respiratory Society (第62回日本呼吸器学会学術講演会)	OSAS patients followed by handy PSG and whole PSG, especially in improving cases	Etsuo Fujita	Kazuya Yoshikawa, Akio Tanaka, Satsuki Higashimoto, Hironobu Hoshiya, Tomomi Nakao, Masato Uchida, Yu Miyai, Masaaki Kawahara, Tadatoshi Suruda	Kyoto
2	2022年7月	第90回和歌山医学会総会	Bronchoscopic BAL等で診断したNSE上昇SCLCの1例	藤田 悦生	星屋 博信、堀谷 亮介、横山 陽香、河原 正明、吉川 和也、松本 久子、東田 有智、嶋田 浩介、駿田 直俊	和歌山市
3	2022年7月	第99回日本呼吸器学会近畿地方会	サイクルエルゴメトリーでの exercise tolerance の評価	藤田 悦生	南野 和桂、小川 敦裕、青木 達也、堀谷 亮介、橋本 忠幸、千田 修平、平山 陽士、石亀 慎也、有吉 平、宮井 優、岡部 友香、松山 依子、有吉 彰子、内田 真人、九鬼新太郎、星屋 博信、河原 正明、嶋田 浩介、駿田 直俊	大阪市

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
4	2022年8月	Asian College of Psychosomatic Medicine (ACPM)	The utility of the Self Grow-up Egogram (SGE) for stress management in patients with respiratory diseases	Etsuo Fujita	Shyuhei Senda, Tatsuya Aoki, Ryosuke Horitani, Tadayuki Hashimoto, Yoji Hirayama, Hironobu Hoshiya, Hideko Nishimura, Kazuya Yoshikawa, Hisako Matsumoto, Yuji Tohda, Kousuke Shimada, Tadatashi Suruda	Web/ Irkutsk
5	2022年10月	第59回日本臨床生理学会	Senile pneumonia,dementia で music therapyの施行例	藤田悦生	千田修平、青木達也、堀谷亮介、垣下浩二、大饗義仁、吉村良、田中将規、星屋博信、中村公紀、山崎亮、松本久子、東田有智、駿田直俊	東京
6	2022年12月	第238回日本内科学会近畿地方会	Myeloperoxidase (MPO) 活性から見た Acute lung injury (ALI) の評価	藤田悦生	田中将規、駿田直俊	Web/ 大津市
7	2022年12月	第100回日本呼吸器学会近畿地方会	IIP に pleural callosity を合併した type II respiratory failure 例	藤田悦生	坂口雄太、織田嶋崇嗣、田中将規、木村雅友、千田修平、青木達也、堀谷亮介、有吉平、角野直央、有吉彰子、澤田拓、稲田昭彦、大畑美緒、富岡帆乃佳、天野雄登、中村公紀、星屋博信、河原正明、駿田直俊	和歌山市
8	2023年1月	第66回日本心身医学会近畿地方会	睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の Mandibular advancement splint (MAS) の Polysomnography (PSG) での評価	藤田悦生	吉田崇真、田中将規、堀谷亮介、田中章夫、九鬼新太郎、中村公紀、河原正明、星屋博信、駿田直俊	Web/ 枚方市

講演会

No	年月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2022年8月	第58回 K-net 近畿地区研究会	当院における肺結核治療中の死菌検出についての検討	田中将規	堺市
2	2022年9月	New Generation Web Conference in Wakayama	橋本市民病院での間質性肺炎の取り組み	田中将規	和歌山市
3	2022年12月	和歌山県病院薬剤師会研修会	橋本市民病院での間質性肺炎の取り組み	田中将規	和歌山市

座長・パネリスト等

No	開催年月	学会・研究会名	演題名	氏名	開催都市
1	2022年9月	不眠症診療セミナー in 橋本	出口戦略を見据えた睡眠障害の治療について	駿田直俊 (座長)	橋本市

小児科

【科の概要と取り組み、年度総括】

小児科は、常勤医師が3名で月曜から金曜の午前診、午後診と月、木、土曜の時間外診療をしています。一般的な小児急性疾患から2次救急まで担当するとともに、小児心身症、アレルギー疾患などに漢方薬、小児鍼等も活用し、専門的かつ総合的な治療に力を入れています。小児循環器疾患には和歌山県立医科大学附属病院から派遣の非常勤医師が担当しています（週1回水曜午前診）。

今年度年間入院数は約200人で、その多くは肺炎、気管支炎、胃腸炎などの急性疾患及び気管支喘息、けいれんなどですが、川崎病、ネフローゼ症候群、化膿性髄膜炎も少数みられます。新生児（年間出生約160人）の対応、処置も行っています。

1日外来患者数は約26人で急性疾患のほか、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、てんかんなどの痙攣性疾患にも対応しています。院内出生児の1ヶ月健診、各種予防接種（アレルギーやけいれんのあるこどもにも対応）も行っています。

小児救急医療は近隣の南奈良総合医療センター、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院、公立那賀病院と広域連携し、また地域の開業医院と平日ミニ輪番制で漏れのない対応を目指しています。

橋本市の4ヶ月健診（月1回）、1歳8ヶ月健診（年8回）、3歳6ヶ月健診（年6回）や、あやの台チルドレンセンターとつくしんぼ園の内科健診（年2回）に出務しています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 26.4名

入院 2.5名

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名： <small>おおいし こう</small> 大石 興 補職名：副病院長 副診療部長 部長 専門領域：感染症 免疫アレルギー疾患 心身症 漢方治療 小児鍼	日本小児科学会 / 小児科専門医、指導医
氏名： <small>むかいやま ひろのぶ</small> 向山 弘展 補職名：医長 専門領域：小児科 腎臓病	日本小児科学会 / 小児科専門医 日本小児腎臓病学会 / 代議員 厚生労働省医師臨床研修指導医 小児慢性特定疾病指定医 難病指定医
氏名： <small>たちばな しんや</small> 立花 伸也 補職名：副医長 専門領域：小児科 小児循環器 川崎病 (2023年3月退職)	

業績

講演会

No	年月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2023年1月	第20回小児心身医学会関西西地方会	小児心身医療と漢方治療の融合 ～<心身一如>は心身医学にこそふさわしい～	大石 興 奥見 仁志 吉田 誠次	大阪市

産婦人科

【科概要、取り組み、年度総括】

(1) 婦人科の特徴

子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がんなどの悪性腫瘍は、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的治療を行っています。子宮頸がんは、子宮頸部円錐切除から広汎性子宮全摘術までガイドラインに従って手術を行っています。Ⅲb期以上の子宮頸がんに対しては、化学療法同時併用放射線療法を行っています。

子宮筋腫は、薬物療法にて月経困難症や月経過多症などの症状の軽減を図りますが、このような保存的治療に効果がないときは手術を行います。手術には従来から行われてきた腔式や腹式手術だけでなく、内視鏡手術（腹腔鏡、子宮鏡）も行っています。特に子宮鏡下手術は、1～2日間の入院で、退院翌日より職場復帰が可能であるため適応のある子宮筋腫には積極的に選択しています。

卵巣良性腫瘍は、原則的に腹腔鏡下手術を行っています。

子宮脱や膀胱瘤は、骨盤支持装置が障害され発生する疾患で排尿障害や排便障害、外陰部不快感などQOLが大きく損なわれる疾患です。当科では膀胱瘤、子宮下垂に対しては経膈メッシュ手術、子宮脱に対しては腔式子宮全摘術+膈断端仙骨子宮靱帯固定術、膈閉鎖術と病状に合わせて術式を選択しています。

最近は腹腔鏡下での腔式子宮全摘術や膈断端仙骨子宮靱帯固定術も積極的に行っています。

(2) 産科の特徴

当院では安全で快適な分娩を目指しています。妊娠、分娩、育児に対する不安をできるだけ小さくして安心して出産を迎えられるように助産師が指導させていただきます。どのようなお産をしたいか希望を伺い、母体自身が積極的に出産に臨めるようにと考えています。例えば、仰向けの分娩だけでなく、側臥位や四つん這いなど母体が楽な姿勢での分娩（フリースタイル）も行い、満足度の高い分娩を目指しています。分娩後は、母児の早期接触を行い、その後の母児同室により自宅での哺育が順調に行えるように指導しています。

【診療実績等】

1日平均患者数

外来 32.8名

入院 19.4名

分娩数	160件
主要手術件数	270件
婦人科悪性腫瘍手術	24例
子宮悪性腫瘍手術	10例
卵巣悪性腫瘍手術	5例
子宮頸部円錐切除	9例
婦人科良性腫瘍手術	27例
子宮全摘術	16例
腹式	12例
腔式	4例
子宮筋腫核出術（腹式）	6例
付属器切除術（腹式）	5例
鏡視下手術	108例
腹腔鏡下手術	56例
LM	6例
LAVH TLH	14例
子宮鏡下手術	52例
内 子宮鏡下子宮筋腫摘出術	7例
性器脱手術	30例
TVM	18例
腔式子宮全摘術+膈閉鎖又は膈断端仙骨子宮靱帯固定術（腹腔鏡下含む）	12例
帝王切開	30例
帝王切開率	18.8%

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名： <small>ふるかわ けんいち</small> 古川 健一 補職名：病院事業管理者 専門領域：生殖内分泌 不妊症 婦人科腫瘍学 周産期医学	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医、指導医 和歌山県立医科大学医学部 臨床教授 母体保護法指定医師 医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名： <small>いけしま みわ</small> 池島 美和 補職名：医長 専門領域：産婦人科	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医、指導医 日本専門医機構 / 産婦人科専門医 日本産婦人科遺伝診療学会 / 周産期認定医 厚生労働省医師臨床研修指導医 母体保護法指定医 難病指定医
氏名： <small>ふじの</small> 藤野 めぐみ 専門領域：産婦人科 （2023年3月退職）	

【科概要、取り組み、年度総括】

(1) はじめに

外科スタッフは4名で、全スタッフが和歌山県立医科大学第二外科教室に所属しています。治療には外科専門医・指導医（日本外科学会）、消化器外科専門医・指導医（日本消化器外科学会）、日本内視鏡外科学会技術認定医が中心となり、消化器・一般外科手術、腹部救急手術を担当しています。2022年度は381件の手術を実施しました（内訳は後述）。

手術内容は胃癌・大腸癌をはじめ、食道癌・肝癌・胆道癌・膵臓癌の全領域の消化器癌手術と、胆石・鼠径ヘルニア・痔疾患・皮下腫瘍などの良性疾患、虫垂炎・腸閉塞（イレウス）・消化管穿孔、穿孔性腹膜炎などの緊急手術を行っています。

消化器癌診療については、各々の癌治療ガイドラインに則り標準治療を実施しており、手術は可能な限り低侵襲手術（腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術）を行なっています。胃癌、大腸癌などの消化管癌では全例腹腔鏡下手術を推進し、食道癌では胸腔鏡下食道切除・腹腔鏡下胃管作成を施行しています。これらの手術には、鮮明な4Kモニターの腹腔鏡装置と止血能力の高いベッセルシーリングシステムや超音波凝固切開装置を用いて手術に臨んでいます。これにより、創部の整容性だけでなく、詳細な外科解剖を得ることができ、開腹手術に勝るとも劣らない繊細な手術が可能となっています。また、理学療法士の協力のもと、術前・術後の周術期がんリハビリテーションを積極的に行い、術後の合併症予防、早期の社会復帰に取り組んでいます。週間スケジュールは、火曜日に総回診を行い、水曜日はメディカルスタッフと共に術前患者の治療法を検討するカンファレンスを行い、情報共有を行い、木曜日には消化器内科のスタッフとカンファレンス（カンサーボード）を実施し、院内での消化管疾患の情報共有を行い、消化管疾患グループの活性化に務めています。また、金曜日には病理カンファレンスを実施し、手術を行なった症例の今後の治療法の検証を実施しています。

消化器癌以外の良性疾患：胆石や鼠径ヘルニア・腹壁癭痕ヘルニア、食道裂孔ヘルニアでも腹腔鏡下手術を推進し、早期退院・社会復帰に寄与しています。痔疾患については、内痔核への通常切除術だけでなく、硬化療法や痔瘻・裂孔手術および直腸脱手術（経肛門的、腹腔鏡下）も実施しています。急性虫垂炎や消化管穿孔などの腹部救急疾患でも腹腔鏡下手術を施行しています。

手術以外の治療としては、内視鏡治療やX線透視下の治療も担っています。内視鏡的治療としては、大腸ポリープに対する内視鏡的粘膜切除（EMR）、一部の早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開（EST）による碎石術、食道静脈瘤に対する内視鏡的食道静脈瘤結紮術（EVL）、摂食障害者への内視鏡的胃瘻造設術（PEG）を行っています。X線透視下には、急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）や細菌性胆管炎に対する経皮経肝または内視鏡的胆道ドレナージ術（PTBD、ENBD）、腸閉塞に対するイレウス管留置術も実施しています。

消化器癌の薬物療法やがん終末期患者に対する緩和ケアについては、薬剤師やがん化学療法認定看護師、緩和ケアチーム（緩和ケア認定看護師）や医療ソーシャルワーカー、訪問看護ステーションと連携をとって対応しています。

外科研修医および学生に対する教育は、縫合・結紮研修、腹腔鏡手術トレーニング機器を用いた指導を行い、術前カンファレンス等を通じて解剖・手術内容を理解した上で、実際に手洗いし手術に参加してもらいます。

地域の病院・開業医との連携は、本年度は3月25日に「伊都橋本医療圏消化器疾患カンファレンス」を橋本市市民病院講堂で開催し、山本病院、地域の開業医の先生方と消化器疾患について勉強し、交流を深めました。

(2) 対象疾患

一般外科、消化器外科、腹部救急疾患

対象疾患：消化器癌（胃・大腸、食道、肝・胆・膵）、胆道良性疾患、各種ヘルニア（鼠径、臍、腹壁、食道裂孔）、肛門疾患

(3) 診療内容

＜主な鏡視下手術＞

食道癌：胸腔鏡下食道切除術、縦隔鏡下食道切除術

胃癌・粘膜下腫瘍：腹腔鏡下胃切除術、腹腔鏡下胃全摘術、腹腔鏡・内視鏡合同手術

食道胃接合部癌：胸腔鏡下胸腔内吻合術
 結腸癌・直腸癌：腹腔鏡下結腸切除術、腹腔鏡下直腸切除（切断）術
 胆石：腹腔鏡下胆嚢摘出術
 鼠径ヘルニア・腹壁癒痕ヘルニア、食道裂孔ヘルニア：腹腔鏡下修復術
 虫垂炎：腹腔鏡下虫垂切除術
 胃・十二指腸潰瘍穿孔：腹腔鏡下穿孔部閉鎖術
 腸閉塞：腹腔鏡下腸閉塞解除術
 他、救急疾患の腹腔鏡下手術

<検査>

内視鏡（上部消化管、大腸、胆道）、消化管透視、腹部超音波、CT、MRIなど

<処置>内視鏡的処置（EMR、ESD、消化管出血に対する止血、EVL、ESTほか）

胆道感染に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）、経皮経肝胆管ドレナージ（PTBD）、イレウス管留置術、メタリックステントを用いた胆管・消化管狭窄治療

経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）、ジオンによる痔核の4段階硬化療法（ALTA）

<手術日>

月曜日、水曜日、隔週木曜日、隔週金曜日

(4) 主な医療機器

4K とハイビジョンの腹腔鏡装置、電子内視鏡装置、超音波画像診断装置ほか

【診療実績】

1日平均患者数

外来 25.9名

入院 16.7名

手術件数

全身麻酔 310件

腰椎麻酔 13件

局所麻酔 58件

合計 381件

疾患別

疾患、術式別	件数（うち鏡視下手術）
食道がん	1 (1)
胃がん	24 (24)
結腸がん	27 (24)
直腸がん	19 (19)
肝切除	1
臍頭十二指腸切除	0
イレウス	14 (9)
胆石症	45 (41)
そけい部ヘルニア	83 (69)
痔核・痔瘻	10
食道裂孔ヘルニア	1 (1)
直腸脱	3 (2)
虫垂炎	30 (29)
急性腹膜炎手術	1 (0)
その他	122
合計	381

【取り組みや今後の展望】

- ① 患者主体の身体に優しい医療を提供する（低侵襲手術の推進）
- ② 医療過誤・事故を生じないように努め、安全な医療を提供する
- ③ がん診療連携拠点病院として、標準がん治療を地域住民に提供する
- ④ 救急医療、災害医療の地域拠点病院としての役割を果たす
- ⑤ 地域の医療施設と密に連携をとる
- ⑥ 主要学会の指導医・専門医を取得、維持する
- ⑦ 学会・論文活動を継続する

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名： ^{まえだ つねひろ} 前田 恒宏 補職名：筆頭部長（～2022年6月） 救急科部長（～2022年6月） 専門領域：消化器外科 栄養療法 （2022年6月退職）	日本外科学会 / 専門医 日本消化器外科学会 / 認定医 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本臨床栄養代謝学会 / 認定医 PEG・在宅医療学会 / 専門胃瘻造設者 （同上） / 専門胃瘻管理者 （同上） / 認定胃瘻教育者 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 厚生労働省医師臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名： ^{なかむら まさき} 中村 公紀 補職名：筆頭部長（2022年7月～） 部長（～2022年6月） 救急科部長（2022年7月～） 卒後臨床研修センター長 専門領域：消化器がん治療 特に上部消化管（食道・胃）外科 内視鏡外科	日本外科学会 / 認定医、専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 専門医、指導医、評議員 （同上） / 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 日本食道学会 / 食道科認定医、食道外科専門医、評議員 日本内視鏡外科学会 / 日本内視鏡外科学会技術認定（胃） 日本胃癌学会 / 代議員 近畿外科学会 / 評議員 Certificate of da Vinci console surgeon（手術支援ロボット） 厚生労働省医師臨床研修指導医 和歌山県立医科大学非常勤講師
氏名： ^{なかい ひろあき} 中井 博章 補職名：部長 専門領域：消化器外科	日本外科学会 / 外科専門医 医学博士
氏名： ^{ふじた よういち} 藤田 洋一 補職名：医長 専門領域：消化器外科 （2022年4月入職）	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 医学博士 臨床研修指導医
氏名： ^{かとう ともや} 加藤 智也 補職名：医長 専門領域：消化器外科	日本外科学会 / 外科専門医 日本消化器外科学会 / 専門医 （同上） / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 近畿外科学会 / 評議員
氏名： ^{あおき ようぞう} 青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：消化器外科 外科栄養学 胆膵生理機能 健康管理学	日本外科学会 / 専門医、指導医、評議員 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、特別会員 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医、評議員 （同上） / インфекションコントロールドクター（ICD制度協議会） 和歌山医学会 / 功労会員 日本人間ドック学会 / 人間ドック認定医 （同上） / 人間ドック健診専門医・指導医 （同上） / 人間ドック健診情報管理指導士 検診マンモグラフィ読影認定医（日本乳がん検診精度管理中央機構） 日本医師会認定産業医 地域包括医療・ケア認定医（全国国民健康保険診療施設協議会） 日本臨床外科学会 / 特別会員 日本外科代謝栄養学会 / 評議員 日本肝胆膵外科学会 / 評議員

氏名：嶋田 浩介 <small>しまだ こうすけ</small> 専門領域：消化器外科 栄養療法 排便機能 災害医療	日本外科学会 / 専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 専門医、指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本臨床栄養代謝学会 / TNT 修了 日本医師会認定産業医 厚生労働省医師臨床研修指導医 緩和ケア指導医 BLS、ACLS 修了 JPTEC 修了 JATEC 修了 DMAT
---	---

業績

講演会

No	年月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2022年11月	第84回日本臨床外科学会総会 第32回外科漢方フォーラム学術集会	食道癌術後栄養と六君子湯 ー臨床試験から見えた漢方薬の可能性ー	中村 公紀	福岡市
2	2023年3月	伊都橋本医療圏 消化器疾患カンファレンス	食道がんに対する低侵襲治療と漢方	中村 公紀	橋本市

論文・雑誌掲載

No	年月	誌名等及び巻・頁	題名	筆頭著者	共著者
1	2023年3月	Updates Surg. 2023 Mar 30. Online ahead of print.	Elective colorectal cancer surgery in nonagenarians and postoperative outcomes	Koichi Tamura	Mikihito Nakamori · Kenji Matsuda · Tsukasa Hotta · Masaki Nakamura · Shozo Yokoyama · Makoto Iwahashi · Naohisa Yamade · Hiroki Yamaue

座長・パネリスト等

No	年月	会名	演題名	氏名	開催都市
1	2022年4月	第122回日本外科学会定期学術集会	(座長) Digital Poster Session (19) 胃・集学的治療	中村 公紀	Web/ 熊本市
2	2022年6月	第70回和歌山消化器外科談話会	(座長) 演題II セッション	中村 公紀	和歌山市
3	2022年7月	上部消化管癌免疫療法セミナー	(座長) 当院における切除不能・再発胃癌に対する治療戦略	中村 公紀	和歌山市
4	2022年7月	第77回日本消化器外科学会総会	(座長) 一般演題 245 胃・十二指腸: 臨床基礎2	中村 公紀	Web/ 横浜市
5	2022年9月	食道癌治療フォーラム in 和歌山	(座長) 食道癌治療に関わる最前線	中村 公紀	和歌山市
6	2022年9月	不眠症診療セミナー in 橋本	(座長) 当院におけるアスピゴの使用経験	中村 公紀	橋本市
7	2023年3月	第3回南河内がんゲノム医療連携の会	(ディスカッサント) 南河内医療圏におけるがんゲノム連携の今後について ～見えてきた課題を共有する～	中村 公紀	河内長野市

整形外科

【科概要、取り組み、年度総括】

2022 年度より当院では大腿骨近位部骨折に対し、48 時間以内の手術を行う体制をとるよう致しました。高齢者の ADL を低下させる本骨折を準救急で手術する事で、術後合併症の低減、入院期間の短縮に繋がります。

また緊急性の高い四肢外傷（切断肢指、開放性骨折、広範皮膚欠損創など）に対しても、整形外科医師がオンコールで待機し、診療治療にあたります。

橋本近隣医療圏で発生した四肢外傷に対して、地域の中核病院として当院で治療を完結できるように尽力致しております。

【診療実績】

1 日平均患者数

外来 61.0 名

入院 42.9 名

2022 年度全手術件数（2022. 4. 1 ~ 2023. 3. 31） 総症例 671

骨折	346 件
大腿骨近位部	130 件
人工骨頭	56 件
観血的整復固定術	74 件
大腿転子下から遠位	10 件
膝蓋骨	6 件
下腿	52 件
下腿近位から骨幹部	14 件
遠位	38 件
足部足趾	14 件
骨盤	4 件
鎖骨	7 件
上腕	16 件
前腕	72 件
近位から骨幹部	13 件
遠位	59 件
手部手指	35 件
関節外科	56 件
人工関節置換術	51 件
股関節	19 件
膝関節	31 件
肩関節	1 件
半月板手術	3 件
前十字靭帯再建	2 件
手外科・足外科	130 件
手根管症候群	29 件
肘部管症候群	5 件
Guyon 管	1 件
腱鞘切開（ばね指）	68 件
有茎皮弁	6 件
植皮	2 件
再接着、腱損傷、神経損傷、血管損傷、靭帯断裂など	6 件
手関節形成術	5 件
関節固定術	4 件
アキレス腱断裂	4 件
脊椎	1 件
腰椎破裂骨折	1 件
骨軟部腫瘍	10 件
軟部腫瘍	9 件
骨腫瘍	1 件

その他	128 件
骨内異物除去術	95 件
感染処置および創傷処理	28 件
四肢、指切断	5 件

複数箇所手術はそれぞれ別個にカウント。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：林 未統 補職名：筆頭部長 専門領域：手外科 四肢外傷 マイクロサージャリー	日本整形外科学会 / 整形外科専門医 日本手外科学会 / 手外科専門医・指導医 中部日本整形外科災害外科学会 / 評議員 身体障害者福祉法第 15 条指定医師（肢体） 医学博士 小児運動器疾患管理医師
氏名：木岡 雅彦 補職名：部長 専門領域：整形外科一般 脊椎外科 (2022 年 6 月退職)	日本整形外科学会 / 整形外科専門医 (同上) / 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 (同上) / 日本整形外科学会認定スポーツ医 身体障害者福祉法第 15 条指定医師（肢体）
氏名：峰 巨 補職名：部長 専門領域：整形外科一般 関節外科	日本整形外科学会 / 日本整形外科学会認定リウマチ医 (同上) / 日本整形外科学会認定リハビリテーション医 (同上) / 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本専門医機構 / 整形外科専門医 日本人工関節学会 / 認定医 身体障害者福祉法第 15 条指定医師（肢体） AOTrauma Member, AOTrauma Japan 上級会員 医学博士
氏名：藤木 貴顕 補職名：副医長 専門領域：整形外科一般 関節外科（肩）	日本整形外科学会 / 整形外科専門医
氏名：坂井 智 (2022 年 4 月入職) (2022 年 6 月退職)	
氏名：北浦 卓也 専門領域：整形外科一般 (2022 年 7 月入職)	日本整形外科学会 / 整形外科専門医
氏名：石本 悠介 専門領域：整形外科一般 (2022 年 7 月入職)	

業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年10月	第 49 回肩関節学会	Arthroscopic assisted Brodsky approach for the glenoid fracture	T.FUJIKI	Y NAKANE, T.IGUCHI, R.MIYAKE	横浜市
2	2023年 1 月	和歌山 MIOS フォーラム	関節リウマチに合併した中指屈指腱皮下断裂の一例	石本 悠介	林 未統、北裏 卓也、峰 巨、藤木 貴顕	和歌山市
3	2023年 2 月	第 33 回和歌山県整形外科医会	シニア卓球愛好者に発生した大腿骨頸部疲労骨折の 1 例	藤木 貴顕	林 未統、峰 巨、北裏 卓也、石本 悠介	和歌山市

脳神経外科

【科概要、取り組み、年度総括】

当科は一般外来および入院患者さんの診療に加え、伊都、橋本地域の頭部外傷、脳卒中に対応しております。入院患者内脳卒中患者は7割近くに及び、年々増加しています。

2022年4月脳血管内治療科をオープンし、tPA、急性期血行再開術の恩恵をより多くの患者様にうけていただくよう、Code Stroke systemを整備し、救急隊からの連絡を直接聞き、早期に対応準備し、治療までのtimeを短縮し、超急性脳梗塞には経静脈的血栓溶解療法に加え、急性期血栓機械的血栓捕捉術をシームレスに行えるよう努めています。

またLEICA社の顕微鏡システムを導入し、術中蛍光色素による脳血管撮影が可能となり、脳腫瘍手術では、腫瘍と正常脳との境界を明らかにする、蛍光色素をもちいた、臨床研究も行っています。

当科では「画像支援ナビゲーション手術」を行っています。この手術で使用されるMedtronic社製のニューロナビゲーターStealth Stationは、自動車の道案内に用いられる‘カーナビ’のようなものです。病変部と周辺組織の立体的位置を正確に表示してくれるため、手術の際にどこを切開しどのように進めば安全に病変部まで到達できるのか、といったことが一目瞭然です。その結果、神経や血管を傷つけることなく安全に病変部を取り除くことができるようになり脳腫瘍の治療で成果をあげています。さらに、重要脳神経や重要機能を司る脳（手足の動き、言語）近傍脳腫瘍摘出時には神経モニタリングを併用し画像支援ナビゲーションと共に病変部を切除する精度を高めるだけでなく安全性の向上に努めています

また和歌山県下では数少ない専門外来 平成25年9月からは、「物忘れ外来」（担当：大饗医師）を開設しております。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 34.2人

入院 10.8人

【診療実績】

手術実績 73例

脳血管障害	
開頭ネッククリッピング術	2例
開頭血腫除去術	6例
定位的血腫吸引除去術	1例
脳動静脈奇形摘出術	0例
バイパス術	0例
脳室ドレナージ術	3例
外減圧術	1例
脳腫瘍	
開頭脳腫瘍摘出術	5例
経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出術	1例
生検術	0例
神経血管減圧術	0例
外傷	
開頭血腫除去術	3例
頭蓋形成術	3例
慢性硬膜下血腫穿頭洗浄術	37例
水頭症	
脳室腹腔シャント術	7例
腰椎くも膜下腔腹腔シャント術	0例
感染	
脳膿瘍排膿術	0例
その他	5例

【今後の課題】

新しい手術技術の導入を行い、新規患者の獲得
地域社会への啓蒙活動の強化

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：垣下 浩二 補職名：筆頭部長 専門領域：脳腫瘍 脳卒中の外科治療 神経機能の外科治療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医、指導医 日本脳卒中学会 / 脳卒中専門医、指導医 日本定位・機能神経外科学会 / 機能的定位脳手術技術認定医 日本頭痛学会 / 認定頭痛専門医 医学博士
氏名：大饗 義仁 補職名：部長 専門領域：脳腫瘍の外科治療 認知症治療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年9月	第80回 日本脳神経外科学会総会	脳静脈洞血栓症の側副血行と臨床症状について	垣下 浩二	大饗 義仁, 吉村 良	横浜市
2	2022年9月	日本脳神経外科学会 第81回学術総会	再発にて摘出術をおこなった第4脳室 epidermoid cyst の症例	大饗 義仁	吉村 良, 垣下 浩二	横浜市
3	2022年11月	第50回日本頭痛学会総会	脳静脈洞血栓症の側副血行と頭痛の関係について	垣下 浩二	大饗 義仁	東京
4	2022年12月	第148回和歌山脳神経外科集談会	頭蓋骨腫瘍に対して摘出術を施行した1例	大饗 義仁	吉村 良, 垣下 浩二	和歌山市
5	2023年3月	第48回 日本脳卒中学会学術集会	当院におけるICM1閉塞を伴う軽症急性期脳梗塞患者の予後因子	垣下 浩二	大饗 義仁, 吉村 良	横浜市

講演会

No	年月	会名	演題名	演者	開催都市
1	2022年11月	令和4年度いきいきシニアリーダーカレッジ和歌山校	認知症を正しく知って楽しく予防	大饗 義仁	和歌山市
2	2023年2月	アムジェン社内勉強会	片頭痛 四方山話 片頭痛治療の変遷と展望	垣下 浩二	橋本市 / Web

座長・パネリスト等

No	年月	会名	演題名		開催都市
1	2022年4月	片頭痛診療 UPDATE WEB セミナー In Wakayama	(座長) ライフスタイルを重視したアジョビによる新たな治療戦略!	垣下 浩二	橋本市 / Web
2	2022年7月	脳卒中治療フォーラム	(座長) 地域で脳卒中を防ぐために ~脳梗塞再発予防の抗血栓療法: プラスグレルへの期待~	垣下 浩二	橋本市 / Web
3	2022年7月	Migraine Expert Web	(座長) 片頭痛治療の更なる進化を目指して ~エムガルティとレイボール登場による片頭痛診療のパラダイムシフト~	垣下 浩二	橋本市 / Web
4	2023年3月	Epilepsy Education Seminar in Wakayama	(座長) てんかん診療に於ける医学知識の向上	垣下 浩二	橋本市 / Web

脳血管内治療科、脳血管内治療センター

【概要】

脳血管障害に対し急速に発達している脳血管内治療を積極的に導入、展開する目的に2022年度から脳血管内治療科が新設されました。

原則24時間脳神経救急に対応できる体制を整備できただけでなく、先進的な脳血管内治療も施行することができるようになりました。

【2022年度の取り組み】

・院内多職種連携

脳血管内治療センターは脳血管内治療科を中心に院内の多職種連携により迅速に対応できるよう月1回定期的にミーティングや勉強会を行っています。

・地域医療機関との連携

さらに地域での連携も重要と考え、週1回御開業されている先生方や連携病院、消防を訪問させていただき御要望や今後の取り組みなど意見交換を行いました。リモートではありますがBrain Attack Seminarと銘打って地域の多職種が参加できる脳卒中の研究会も開催することができ、多職種間、多施設での連携を強めることができたと思っております。

・DX（デジタルトランスフォーメーション）による迅速な情報共有

ICTを有意義に活用し、JOINやJOIN Triageというアプリを用いて病院到着前から患者情報を共有できる体制を構築し、院内も看護師や放射線技師も即時に共有できる体制を構築し迅速性が求められる脳卒中救急に対し少人数でも即応できるようにしました。現在院外のお他職種については橋本市消防本部のみ連携しておりますが、伊都消防や高野消防にも拡大して連携を強める予定です。

・近隣急性期病院との連携

脳神経外科/脳血管内治療科合わせて3人体制であるため、近隣の施設関連系も重要と考え那賀病院脳神経外科、南奈良総合医療センター脳神経外科/脳神経内科の医師と合同で勉強会も立ち上げ、近隣急性期病院間の連携構築も行っております。

・発展途上国への技術支援

Educational Committee of ACNSと連携しバングラデシュにて講演、ハンズオンセミナー、ライブ血管内手術を行い技術を高めあうことができました。

【今後の取り組み】

2023年4月より血管撮影装置が最新型にバージョンアップし2機稼働状態になりさらに治療の幅が広がりました。今後もさらに連携を強め、広めながら低侵襲かつ迅速に治療を行い地域医療に貢献できるように努めてまいります。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 2.5人

入院 6.8人

【診療実績】

診断	計121件
診断アンギオ	119件
閉塞試験 (Balloon Test Occlusion)	2件
血管内治療	計75件
未破裂脳動脈瘤	10件
うちステント併用	5件
フローダイバーター	3件
破裂脳動脈瘤	5件
頸動脈ステント術	14件

血栓回収術	18件
頭蓋内動脈経皮の血管形成術 / ステント留置術	5件
硬膜動静脈瘻塞栓術	3件
慢性硬膜下血腫経動脈の塞栓術	5件
局所動注療法	6件
脳腫瘍栄養血管塞栓術	3件
難治性鼻出血動脈塞栓術	1件
直達手術	計 16件
慢性硬膜下血腫穿頭術	6件
開頭血腫除去術	3件
脳室ドレナージ術	3件
脳室一腹腔短絡術	1件
頭蓋形成術	1件
気管切開術	1件
植込型心電図記録計移植術	1件

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：吉村 良 補職名：部長 専門領域：脳卒中 脳血管内治療 災害医療 (2022年4月入職)	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医、指導医 日本脳神経血管内治療学会 / 日本脳神経血管内治療学会認定専門医 日本脳卒中学会 / 日本脳卒中学会認定専門医、指導医 社会医学系指導医 (社会医学系専門医協会) 日本DMAT隊員 (総括DMAT) ISLS (脳卒中初期診療コース) コーディネーター JATEC (外傷初期診療コース) インストラクター 日本DMATインストラクター MCLS (多数傷病者初期診療コース) 世話人 ADLS/BDLS (アメリカ災害医学コース) インストラクター

業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年5月	1st World Young Neurosurgeon Congress 2022	Carotid Artery Stenting; indication and technique	Ryo Yoshimura		Web
2	2022年7月	第62回近畿血管内手術法ワークショップ	コイル塞栓術中に early detach をきたした一例	吉村 良		田辺市
3	2022年8月	16th Congress of World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology	Usefulness of Arterial Spin Labelling on MRI during Carotid Artery Stenting	Ryo Yoshimura	Yoshihiro Owai, Koji Kakishita	Kyoto, Japan
4	2023年1月	第31回全国救急隊員シンポジウム	医療関係者間伝送アプリを用いた救急活動により早期治療が行われ奏功した脳卒中症例	堂浦 泰樹	吉村 良	広島市
5	2023年2月	第28回日本脳神経外科救急学会	ICTを活用した病院前救急からの脳卒中治療	吉村 良		和歌山市
6	2023年3月	Stroke 2023	ICTを用いた脳卒中急性期診療の働き方改革	吉村 良	垣下 浩二、大饗 義仁、池田 景子、山本 奈保美、瀧本 桃子、森本 勝士、宮田 政明、小坂 将弘、藤本 佳文	横浜市
7	2023年3月	1st ACNS-BSNS hybrid conference and workshop	Carotid Artery Stenting	Ryo Yoshimura		Dhaka, Bangladesh

講演会

No	年月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2022年6月	大塚製薬社内勉強会	脳卒中急性期における血圧管理	吉村 良	和歌山市
2	2022年7月	脳卒中治療フォーラム	地域に根ざした脳血管内治療	吉村 良	橋本市
3	2022年9月	南奈良紀北 Network Conference	脳卒中後てんかんの治療戦略	吉村 良	橋本市
4	2022年10月	ハートライフ病院講演会	脳卒中診療のDX	吉村 良	那覇市
5	2022年11月	脳血管内治療 mini conference	Dome 起始 Pcom の ICPC 動脈瘤に対するコイル塞栓術	吉村 良	大阪市
6	2022年11月	ネスレ社内勉強会	脳卒中の栄養を考える	吉村 良	大阪市
7	2022年12月	和歌山 SAH network conference	脳血管攣縮予防と最新治療	吉村 良	和歌山市
8	2022年12月	第一三共社内勉強会	脳卒中の診断と治療の流れ	吉村 良	橋本市
9	2022年12月	伊都医師会診療懇話会	脳血管内治療と血圧	吉村 良	橋本市
10	2023年1月	テルモ社内勉強会	血栓回収術についての考察	吉村 良	大阪市
11	2023年2月	藤田医科大学学内講演	ICTを活用した病院前救急からの脳卒中診療	吉村 良	名古屋
12	2023年3月	脳卒中 web セミナー	脳卒中のトータルケア	吉村 良	和歌山市

眼科

【科概要、取り組み、年度総括】

2020年7月以降、常勤医1名体制となりましたが、2021年7月にくろしお寄付講座の白井久美教授をお迎えし、2名体制で診療にあたっています。

眼科手術は主に白内障手術を行っております。近隣で手術を取り扱っている施設が少ないため、近隣の先生方にご協力いただき、術後は当院で、術後の経過観察については診療所等という連携を推進し、手術件数を維持して待ち期間が長くならないように取り組んでいます。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 37.8名

入院 2.7名

手術件数（2022年度） 計 565件

(内訳)

白内障手術	556件
その他の手術	9件

COVID-19感染症拡大の影響で一時的に入院受け入れを停止した他、手術予定の方が感染したり濃厚接触者となったりしたため手術が延期になる等の影響がありましたが、前年度より手術件数は増加しました。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：金 桂洙 補職名：部長 診療情報部長 医療安全管理部長 専門領域：眼科一般 白内障	医療安全管理者
氏名：白井 久美 補職名：部長 専門領域：眼科	日本眼科学会 / 日本眼科学会専門医 医学博士（和歌山県立医科大学）

業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年9月	和歌山眼科集談会	広角IA眼底撮影でホリープ状病巣を確認できたPeripheral exudative hemorrhagic chorioretinopathy (PEHCR) の1例	白井 久美	岩西 宏樹、雑賀司珠也	和歌山市
2	2022年11月	紀の川眼科研究会	加齢による角膜実質混濁	白井 久美	金 桂洙	和歌山市
3	2023年2月	和歌山眼科集談会	加齢による角膜実質混濁について	白井 久美	金 桂洙	和歌山市

講演会

No	年月	会名	演題名	演者	開催都市
1	2022年10月	NEC 医療オンラインセミナー	「働き方改革」時代の病院情報システム	金 桂洙	Web
2	2022年11月	第60回全国自治体病院学会 ランチョンセミナー 14	そのレポート、「未読・既読」を管理するだけで大丈夫ですか？～「既読スルー」をさせないために～	金 桂洙	沖縄市

雑誌掲載

No	年月	誌名等及び巻・頁	題名	インタヴュー
1	2022年10月	月刊新医療 2022年11月号 8-13頁	COVER STORY 人口減少社会を見据える地域の中核病院が次世代型の最新電子カルテシステムに更新。多彩な機能や新技術で真の「医療DX」を目指す	金 桂洙

泌尿器科

【科概要、取り組み、年度総括】

これまで行ってきた上部尿路結石に対する細径尿管鏡を用いた経尿道的手術（TUL）、前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺レーザー核出術（HoLEP）や膀胱がんに対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt）、女性泌尿器科疾患に対する手術も安定して行っています。加えて、上部尿路がん（腎盂がんや尿管がん）や腎がんなどの泌尿器科悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術も積極的に実施するようになり、別記の通り一定の症例数を重ね、安定した手術成績を示しております。2017年1月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定を獲得し、限局性前立腺がんに対する腹腔鏡下手術も継続実施しております。2018年1月からは難治性の過活動膀胱に対する仙骨神経刺激療法（SNM）についても施設認定を受けました。2020年度からは、難治性過活動膀胱に対するボツリヌストキシン膀胱壁注入療法も取り入れ症例を重ねつつあります。

これまでどおり、患者さんの生活の質（QOL）を重視しつつ診療に取り組みたいと考えております。地域医療に少しでも貢献できるよう努力いたします。

●診療内容

次のような泌尿器科疾患を対象としています。

- ① 泌尿器科悪性腫瘍（腎がん、腎盂がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣腫瘍など）
- ② 排尿障害（前立腺肥大症、神経因性膀胱など）
- ③ 尿路結石（膀胱結石、腎結石、尿管結石など）
- ④ 尿路性器感染症（膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、性感染症など）
- ⑤ 小児泌尿器科（停留精巣、包茎など）
- ⑥ 性機能障害（ED、男性更年期など）
- ⑦ 女性泌尿器科（尿失禁、性器脱など）

【診療実績】

1日平均患者数

外来 54.8名

入院 7.6名

手術日は火曜日、木曜日、金曜日の午後です。主に火曜日に全身麻酔手術を予定しております。手術実績に関しては1月から12月のものを掲載いたします。

（ ）内は腹腔鏡下手術件数

手術名	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
副腎摘除術（鏡視下）	3 (3)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	1 (1)
根治的腎摘除術（鏡視下）	1 (1)	9 (9)	3 (3)	3 (3)	5 (5)
単純腎摘除術	1	0	0	1 (1)	0
腎部分切除術	1 (1)	1 (1)	4 (4)	6 (5)	1 (1)
腎尿管全摘膀胱部分切除術（鏡視下）	5 (5)	11 (11)	4 (4)	4 (4)	2 (1)
経尿道的尿管碎石術（TUL）	72	69	84	86	81
腹腔鏡下腎盂形成術	3 (2)	1 (1)	0	0	0
膀胱全摘除術（開腹）	2	1	1	1	1
回腸（結腸）導管造設術	1	0	1	1	1
経尿道的膀胱腫瘍切除術	49	59	42	65	72
尿失禁手術（TVT、TOT）	9	11	3	6	3
高位精巣摘出術	3	2	1	3	1
経尿道的前立腺レーザー核出術	83	73	54	74	71
経尿道的水蒸気治療	-	-	-	-	5
前立腺全摘除術（鏡視下）	6 (6)	13 (12)	15 (14)	23 (22)	20 (20)
膀胱碎石術	12	3	7	5	5
陰嚢内小手術	7	10	8	7	2
ボツリヌストキシン膀胱壁注入療法	0	0	14	26	8
その他手術	6	22	34	30	14
合計	264	286	279	342	293

【取り組みや今後の展望、その他一言】

常に患者さんに寄り添い、生活の質をできる限り損なわないできるだけ低侵襲な治療を考えながら診療を進めていきたいと考えております。地域医療に少しでも貢献できるよう努力いたします。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名： <small>ひらばし やすを</small> 平林 康男 補職名：部長 専門領域：泌尿器一般 尿路結石 尿失禁 前立腺肥大症 下部尿路機能	日本泌尿器科学会 / 泌尿器科専門医、指導医 日本性感染症学会 / 日本性感染症学会認定医 医学博士
氏名： <small>ふじい れおな</small> 藤井 令央奈 補職名：部長 専門領域：泌尿器一般 (2022年4月入職)	日本泌尿器科学会 / 泌尿器科専門医、指導医 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 / ロボット支援手術プロクター (手術指導医、前立腺) 医学博士 (和歌山県立医科大学)
氏名： <small>ぼく そんいる</small> 朴 聖一 専門領域：泌尿器一般 (2023年3月退職)	

麻酔科

【科概要、取り組み、年度総括】

スタッフは常勤2名と非常勤が週3日各1名です。

麻酔科が担当する麻酔症例は全身麻酔が中心で、硬膜外麻酔、脊椎麻酔も行っています。当院は外科系診療科が多く、症例も一般的な手術は殆ど行っているため、麻酔症例の偏りはありません。全身麻酔は、レミフェンタニルを併用した吸入麻酔、静脈麻酔で行っており、症例によっては術後鎮痛のため硬膜外麻酔を併用しています。

患者の高齢化、ハイリスク患者の増加、手術の複雑化に伴い、麻酔科の必要性はますます増加しています。また、日本医療機能評価認定や施設認定規準等にも麻酔科は必須項目になってきています。

今後とも、麻酔科の必要性が増し、その地位、待遇の改善が進むと見込まれます。

麻酔科関係の新しい薬剤や機器が日々開発され、麻酔の安全性は飛躍的に向上しています。麻酔の進歩に遅れることなく、それらの新しい薬剤、機器、知識を速やかに取り入れ麻酔の安全性の向上に努めていきます。

【診療実績】

2022年度の総手術件数は2433症例、そのうち麻酔科が管理した症例は996症例、全身麻酔症例は848症例です。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名： <small>にしうら のりひろ</small> 西浦 徳裕 補職名：部長 専門領域：麻酔科領域全般	日本麻酔科学会 / 麻酔科専門医 厚生労働省 / 麻酔科標榜医
氏名： <small>よしだ はるか</small> 吉田 悠 専門領域：麻酔科一般 (2022年4月入職) (2023年3月退職)	厚生労働省 / 麻酔科標榜医

放射線科

【科概要、取り組み、年度総括】

スタッフは、2004年10月に当院で放射線科開設以来、一人体制(放射線科専門医)で画像診断、アンギオ撮影、TAE、動注などのIVR、放射線治療などを行っていましたが、2020年4月より大西先生を迎え、2人体制となりました。

画像診断は、X線、CT、MRI、RI、血管造影検査などによって、得られた画像を読影して、病気の診断をします。2人体制になったため、読影量は増加し、CT、MRIの約8割強を読影しています。

血管造影では、診断だけでなく、肺、肝、腎、膀胱、子宮などの臓器に対して、塞栓術(ジェルパート、コイルなど)、抗がん剤の動注なども行っています。

放射線治療は、新病院移転に伴い、2005年1月より稼動し、2006年は70名、その後徐々に治療患者数が増加し、2009年に当院では初めて100件を超え、8年連続で100件を越えていましたが、今年(2022.8.)より放射線治療装置新規更新のため、2023.2.20.まで停止。2023.2.21より治療再開しています。以前の機種より性能向上し、より照射野を絞れるようになっています。

部位は、頭部、肺、肝、子宮、前立腺など多岐にわたっています。CTシミュレーターのため、照射部位がしぼれ、周囲の照射による副作用を軽減でき、しいては、照射線量を増加させることができます。

放射線治療、アンギオ治療はがん診療連携拠点病院には欠かせない治療です。末期治療、疼痛緩和治療としても放射線治療は必要です。

6年前より前立腺がんの治療薬であるゾーフィゴが当院でも使用可能になりました。これは、核医学製剤としては2番目の治療薬であり、骨転移のある患者さんに対して効果が期待出来ます。一ヶ月に一回を6度、6ヶ月かかります。患者さんの疼痛緩和、QOLの意味からも有用な薬剤となることが期待されています。

【診療実績】

画像診断 (CT、MRI、RI等)	約 15,000 件
検診の画像診断 (胸部単純、胃透視)	約 2,900 件
アンギオ	10 件
放射線治療	47 件

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名： <small>つのい かずゆき</small> 角井 一之 補職名：部長 専門領域：放射線科	日本医学放射線学会 / 放射線科専門医 (同上) / 放射線科研修指導者
氏名： <small>おおにし さえこ</small> 大西 佐江子 専門領域：放射線科	日本医学放射線学会 / 放射線科専門医

歯科口腔外科

【概要】

科の紹介（特徴）・取り組み等

2019年4月から、常勤医2名（和歌山医科大学・口腔外科学教室）、歯科衛生士3名、歯科技工士1名、火曜日のみ非常勤医+1名（隔週）で診療を行っています。

地域の歯科医師会ならびに医師会と病診連携をとりながら、病院歯科口腔外科としての特徴を最大限に活かして外来診療・入院治療を行えるように取り組んでおります。

なお2021年10月より日本口腔外科学会の「研修施設」の認定を受けています。

診察内容

口腔外科として診療対象は一般の歯科医院では対応困難な埋伏歯や顎口腔領域の炎症、顎骨の骨折や歯の脱臼などの外傷、嚢胞、腫瘍、顎変形症、先天異常、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患と多岐にわたります。また、ウイルス感染症による口内炎や神経性疾患などの口腔内科的な診断・診療も範疇となります。多様な基礎疾患をもつ患者様に対しても、各科と協力しながら身体機能の早期回復を目指して治療に取り組んでおり、睡眠時無呼吸症候群の治療の一環として口腔内装具の作成なども行っています。

また病院歯科として口腔機能の維持・改善を行うことにより早期の経口摂取の開始、誤嚥性肺炎の防止などにつとめ、1日も早い回復を目指した口腔ケアにも積極的に取り組んでいます。近年、オーラルマネージメントの重要性が取り上げられており、当院でも栄養サポートチーム（NST）、呼吸サポートチーム（RST）、摂食嚥下リハビリチーム、緩和ケアサポートチームに参加しております。また糖尿病の教育入院の一環として口腔衛生指導にも取り組んでいます。

なお、地域の歯科医師会との病診連携を明確にしているため、循環器疾患や脳血管障害、糖尿病などの有病者の方の抜歯などは当科で担当し、その後の一般歯科治療は紹介元の歯科医院に逆紹介させていただいています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来	19.1名
入院	3.3名

外来初診件数 1,005件

- 外傷（骨折：12件、歯の外傷9件、軟組織創傷23件）
- 炎症（膿瘍14件、顎骨炎12件、上顎洞炎6件）
- 睡眠時無呼吸症候群3件
- 口腔粘膜疾患（口腔乾燥症15件、白板症5件、扁平苔癬9件、その他の口腔粘膜疾患51件）
- 嚢胞（歯源性嚢胞33件、非歯源性嚢胞2件、軟組織嚢胞15件）
- 良性腫瘍および腫瘍類似疾患（歯源性腫瘍1件、非歯源性腫瘍3件、腫瘍類似疾患25件）
- 歯科心身症29件
- 顎関節疾患（顎関節症44件、顎関節脱臼2件）
- 神経性疾患（神経痛2件、非定型的顔面痛1件）
- 唾液腺疾患（唾液腺炎6件、唾石症4件、唾液腺腫瘍2件）
- 悪性腫瘍（癌腫7件、悪性リンパ腫1件）
- 歯（P/Perなど403件、Perico/埋伏歯/位置異常261件）
- 先天異常・発育異常5件

入院手術件数 179件

- 歯・歯槽外科手術（智歯抜歯術41件、智歯以外の抜歯術45件、歯根端切除術9件、その他の手術3件）
- 補綴前外科手術・顎堤形成手術（骨隆起形成術1件）

消炎手術（膿瘍切開術 6 件、顎骨骨髓炎消炎手術 1 件、腐骨除去術 2 件）
 良性腫瘍・嚢胞・腫瘤形成性疾患等の手術（軟組織腫瘍切除術 4 件、顎骨腫瘍切除術 1 件、
 顎骨嚢胞摘出・開窓術 29 件）
 唾液腺関連手術（唾石摘出術 2 件、唾液腺良性腫瘍手術 1 件、その他の手術 1 件）
 上顎洞関連手術 1 件
 顎顔面外傷手術 / 異物除去手術（下顎骨骨折手術 3 件、関節突起骨折手術 4 件、頬骨・頬骨弓骨折手術 2 件、
 異物除去術 6 件、その他の手術 1 件）
 癌 / 前癌病変関連手術（舌部分切除術 1 件、頬粘膜・口底切除術 4 件、上顎部分切除術 1 件、
 下顎区域切除術 2 件、選択的頸部郭清術 2 件）
 再建外科手術（局所皮弁移植術 2 件、人工材料を用いた顎骨再建術 3 件）

【今後の課題】

高齢化社会による疾病構造の変化とともに有病者率は年々増加傾向にあります。それにあわせ抗凝固・抗血小板療法や免疫抑制剤の使用、ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死のリスクなど、歯科治療に際して注意を要する対象も増加しています。今後は更に安心・安全な医療の提供が求められるようになり、悪性腫瘍の手術や放射線・化学療法における周術期の口腔ケアなど、病院歯科としての口腔外科のニーズはますます高まってきています。また、地域における中核病院の歯科口腔外科として、医科・歯科の病診連携がよりスムーズになるように頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：田中 章夫 補職名：部長 専門領域：口腔外科全般	日本口腔外科学会 / 口腔外科専門医、指導医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医（歯科口腔外科） 日本口腔科学会 / 認定医、指導医 日本口腔ケア学会 / 口腔ケア認定 4 級 歯科医師臨床研修指導医
氏名：家田 晋輔 補職名：副医長 専門領域：口腔外科全般 (2022 年 7 月退職)	日本口腔外科学会 / 口腔外科認定医
氏名：原田 一生 専門領域：口腔外科全般 (2022 年 8 月入職)	日本口腔外科学会

業績 発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022 年 4 月	第 76 回日本口腔科学会学術集会	下顎歯肉癌術後のプレート破折に対し、カスタムメイドプレートを用いて再建した一例	家田 晋輔	田中 章夫・岡本健二郎・田坂ゆかり・和田 健・松村 達志	福岡市
2	2022 年 4 月	第 62 回日本呼吸器学会学術講演会	OSAS patients followed by handy PSG and whole PSG, especially in improving cases.	Fujita Etsuo	Kazuya Yoshizawa, Tanaka Akio, Higashimoto Satsuki, Hoshiya Hironobu, Nakao Tomomi, Uchida Masato, Miyai Yu, Kawahara Masaaki, Suruda Tadatoshi	京都市
3	2022 年 7 月	第 53 回日本口腔外科学会近畿支部学術集会	多数の紡錘形細胞を伴うエナメル上皮癌の 1 例	田中 章夫	家田 晋輔・和田 健・松村 達志	大阪市

論文・雑誌掲載

No	年月	誌名等及び巻・頁	題名	筆頭著者	共著者
1	2022 年 9 月	日本臨床生理学会雑誌 52 巻 1 号 Page45-51	Comparison among Treadmill, Arm Ergometry and Leg Crank Ergometry with Exhaled Gas Analyses in Respiratory Diseases	Yamada Genta	Fujita Etsuo, Shimizu Yuhei, Aoki Tatsuya, Horitani Ryosuke, Miyai Yu, Miyata Kaori, Nakao Tomomi, Ohishi Sei, Odajima Takashi, Sakaguchi Yuta, Izumi Yuki, Yokoyama Haruka, Furukawa Kenichi, Tanaka Akio, Hoshiya Hironobu, Yamamoto Katsuhiko, Yoshikawa Kazuya, Matsumoto Hisako, Tohda Yuji, Shimada Kousuke, Suruda Tadatoshi

皮膚科

【科概要、取り組み、年度総括】

皮膚科は2009年より常勤体制となり、現在も常勤医師1名、応援医師数名交代制で主に外来を中心に診療を行っています。周辺に皮膚科専門の開業医の数が少ないため、common skin diseases 中心ですが、原因究明のため血液検査やDLST検査、金属パッチテストなどの貼付試験、皮内反応などを可能な限り行っています。病理組織学的検査により診断精度の上がるのが期待できる症例に関しては、積極的に皮膚生検検査や外来で行える範囲での小切除も行っています。

2012年11月より紫外線治療機器が導入となり、尋常性乾癬や菌状息肉症などの皮膚疾患に対して光線療法を行えるようになりました。

また、他科と連携し褥瘡をはじめ入院中の皮膚疾患に対しても積極的にかかわり治療に携わっています。入院加療が必要な場合（熱傷、带状疱疹、薬疹など）は入院による加療も行っています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 198名

入院 1.2名

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：服部 舞子 補職名：医長 専門領域：皮膚科一般	日本皮膚科学会 / 皮膚科専門医

病理診断科

【科概要、取り組み、年度総括】

日本病理学会研修登録施設となっており、和歌山県内でも数少ない病理専門医が常勤する病理診断科です。担当職員は常勤病理専門医1名、非常勤病理専門医1名、臨床検査技師3名（うち細胞検査士は2名）です。生検および手術検体の病理組織診断、細胞診断、および病理解剖を担当しています。

【診療実績】

組織件数：1,973件、 ブロック数：7,969個
HE染色標本枚数：8,080枚、 特殊染色標本枚数：296枚、 免疫染色標本枚数：1,506枚
細胞診件数：4,898件、 プレパラート枚数：7,740枚
迅速組織診件数：35件、 迅速細胞診件数：15件
剖検件数：1件
臨床との症例検討：適時
外科・病理症例検討会（毎週金曜日8時30分より）42回
CPC 1回

CPC 症例

- ・2022年12月9日
特発性間質性肺炎経過観察中の80歳代女性の1症例
主治医 呼吸器内科 藤田悦生
研修医 大石 齊、坂口雄太、織田嶋崇嗣
病理医 木村雅友

研修医受け入れ

2022年6月 大石 齊
2023年2月 稲田昭彦

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：木村 雅友 補職名：部長 専門領域：病理診断	日本病理学会 / 病理専門医 日本臨床細胞学会 / 細胞診専門医

業績

論文・雑誌掲載

No	年月	誌名等及び巻・頁	題名	筆頭著者	共著者
1	2022年1月	Int J Surg Pathol: 30: 646-651	Yolk sac tumor in a recurrence of colonic adenocarcinoma with shared mutations in APC and TP53 genes	Otani T	Kimura M
2	2022年3月	Internal Medicine: 61: 667-671	The diagnosis and treatment of primary pulmonary artery sarcoma	Funauchi Y	Kimura M
3	2022年6月	Ann Hematol 101: 1343-1344	Management of warm autoimmune hemolytic anemia related to band 3-positive colon carcinoma	Matsuyama Y	Kimura M
4	2022年7月	Int J Clin Exp Pathol: 15: 296-300	Transient atypical lymphoplasmacytic proliferation of the endometrium associated with pyometra	Otani T	Kimura M
5	2022年7月	Frontiers in Medicine: 9: 951834	Pancreatic neuroendocrine carcinoma with unique morphological features mimicking intraductal papillary mucinous carcinoma	Tanaka H	Kimura M

循環器内科

【科概要、取り組み、年度総括】

心臓疾患（心不全、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心臓弁膜症、心筋症など）を中心に、大動脈、肺動脈、末梢動脈などの血管に関わる疾患、高血圧症を専門に扱う科です。具体的には息切れ、胸・背中の痛みや圧迫感、動悸や脈の乱れ、歩行時の下肢の痛みなどの症状を有する方や、健康診断で心電図異常や高血圧、脂質異常症を指摘された方が受診されます。また、むくみの原因がわからない方や眼前が暗くなり意識が遠のいたりする発作がある方も心臓病の可能性があります。一度、外来でのチェックをお勧めします。

心臓救急の代表的な疾患としては急性冠症候群（急性心筋梗塞、狭心症）と急性心不全が挙げられます。特に急性心筋梗塞では、発症後いかに早く再疎通療法を行うかが重要となります。当院周辺には循環器専門施設がなく、循環器救急疾患の搬送先はほぼ当院に限られます。当科では24時間体制の循環器救急医療を実施し、急性心筋梗塞症を中心とした緊急症例の受け入れを行っています。当科の業務はこのような急性期心臓疾患の管理、治療が中心となっており、入院患者の過半数を緊急入院患者が占めています。

本邦では超高齢社会を迎え、合併症を持たれた心不全患者数が増加しています。わが国の高齢者心不全の予後をみた研究では、80歳以上の心不全患者の再入院率は1年で約30%です。その意味で、高齢者心不全においては、症状緩和と再入院予防を行い、その人らしいQOLの維持が治療目標となります。心不全の治療に関しては、急性期の治療のみならず長期の予後、疾患管理も含めた診療を行うため、各診療科との連携に加え、看護部・検査科・臨床工学科・薬剤部・栄養科やソーシャルワーカーなどの多職種による包括的な診療をチームで対応するように心掛けています。

これからも、さらに精力的に高度・先進医療を提供することで地域の医療者の方々から信頼される循環器内科を目指していきます。

【診療実績等】

2022年度の循環器疾患の入院患者は463人で、そのうち心不全患者は132人、急性冠症候群患者は83人でした。

1日平均患者数

外来 47.3名

入院 21.5名

非観血的検査

心エコー	2200件
心臓核医学（RI）検査	90件
冠動脈CT検査	168件
心臓MRI検査	6件

観血的検査・治療

総心臓カテーテル検査	226件
冠動脈インターベンション（PCI）	147件
末梢動脈疾患のカテーテル治療（EVT）	38件
永久ペースメーカー植込み術 新規	16件
ペースメーカー交換	21件

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	資格等
氏名：星屋 博信 補職名：病院長代理 副病院長（～2022年9月） 診療部長 地域医療部長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本循環器学会 / 循環器専門医
氏名：九鬼 新太郎 補職名：部長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本循環器学会 / 循環器専門医 医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名：榊野 富造 補職名：医長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本循環器学会 / 循環器専門医
氏名：匹本 樹寿 補職名：副医長 専門領域：循環器内科 （2023年3月退職）	
氏名：疋田 稜 専門領域：循環器内科	

業績
発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年10月	第46回和歌山 Cardiovascular Imagine & Therapeutics Conference	抗凝固療法施行中に静脈血栓症の再発を来した一例	疋田 稜		和歌山市

講演会

No	年月	会名	演題名	演者	開催都市
1	2022年5月	紀北エリア尿酸 WEB フォーラム	生活習慣病としての高尿酸血症 ～循環器内科医からの視点～	九鬼 新太郎	橋本市
2	2022年6月	心腎連関 Expert セミナー	貧血から心腎連関を再考する	九鬼 新太郎	和歌山市
3	2022年6月	社員研修会	循環器疾患に関する最新の医学的知見のご教授ならびに弊社情報活動へのご助言	九鬼 新太郎	和歌山市
4	2022年6月	ARNI WEB Symposium<和歌山分科会>	これからの降圧薬の使い方を考える	九鬼 新太郎	和歌山市
5	2022年7月	慢性心不全 Web セミナー	非循環器専門医のためのMRAのトリセツ	九鬼 新太郎	橋本市
6	2022年9月	第25回紀北地区循環器セミナー	抗血栓療法を安全かつ適切に行おう	九鬼 新太郎	橋本市
7	2022年9月	不眠症診療セミナー in 橋本	睡眠と生活習慣病の関わり	九鬼 新太郎	橋本市
8	2022年10月	Hyperkalemia Management Seminar in WAKAYAMA	カリウムを制御し、心不全診療を完遂する	九鬼 新太郎	和歌山市
9	2022年11月	心腎連関セミナー in WAKAYAMA	あなたがSGLT2阻害薬の処方躊躇う理由	九鬼 新太郎	和歌山市
10	2022年12月	Webによる社内研修会	CTEPHの治療について	九鬼 新太郎	和歌山市
11	2023年1月	腎性貧血 臨床セミナー	腎性貧血治療について	九鬼 新太郎	橋本市
12	2023年2月	地域連携 WEB ～橋本の心疾患を考える会～	フレイル高齢者の心房細動・心不全管理	九鬼 新太郎	橋本市
13	2023年2月	高尿酸血症治療を考える会	生活習慣病としての高尿酸血症 ～循環器内科医からの視点～	九鬼 新太郎	奈良市
14	2023年2月	第433回伊都医師会診療懇話会	生活習慣病としての高尿酸血症 ～循環器内科医からの視点～	九鬼 新太郎	橋本市

座長・パネリスト等

No	年月	会名	演題名	氏名	開催都市
1	2022年9月	第25回紀北地区循環器セミナー	（座長）高齢化する虚血性心疾患患者とどのように向き合っていくか ～カテーテル治療から抗血小板療法まで～	星屋 博信	橋本市
2	2022年11月	循環器代謝疾患セミナー	（総合座長）糖尿病治療の最近の知見	九鬼 新太郎	橋本市
3	2023年1月	ユリス WEB チャンネル ー循環器内科における尿酸治療を考えるー	（座長）高尿酸血症と冠動脈疾患	九鬼 新太郎	和歌山市

救急科

【科概要、取り組み、年度総括】

2014年4月より専従常勤医が配置され、救急科の運営がスタートしました。従来は各科が持ち回りで担当していた時間内の救急患者を救急科で受け持ちしています。必要に応じて院内の各科専門医と連携し、引き継ぎや入院診療を円滑に行うようにしています。当院の位置付けとしては2次救急となっておりますが、実態として当科では1次から3次まで様々な疾患に対応しており、初療の後に必要に応じて高次医療機関への搬送を行っています。また、地域のメディカルコントローラーとして、消防とのホットラインを救急科にて所持しております。

医療圏内救急搬送での応需率は約半数を占めており、橋本市のみならず医療圏内の地域貢献ができていると考えております。新型コロナウイルス感染症の流行のため控えておりますが、流行が落ち着けば、週1回の当市の救急隊がERに常駐する救急ワークステーションを再開いたします。

消防本部と定期的実施しているメディカルコントロール会議も継続的に行い、地域の中核病院としての役割を果たして行きます。今後ともいっそうの体制充実に、救急科一同努めて参ります。

【診療実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
救急車受入数	128	198	189	189	241	225	203	243	305	227	205	210	213.6

	時間内	時間外	合計
患者数	748	4,215	4,963
うち入院	527	1,351	1,878

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
紹介患者数	9	8	8	5	5	9	7	6	8	5	6	3	6.6

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>なかむら まさき</small> 中村 公紀 補職名：部長 専門領域：※省略 外科参照	※省略 外科参照
氏名： <small>おがわ あつひろ</small> 小川 敦裕 補職名：副医長 専門領域：救急医学	日本内科学会 / 認定内科医 日本救急医学会 / 救急科専門医 日本集中治療医学会 / 集中治療専門医

健診センター

【科概要、取り組み、年度総括】

健診センターは2006年4月からは常勤医1人体制で、週に3日間運営していましたが、2008年4月からは名誉院長と2人体制となり毎日の健診が可能となり、2022年4月からは保健師1名、事務員5名とともに健診業務を行っています。

当健診センターでは、人間ドック（一日ドック、二日ドック等）、生活習慣病健診（協会けんぽ等）、がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん等）、脳ドック、女性検診（乳がん検診、子宮がん検診等）、その他の健診（各企業の定期健診、雇用時や入学時の健診等）、さらには職員健診も含め、様々な健診業務を、診療各科や診療技術部の協力も得ながら実施しています。

また、2008年度から特定健康診査、特定保健指導が義務付けられ、当健診センターでも特定健康診査を実施してきましたが、2023年度からは特定保健指導も実施しています。

なお、2011年7月からは禁煙治療のための禁煙外来が、2週間に1回ではありますが健診センター内に開設されています。2022年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時的に休診していたため実績はありません。

【診療実績】

2022年度健診センター実績（2022年4月～2023年3月）

健診受診者総数	3,742名
（内訳）	
人間ドック（一日、二日、生活習慣病健診）	904件
特定健康診査（国保、社保）	515件
がん検診（肺、胃、大腸）	1,815件
脳ドック	187件
女性検診（子宮がん、乳がん）	1,649件
その他の健診	1,328件

2022年度禁煙外来実績なし（2022年4月～2023年3月休診）

【取り組みや今後の展望、その他一言】

2008年度から特定健康診査が開始されていますが、2023年4月からは特定保健指導も行うことで、特に生活習慣病の早期発見、予防に取り組んでいきたいと思っています。

健診センターでは、二次予防である一般的な健康診断のほか、生活習慣の指導、啓蒙等の一次予防も行い、これら予防医学全般を通じて地域住民の健康の保持、増進に貢献出来ればと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>たきだに ひろお</small> 瀧谷 裕緒 補職名：部長 専門領域：内科 糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 （同上） / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医 （同上） / 糖尿病研修指導医 臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名： <small>あおき ようぞう</small> 青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：※省略 外科参照	※省略 外科参照

V 看護部紹介

V 看護部紹介

看護部

外来

3階西病棟

3階東病棟

4階西病棟

4階東病棟

5階西病棟

5階東病棟

HCU病棟

中央手術室 / 中央材料室

【概要】

●看護職

看護部長	西 未知子
副看護部長	井上 敏江
	9月より 西林 和美 神保 昌代 近藤 史子

外来	看護師長	廣西 和代	狩谷 真紀
3階西病棟	看護師長	福島 治美	
3階東病棟	看護師長	小西 千晶	
4階西病棟	看護師長	東本 桂	
4階東病棟	看護師長	川北 ひさ	
5階西病棟	看護師長	船野 真樹	
5階東病棟	看護師長	西林 和美	
中央手術室	看護師長	神保 昌代	
中央材料室	看護師長	神保 昌代 (兼務)	
HCU	看護師長	神保 昌代 (兼務)	
入退院支援室	室長	恋中 理恵	

看護職スタッフ総数 (2023年3月31日現在)

助産師	: 19人
看護師	: 194人
准看護師	: 6人
看護補助者	: 48人 (外来クラーク含む)

【理念・目標】

●理念・基本方針・目標

看護部理念

私たちは、「患者の権利」を尊重し、安心、安全、安楽な看護を提供します

看護部基本方針

1. 患者の生命の尊厳と人権を尊重した看護をおこないます
2. 急性期病院の看護専門職として、常に自己研鑽を重ね、行進の育成に努めます
3. 病床機能に応じて、それぞれの職種が専門職性を活かした看護を提供します
4. 多職種連携に努め、地域完結型看護をめざします

看護部教育理念

患者満足と安心・安全を基本とし、急性期病院の医療に対応した専門的な看護を提供できる看護職を育成する

看護部教育方針

- * 病院の理念、看護部の理念に基づいて、質の高い看護を提供できる看護職を育成する
- * 現任教育・新人教育・看護補助者教育・後進育成・看護研究の5つの柱とし、それぞれの立場と段階に応じた教育と教育的な援助を行う
- * 看護の専門職人として看護実践能力を高め、看護の質的向上を図ることを支援する
- * 職位、役割に応じた研修、学会などに参加する機会を提供する

看護部目標

魅力ある職場づくりと選ばれる病院づくりに参画する。

2022年度 スローガン

K	K	K
気づき	考え	看護の力

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 自ら発信
 - 2) 情報共有を活かした安全の確保
 - 3) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
 - 1) 業務内容を改築して効率よい時間管理
 - 2) 教え合い、声かけ合い、皆でチーム力向上
3. 地域医療機関の信頼と満足の向上
 - 1) 入院から退院後の生活を見据えた退院支援
 - 2) 専門職として誇りをもち、誠実な態度で患者サービス

【取り組み】

- ・各委員会活動を活発にでき、考える力、協力する力が向上した
- ・学会発表
- ・コロナ渦においても新人研修、ラダー研修は継続して行えた

【今後の課題】

1. 管理職の能力向上
2. 自己研鑽に努める
3. 職場環境改善に取り組む

【実績】

別紙参照

2022 年度委員会・会議 参加者リスト

	部 署	氏 名	月 日	時 間	委員会名	場 所
1	5 西	前垣内 真由美	4月8日(金)	13:30～16:00	第1回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
2	3 西	福島 治美	4月18日(月)	10:00～17:00	第1回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
3	3 西	福島 治美	5月9日(月)	10:00～17:00	第2回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
4	5 西	前垣内 真由美	5月13日(金)	13:30～16:00	第2回 県役員・委員会委員合同会議 および和歌山県看護連盟通常総会 打合せ	和歌山県看護協会
5	5 西	前垣内 真由美	5月14日(土)	10:30～15:30	令和4年度 和歌山県看護連盟通常総会	勤労福祉会館 プラザホープ
6	3 西	福島 治美	5月16日(月)	9:00～17:00	新人看護技術研修会	和歌山県看護研修センター
7	看護管理	西 未知子	5月24日(火)	【理事会】 13:30～15:00 【合同運営会議】 15:00～16:00	第1回理事会・第1回合同運営会議	和歌山県看護研修センター 大ホール
8	看護管理	西 未知子	5月25日(水)	14:00～16:00	伊都地区支部会議 (5月)	橋本市民病院
9	看護管理	横芝 真紀	5月26日(木)	10:00～16:00	第1回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
10	3 西	福島 治美	5月30日(月)	9:00～17:00	「今必要な感染管理の知識」の協力員	和歌山県看護研修センター
11	手術室	川北 ひさ	5月31日(火)	13:30～17:00	第1回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
12	5 西	前垣内 真由美	6月3日(金)	13:30～16:00	第3回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
13	3 西	福島 治美	6月13日(月)	9:00～17:00	「みんなで育てよう新人看護師 ～イマドキの新人教育のかかわり方～」の協力員	和歌山県看護研修センター
14	3 西	福島 治美	6月20日(月)	10:00～17:00	第3回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
15	看護管理	西 未知子	6月22日(水)	14:00～15:30	伊都地区支部会議 (6月)	橋本市民病院
16	看護管理	西 未知子	6月25日(土)	12:00～15:30	令和4年度 和歌山県看護協会通常総会への出席	和歌山県看護研修センター
17	看護管理	西 未知子	6月29日(水)	13:30～16:00	第2回理事会・第2回合同運営会議	和歌山県看護研修センター
18	5 西	前垣内 真由美	7月1日(金)	13:30～16:00	第4回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
19	4 西	神保 昌世	7月2日(土)	10:00～16:00	第154回 中央業務及び感染対策研究会	ドーンセンター
20	看護管理	横芝 真紀	7月11日(月)	9:00～17:00	「JNA 収録災害看護DVD 研修 災害支援ナースの第一歩」の協力員	和歌山県看護研修センター
21	3 東	田中 早苗	7月12日(火)	10:00～16:00	第1回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
22	手術室	川北 ひさ	7月25日(月)	9:15～17:00	「レジリエンス・エンジニアリング」研修会の協力員	和歌山県看護研修センター
23	3 西	山口 恵子	8月19日(金)	13:30～16:00	令和4年度 実習施設合同指導者会	和歌山県立高等看護学院
24	3 東	田中 早苗	8月21日(日)	9:00～16:00	「第1回 助産師研修会」の協力員	和歌山県看護研修センター
25	5 西	前垣内 真由美	9月2日(金)	13:30～16:00	第6回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
26	看護管理	横芝 真紀	9月8日(木)	10:00～16:00	第3回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
27	看護管理	西 未知子	9月10日(土)	15:00～17:00	令和4年度 伊都地区支部研修会 第2回感染管理マネージャー養成研修	橋本市民病院 講堂
28	3 東	高水 佳代	9月10日(土)	13:00～15:30	令和4年度 保健師・助産師・看護師合同研修会におけるシンポジスト派遣	和歌山県看護研修センター
29	3 東	田中 早苗	9月12日(月)	10:00～16:00	第3回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
30	HCU	田中 君枝	9月13日(火)	14:00～16:00	第1回 和歌山県看護連盟青年部会議	和歌山県看護連盟事務所
31	手術室	川北 ひさ	9月30日(金)	13:30～17:00	第3回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
32	5 西	前垣内 真由美	10月7日(金)	13:30～16:00	第7回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
33	看護管理	横芝 真紀	10月12日(水)	10:00～16:00	第4回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
34	3 東	田中 早苗	10月13日(木)	10:00～16:00	第4回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
35	3 西	福島 治美	10月17日(月)	10:00～17:00	第7回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
36	HCU	田中 君枝	10月19日(水)	14:00～16:00	第2回 和歌山県看護連盟青年部会議	和歌山県看護連盟事務所
37	看護管理	西 未知子	10月29日(土)	13:30～16:30	令和4年度 伊都地区支部研修会 第4回感染管理マネージャー養成研修	橋本市民病院 講堂
38	看護管理	西 未知子	10月31日(月)	13:30～16:30	第4回 理事会	和歌山県看護協会

	部 署	氏 名	月 日	時 間	委員会名	場 所
39	5 西	前垣内 真由美	11月4日(金)	9:30～16:00	第8回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
40	看護管理	横芝 真紀	11月6日(日)	9:00～17:00	「災害看護フォローアップ研修」の協力員	和歌山県看護研修センター
41	外来	廣西 和代	11月6日(日)	9:30～12:50	第27回 和歌山県病院協会学術大会における座長派遣	ホテルアバローム紀の国
42	3 東	田中 早苗	11月10日(木)	10:00～16:00	第5回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
43	看護管理	西 未知子	11月12日(土)	14:00～15:00	令和4年度行事 「すこやか橋本まなびの日」の協力依頼(前日準備)	和歌山県立橋本体育館
44	4 西	神保 昌世	11月12日(土)	10:00～16:00	第155回 中央業務及び感染対策研究会	ドーンセンター
45	看護管理	西 未知子	11月13日(日)	9:00～13:30	令和4年度行事 「すこやか橋本まなびの日」の協力依頼	和歌山県立橋本体育館
46	入退院	恋中 理恵	11月13日(日)	9:00～13:30	令和4年度行事 「すこやか橋本まなびの日」の協力依頼	和歌山県立橋本体育館
47	3 西	福島 治美	11月14日(月)	9:00～17:00	「がん看護～今知っておきたい治療と看護師の役割～」研修会の協力員	和歌山県看護研修センター
48	看護管理	横芝 真紀	11月14日(月)	10:00～16:00	第5回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
49	手術室	川北 ひさ	11月15日(火)	9:15～17:00	「医療安全に必要なリーダーシップとコミュニケーション力」研修会の協力員	和歌山県看護研修センター
50	HCU	田中 君枝	11月16日(水)	14:00～16:00	第3回 和歌山県看護連盟青年部会議	和歌山県看護連盟事務所
51	看護管理	西 未知子	11月19日(土)	13:30～16:30	令和4年度 伊都地区支部研修会 第5回感染管理マネージャー養成研修	橋本市民病院 講堂
52	3 西	福島 治美	11月21日(月)	10:00～17:00	第8回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
53	3 東	田中 早苗	11月26日(土)	10:00～16:00	令和4年度 助産師交流会及び職能集会	和歌山県看護研修センター
54	手術室	川北 ひさ	11月30日(水)	10:00～17:00	第4回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
55	5 西	前垣内 真由美	12月2日(金)	13:30～16:00	第9回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
56	3 東	田中 早苗	12月10日(土)	10:00～16:00	第6回 助産師職能委員会・近畿地区助産師合同研修会	和歌山県看護研修センター
57	5 西	前垣内 真由美	12月10日(土)	12:30～16:00	令和4年度 第2回和歌山県看護協会・看護連盟合同研修会への協力員	和歌山県看護協会
58	看護管理	横芝 真紀	12月14日(水)	10:00～16:00	第6回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
59	3 西	福島 治美	12月19日(月)	10:00～17:00	第9回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
60	HCU	田中 君枝	12月21日(水)	14:00～16:00	第4回 和歌山県看護連盟青年部会議	和歌山県看護連盟事務所
61	手術室	川北 ひさ	12月23日(金)	10:00～17:00	第5回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
62	3 東	田中 早苗	2023年 1月12日(木)	10:00～16:00	第7回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
63	5 西	前垣内 真由美	1月13日(金)	13:30～16:00	第10回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
64	3 西	福島 治美	1月16日(月)	10:00～17:00	第10回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
65	3 西	西山 叶恵	1月17日(火)	14:30～17:00	看護部感染委員会 感染相互ラウンド	日本赤十字社和歌山医療センター
66	4 東	川北 ひさ	1月17日(火)	14:30～17:00	看護部感染委員会 感染相互ラウンド	日本赤十字社和歌山医療センター
67	4 西	濱田 一世	1月17日(火)	14:30～17:00	看護部感染委員会 感染相互ラウンド	日本赤十字社和歌山医療センター
68	手術室	大谷 佳代	1月17日(火)	14:30～17:00	看護部感染委員会 感染相互ラウンド	日本赤十字社和歌山医療センター
69	HCU	田中 君枝	1月18日(水)	14:00～16:00	令和4年度 和歌山県看護連盟青年部会議	和歌山県看護連盟事務所
70	3 西	福島 治美	1月19日(木)	9:00～17:00	「エンド・オブ・ライフケアを学ぶ～病院・在宅・施設等で働く看護職が紡ぎ、つなぐ～」研修会の協力員	和歌山県看護研修センター
71	看護管理	西 未知子	1月19日(木)	16:00～	令和4年度 第3回橋本保健医療圏在宅医療・介護連携推進協議会	九度山町ふるさとセンター
72	5 西	前垣内 真由美	2月3日(金)	13:30～16:00	第11回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
73	看護管理	西 未知子	2月4日(土)	13:30～16:30	令和4年度 伊都地区支部研修会 第7回感染管理マネージャー養成研修	橋本市民病院 講堂
74	看護管理	神保 昌世	2月7日(火)	18:00～19:30	令和4年度 感染管理認定看護師意見交換会	Web形式
75	感染管理	栢田 美加子	2月7日(火)	18:00～19:30	令和4年度 感染管理認定看護師意見交換会	Web形式
76	看護管理	横芝 真紀	2月9日(木)	10:00～16:00	第8回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
77	3 東	田中 早苗	2月14日(火)	10:00～16:00	第8回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター

	部 署	氏 名	月 日	時 間	委員会名	場 所
78	HCU	田中 君枝	2月15日(水)	14:00～16:00	令和4年度 和歌山県看護連盟青年部会議	和歌山県看護連盟事務所
79	手術室	川北 ひさ	2月24日(金)	10:00～17:00	第6回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
80	入退院	恋中 理恵	3月1日(水)	14:00～16:00	令和4年度 「地区別施設会員代表者会」	橋本市民病院 講堂
81	3東	小西 千晶	3月1日(水)	16:30～17:15	出産給付金手当制度変更に関して	橋本市子育て世代包括支援センター
82	3東	和所 直美	3月1日(水)	16:30～17:15	出産給付金手当制度変更に関して	橋本市子育て世代包括支援センター
83	5西	前垣内 真由美	3月3日(金)	13:30～16:00	第12回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
84	3東	田中 早苗	3月4日(土)	9:00～13:00	第2回 助産師研修会	和歌山県看護研修センター
85	3東	田中 早苗	3月9日(木)	10:00～16:00	第9回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
86	HCU	田中 君枝	3月15日(水)	14:00～16:00	令和4年度 和歌山県看護連盟青年部会議	和歌山県看護連盟事務所
87	手術室	川北 ひさ	3月17日(金)	9:15～16:30	「安全な組織を作る～安全管理は看護管理者がkeyです!」研修会の協力員	和歌山県看護研修センター
88	看護管理	西 未知子	3月18日(土)	13:30～16:30	令和4年度 伊都地区支部研修会 第8回感染管理マネージャー養成研修	橋本市民病院 講堂
89	手術室	川北 ひさ	3月24日(金)	13:30～17:00	第7回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター

2022年度 新人看護師研修（ラダーⅠ）【対象：新人看護師】

	月 日	研修内容	参加人数
1	4月1日・4日・5日	新採用職員オリエンテーション	22名
2	4月6日～4月26日	各部署ローテーション研修	19名
3	4月13日	新人看護師技術研修 「患者の移送・移乗」「排泄ケア」「バーナケアの使用法」	19名
4	4月20日	新人看護師技術研修 「酸素療法」「喀痰吸引」「口腔ケア」「食事介助」「義歯の取り扱い」	19名
5	4月27日	新人看護師技術研修 「電子カルテ」	18名
6	4月28日	新人看護師技術研修 「ミキシング」	18名
7	5月2日	新人看護師技術研修 「ポジショニング」	15名
8	5月11日	新人看護師技術研修 「静脈採血・エラスター留置」	19名
9	5月18日	新人看護師技術研修 「シリンジポンプ」	19名
10	5月20日	新人看護師技術研修 「ポジショニング」	3名
11	5月25日	「医療安全（KYT）」研修	19名
12	6月8日	「看護倫理」研修	19名
13	6月22日	フィジカルアセスメント① 「呼吸・循環」	20名
14	7月5日	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 「新人のためのフィジカルアセスメント（数値を入力するだけのバイタルサイン測定からの脱却）」	18名
15	9月14日	「糖尿病看護」研修	17名
16	9月27日	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 「新人看護師職員オリエンテーション」	16名
17	9月28日	「褥瘡管理」研修	16名
18	10月17日	【院外研修】 橋本應其寺体験研修 《写経》	15名
19	10月19日	フィジカルアセスメント② 「意識・腹部」	17名
20	11月16日	「急変時対応」研修	17名
21	12月14日	「輸血管理」研修	15名
22	12月21日	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 「新人のための医療安全」	15名
23	2023年1月18日	「緩和ケア・エンゼルケア」研修	16名
24	2023年2月4日	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 「和歌山県看護研究学会」	5名
25	2023年2月4日	【院外研修】 日本医療マネジメント学会 第17回和歌山支部学術集会	10名
26	2023年2月8日	「麻薬管理」研修	15名
27	2023年3月8日	「ナラティブ」研修	13名

院外研修

2022年度 ラダーⅡ研修

	月 日	研修名	参加人数
1	5月12日	「ケーススタディ①」研修	11名
2	6月16日	「メンバーシップ」研修	14名
3	7月14日	「医療安全（KYT）」研修	13名
4	9月8日	「看護倫理」研修	12名
5	10月13日	「フィジカルアセスメント」研修	11名
6	11月～2023年1月	ローテーション研修	12名
7	2023年2月9日	「ケーススタディ②（ケースレポート発表）」研修	9名

2022年度 看護補助者研修【対象：病棟・外来のケアワーカー】

	月 日	研修名	参加人数
1	7月1日・8日	「感染対策」研修	32名
2	9月2日・9日	「医療安全」研修	26名
3	10月7日・14日	「車椅子・ストレッチャー移乗」研修	32名
4	2023年1月6日・13日	「寝衣交換」研修	20名
5	2023年3月3日・10日	「オムツ交換」研修	19名

2022年度 院外研修参加リスト

月	研修名	主催	人数	
1	4月 脳卒中相談支援講習会 ①多職種講習 「脳卒中相談窓口と脳卒中療養相談士制度」 3/20 (日) ②脳卒中の診療とケアにかかわる人材育成 3 「脳卒中相談窓口」 4/23 (土)	一般社団法人日本脳卒中学会	1	
	2 令和4年度 第1回 和歌山県看護連盟研修会 5/21 (土)	和歌山県看護連盟	1	
3	5月 [長期研修] 【49】 新人看護職員実地指導者研修 (県受託事業) ①5/26 (木) ②6/7 (火) ③6/27 (月) ④9/20 (火) ⑤11/22 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
4	[8] チーム力を高めるリーダーシップ 6/3 (金)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
5	《オンライン研修》 看護管理 看護における機能連携 6/3 (金)	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	2	
6	6月 [長期研修] 【50】 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 6月中旬 開講式～7月下旬 閉講式 *全日程21日前後	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
7	令和4年度 和歌山県看護協会 通常総会 6/25 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	6	
8	[11] 目指そう笑顔で対応～認知症状・せん妄症状への対応～ 6/28 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
9	2022年度 医療安全管理者養成研修 《インターネット配信研修受講期間》 7/1 (金) ～集合研修開催5日前 《集合研修開催日》 12/9 (金)	日本看護協会 / 公益社団法人和歌山県看護協会	3	
10	7月 《オンラインセミナー》 22 「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修 7月1日 (金)～9月30日 (金)	一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会 ヴェクソンインターナショナル株式会社	24	
11	[新人研修] 【3】 新人のためのフィジカルアセスメント (数値を入力するだけのバイタルサイン測定からの脱却) 7/5 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	18	
12	《オンライン研修》 看護管理 看護ミドルマネジャー研修 7/8 (金)	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	2	
13	[42] 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 (DVD 視聴) 7/23 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	4	
14	[医療安全] 【15】 レジリエンス・エンジニアリング ～失敗だけじゃない。成功に目を向けられるもの～ 7/25 (月)	公益社団法人和歌山県看護協会	5	
15	[長期研修] 《eラーニングを用いた学修》 2022年度 地域ケアスキル・トレーニングプログラム ベーシック・プログラム 8/8 (月)～10/31 (月)	自治医科大学看護学部	1	
16	8月 [長期研修] 和歌山県院内臓器移植コーディネーター養成研修会 ①8/20 (土) ②9/10 (土) ③10/15 (土) ④11/12 (土) ⑤12/10 (土) ⑥R5.1/14 (土) *予備日 R5.2/4 (土)	和歌山県福祉保健部健康局業務課長	1	
17	《WEB研修》 2022年度 「看護師基礎教育を考える会」 8/24 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
18	《WEB研修》 令和4年度 第1回和歌山県看護協会・看護連盟合同研修会 8/27 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 和歌山県看護連盟	1	
19	[長期研修] 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 8/30 (火)～11/9 (水) 180時間 (34日間)	公益社団法人大阪府看護協会	1	
20	令和4年度 第1回伊都支部看護連盟・看護協会合同研修会 9/3 (土)	和歌山県看護連盟 公益社団法人和歌山県看護協会	4	
21	9月 [医療安全] 【23】 やってみよう! RCA分析～事例を通じて学ぶRCA分析～ 9/9 (金)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
22	[新人研修] 令和4年度 公益社団法人和歌山県看護協会 新人看護職員オリエンテーション 【第2回】 9/27 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	16	
23	「認知症疾患医療センター 第11回市民公開講座 (第22回研修会)」 10/1 (土)	和歌山県立医科大学附属病院	1	
24	[57-2] 令和4年度 看護職員認知症対応力向上研修 (和歌山県委託事業) ①10/3 (月) ②10/4 (火) ③10/11 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
25	10月 《オンライン研修》【令和4年度 診療報酬改定対応研修】 「看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修」 10/6 (木)	公益社団法人全日本病院協会 ヴェクソンインターナショナル (株) (S-QUE 研究事業部)	2	
26	[職-8] 令和4年度 男性看護師交流会 10/15 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
27	令和4年度 第2回和歌山県看護連盟研修会 10/15 (土)	和歌山県看護連盟	2	
28	[第54回 機能強化検討ワークショップ] (電子カルテ) 10/21 (金)	NEC	2	
29	《WEB研修》 令和4年度 「第1回施設会員代表者会」 11/5 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	2	
30	[医療安全] 【29】 医療安全に必要なリーダーシップとコミュニケーション力 11/15 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
31	11月 「人権・接遇研修会」 11/18 (金)	公益社団法人和歌山県病院協会	2	
32	《オンデマンド研修》 令和4年度 危機管理における看護マネジメント能力向上研修 11/23 (水)	和歌山県福祉保健部健康局	2	
33	令和4年度 看護管理者研修 「看護管理の面白さを知ろう」 12/3 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	2	
34	感染管理認定看護師教育課程 入学試験 12/15 (木)～12/16 (金)	北海道医療大学	1	
35	12月 和歌山県認知症疾患医療センター (橋本医療圏) 研修会 第3回 認知症疾患医療センター医療従事者向け研修会 VR体験をしてみませんか 認知症の方を理解することから、始めましょう 12/18 (日)	和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 認知症疾患医療センター	1	
36	[新人研修] 【5】 新人のための医療安全 12/21 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	16	
37	2023年 《Web開催》 令和4年度 (第19回) 病院医療機能評価受審フォーラム 2023.1/11 (水)	一般社団法人滋賀県病院協会	3	
38	1月 [37] 看護職に必要なファシリテーションスキル 2023.1/26 (木)	公益社団法人和歌山県看護協会	1	
			研修参加人数	136

長期研修
新人看護師の研修

2022年度 学会発表・参加

	学会名	主催	月日	演題	発表者	参加者
1	和歌山県国保医学会総会・第55回学術集会 並びに国保直診在宅医療研究会 第23回研究集会	和歌山県国保医学会 和歌山県国民健康保険診療施設連絡協議会 和歌山県国民健康保険団体連合会	6月18日(土)	「1から始めた感染症対応病棟作り」 ～コロナを受け入れる～	山口 理惟	東本 桂 廣西 江吏子 北山 璃乃
2	第26回 日本看護管理学会学術集会 in 福岡	鹿児島大学病院 医療情報部 第26回日本看護管理学会学術集会 運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社九州支社	8月19日(金) 8月20日(土)			西 未知子 栢田 美加子
3	第27回 和歌山県病院協会学術大会	公益社団法人和歌山県病院協会	11月6日(日)	急性期病棟における看護チーム力の向上を目指して ～カンファレンスを通して業務中心からの脱却～	目賀多 悦子	萩谷 夏美 織本 海奈未 大井 咲来 能木 萌 村上 業生 田中 実来 東本 桂 平岡 美香 笠田 直 西林 和美 仲谷 早苗 神保 昌世 山本 陽子 大谷 珠里 西 未知子 廣西 和代 狩谷 真紀 吉岡 有香代 辰巳 瞳
				病棟不良在庫ゼロへの取り組み ～無駄のない物品管理へ～	西谷 嘉代	
				業務の見える化への取り組み -病棟スケジュール管理を目指して-	天野 健一	
4	第19回 和歌山県病院大会	公益社団法人和歌山県病院協会	11月6日(日)			山本 陽子 神保 昌世 大谷 珠里 池内 美穂 西 未知子
5	第60回 全国自治体病院学会 in 沖縄	主催:公益社団法人 全国自治体病院協議会 共催:全国自治体病院開設者協議会	11月10日(木) 11月11日(金)	タスクシフト・シェアへの取り組み ～業務の効率化を目指して～ 看護管理者としてCOVID-19 クラスター発生から学んだ事	目賀多 悦子 西 未知子	福島 治美 小西 千晶 近藤 史子
6	第12回 日本在宅看護学術集会	一般社団法人日本在宅看護学会	11月18日(金) ～ 11月20日(日)			西 未知子
7	令和4年度 看護研究学会	公益社団法人和歌山県病院協会	2023年 2月4日(土)			山口 真由 丸山 美咲姫 尾崎 楓莉 間 義堯 辰巳 愛佳 《WEB参加》 米本 加奈子 横芝 真紀
8	日本医療マネジメント学会 第17回和歌山支部学術集会	公益社団法人和歌山県病院協会 / 和歌山ろうさい病院	2023年 2月4日(土)			和田 葉奈 玉置 尚也 平井 愛里 前田 龍佑 西川 舞 内匠 穂華 山川 由奈 畑中 月花 福岡 怜未 大谷 珠里

2022年度 イベント参加

	イベント名	主催	月日	参加者
1	2022年度 就職説明会	和歌山県立高等看護学院	5月6日(金)	廣西 江吏子 枝元 亜子
2	ホームカミングデー (修了生の帰校交流日)	大阪暁光高等学校	7月9日(土)	山口 真由
3	ホームカミングデー (修了生の帰校交流日)	国保野上厚生総合病院附属看護専門学校	8月6日(土)	内匠 穂華
4	令和4年度 子ども冒険村	橋本市教育委員会	① 8月22日(月) ② 8月23日(火)	①山本 奈保美 ②天野 健一
5	令和4年度 看護宣誓式	和歌山県立高等看護学院	10月7日(金)	西 未知子
6	令和4年度 卒業式	和歌山県立高等看護学院	2023年3月3日(金)	西 未知子
7	令和4年度 3年課程(第30期生) 卒業式	学校法人平成医療学園 和歌山看護専門学校	2023年3月7日(火)	川北 ひさ

2022年度 講師派遣

	担当科目・単元	担当学科・担当学年	月 日	時間数	場 所	講師名
1	成人看護活動論Ⅳ (脳・神経機能障害のある患者の看護)	和歌山県立高等看護学院 看護学科2年	① 6月22日(水) 9:00～12:10 ② 6月29日(水) 13:00～16:10 ③ 7月7日(木) 9:00～12:10	10時間	和歌山県立高等看護学院	山本 奈保美
2	成人看護活動論Ⅱ (循環機能障害をもつ患者の看護)		①② 5月13日(金) 9:00～12:10 ③④ 5月20日(金) 9:00～12:10 ⑤ 5月27日(金) 10:40～12:10 試験予定:6月17日(金)	10時間 (5回)		天野 健一
3	母性看護活動論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥・新生児の異常時の看護)		① 11月11日(金) 半日 ② 11月18日(金) 半日 ③ 12月1日(木) 半日	10時間		東 季映
4	臨床看護実務Ⅱ (災害看護)	和歌山県立高等看護学院 看護学科一部3年	① 10月20日(木) 半日	4時間		横芝 真紀
5	統合分野 看護の統合と実践Ⅱ(医療安全)	学校法人平成医療学園 和歌山看護専門学校3年	① 4月11日(月) 4限 ② 4月15日(金) 4限 ③ 4月18日(月) 4限 ④ 5月9日(月) 4限 ⑤ 5月30日(月) 4限 ⑥ 6月6日(月) 4限 ⑦ 6月20日(月) 4限 * 4限 15:10～16:40	15時間 (7回)	学校法人平成医療学園 和歌山看護専門学校	川北 ひさ

	項 目	主 催	月 日	場 所	講 師
1	脳神経外科領域 コメディカルに向けた学習シリーズ	オーベン株式会社	2022年4月～12月の期間内で 2回予定	リモート	池田 景子
2	ナースデイフェスタ和歌山 講師依頼 講演テーマ: 「チームとして新型コロナウイルス感染症 にどう対応しているか」	公益社団法人 和歌山県看護協会	5月7日(土) 13:00～15:00 (講演時間 14:20～14:50)	和歌山県看護協会内 看護研修センター	東 季映
3	「感染予防の基礎を学ぼう! ～患者さんとあなたを守るために～」の 講師派遣依頼	公益社団法人 和歌山県看護協会	5月20日(金) 10:00～16:00	看護研修センター	栢田 美加子
4	AEマネジメントセミナー in 和歌山	MSD 株式会社	6月29日(水) 18:00～19:30	橋本市市民病院	米本 加奈子
5	救急研修会(感染防止対策)の講師派遣	橋本市消防本部	9月5日(月) 13:30～15:30	橋本市消防本部 庁舎内	栢田 美加子 神保 昌世
6	令和4年度 「感染管理マネージャー育成研修」に 伴う講師派遣依頼	公益社団法人 和歌山県看護協会	9月10日(土) 15:00～17:00 10月29日(土) 13:30～16:30 11月19日(土) 13:30～16:30 2023年2月4日(土) 13:30～16:30 2023年3月18日(土) 13:30～16:30	橋本市市民病院 講堂	神保 昌世 栢田 美加子
7	令和4年度「第2回潜在看護職員復職支 援研修(紀北)」に伴う講師依頼	公益社団法人 和歌山県看護協会	10月18日(火) 10:30～12:00	和歌山県看護協会	神保 昌世
8	「第16回まっせ・はしもと」開催に伴う 看護師の派遣	橋本市 経済推進部 農林振 興課	11月5日(土) 11:00～16:00 11月6日(日) 9:00～14:00	サカイキャニ ングス スポーツパーク (橋本市運動公園)	西根 彩恵子 池田 景子
9	「糖尿病重症化予防(フットケア)」のフ ァシリテーター派遣依頼	公益社団法人 和歌山県看護協会	11月19日(土) 9:00～18:10 11月20日(日) 9:00～18:10	和歌山県 看護研修センター	高水 佳代
10	「令和4年度 新型コロナウイルス感染症 対応看護職員研修 軽症～中等症患者 対応研修(一般病棟・入院待機施設用)」 の演習に伴う講師派遣依頼	公益社団法人 和歌山県看護協会	11月25日(金) 13:00～17:00	医療法人志嗣会 介護老人保健施設 アメニティかつらぎ	栢田 美加子
11	2022年度 医療安全管理者養成研修の講 師の派遣	公益社団法人 和歌山県看護協会	12月9日(金) 10:00～16:00	和歌山県 看護研修センター	川北 ひさ
12	令和4年度ジュニアリーダー研修会 講師派遣	橋本市教育委員会	12月26日(月) 9:00～17:00 (*雨天決行)	SHINODA BASE	西根 彩恵子 丸 勇真
13	「第26回 橋本マラソン」開催に伴う 看護師の派遣	橋本市教育委員会	2023年2月4日(土) 8:40～ 競技開始 12:15 終了予定	サカイキャニ ングス スポーツパーク (橋本市運動公園)	前溝 朗 池田 景子 小倉 由莉
14	令和4年度 「感染管理マネージャー育成研修 施設ラ ウンド」に伴う講師依頼	公益社団法人 和歌山県看護協会	2023年3月15日(水) 14:00～16:00	愛光園	栢田 美加子 西 未知子
15			2023年3月16日(木) 14:00～16:00	さくら苑	栢田 美加子 西 未知子
16			2023年3月17日(金) 15:00～17:00	やまぼうし	西 未知子
17	「令和4年度 新型コロナウイルス感染症 対応看護職員研修 軽症～中等症患者 対応研修(一般病棟・入院待機施設用)」 に伴う講師派遣依頼	公益社団法人 和歌山県看護協会	2023年3月17日(金) 13:00～17:00	橋本保健所	栢田 美加子

2022年度 認定・その他学会資格取得者 / 研修修了一覧

	資格・研修修了	主催	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31-R1年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)
1	認定看護管理者ファーストレベル	公益社団法人 和歌山県看護協会・大阪府看護協会	23名	26名	26名	24名	25名
2	認定看護管理者セカンドレベル	公益社団法人 和歌山県看護協会・奈良県看護協会 / 学校法人 藍野大学 キャリア開発・研究センター	11名	11名	11名	10名	11名
3	認定看護管理者サードレベル	公益社団法人 大阪府看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
4	【認定看護師】 感染管理認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	2名	2名	2名	2名	2名
5	【認定看護師】 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
6	【認定看護師】 がん化学療法看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
7	【認定看護師】 皮膚・排泄ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
8	【認定看護師】 緩和ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	2名	1名	1名
9	【認定看護師】 救急看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
10	【認定看護師】 糖尿病看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会				1名	1名
11	【認定看護師】 認定看護管理者	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
12	ACLS プロバイダー (ADVANCED CARDIOVASCULAR LIFE SUPPORT)	NPO 法人 日本 ACLS 協会	2名	3名	3名	3名	3名
13	日本臨床救急医学会認定 ISLS コース	和歌山 ISLS 研究会	23名	25名	30名	23名	21名
14	ICLS (Immediate Cardiac Life Support) 二次救命処置コース	一般社団法人 日本救急医学会	23名	23名	23名	18名	18名
15	災害支援ナース登録者	公益社団法人 和歌山県看護協会	7名	7名	7名	5名	5名
16	近畿ブロック DMAT 技能維持研修	厚生労働省	1名	1名	1名	1名	1名
17	JADM (Japanese Association for Disaster Medicine)	日本集団災害医学会	4名	4名	4名	4名	4名
18	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	2名	3名
19	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	21名	24名	20名	20名	20名
20	医療安全管理者養成研修	一般社団法人 医療の質・安全学会	3名	3名	3名	3名	2名
21	医療安全管理者養成研修 (専門コース)	公益社団法人 全国自治体病院協議会	3名	3名	3名	3名	3名
22	医療安全管理者養成研修 (管理コース・実践コース)	公益社団法人 全国自治体病院協議会	3名	3名	3名	2名	2名
23	医療安全対策に係る研修 (第2回 PSP セミナー)	公益社団法人 日本医療機能評価機構	2名	2名	2名	2名	2名
24	医療安全分科会研修	特定非営利活動法人 日本医療マネジメント学会	1名	1名	1名	1名	1名
25	臨床指導者 (保健師助産師看護師実習指導者講習会)	都道府県知事	21名	21名	19名	21名	21名
26	新人看護職員実習指導者研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	13名	12名	12名	12名	13名
27	看護師特定行為研修	公立大学法人 和歌山県立医科大学 / 公益社団法人 日本看護協会 / 特定行為研修管理委員会		1名	3名	4名	4名
28	和歌山県 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム	和歌山県がん診療連携協議会	5名	5名	5名	4名	4名
29	退院支援看護師養成研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	8名	6名	4名	3名	3名
30	退院支援看護師研修	都道府県知事	3名	3名	2名	2名	2名
31	院内臓器移植コーディネーター	都道府県知事	3名	4名	4名	4名	1名
32	和歌山県院内臓器移植コーディネーター養成研修	公益財団法人わかやま移植医療推進協会	1名	1名	1名	1名	1名
33	栄養サポートチーム専門療法士	一般社団法人 日本静脈経腸栄養学会	1名	1名	1名	1名	1名
34	看護管理者研修「看護管理者のための経営分析セミナー」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	3名	3名	3名	2名	2名
35	看護管理者研修「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」	公益社団法人 和歌山県看護協会・奈良県看護協会	7名	7名	7名	6名	12名
36	看護管理者研修 看護補助者の活用と成長支援	有限会社 ビジネスブレン	6名	6名	6名	6名	6名
37	看護管理研修「看護の評価マネジメント」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	1名	1名	1名	1名
38	看護管理研修「看護における機能連携」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	1名	1名	1名	3名
39	看護管理研修「看護管理 看護ミドルマネジャー研修」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会					2名
40	看護管理者研修「看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修」	公益社団法人 全日本病院協会					2名
41	緩和ケア研修会 (がん診療に携わる医師以外の医療従事者に対する)	都道府県知事	19名	19名	19名	14名	13名
42	緩和ケア研修会 (がん等の診療に携わる医師等に対する)	厚生労働省	5名	10名	9名	10名	10名
43	がん看護専門分野指導者研修	国立研究開発法人 国立がん研究センター	3名	3名	3名	2名	2名
44	がん看護コース (インテンシブ)	7大学連携先端的がん教育基盤創造プラン組織運営委員会	3名	3名	3名	3名	3名
45	がんリハビリテーション研修	和歌山がんリハ研修会実行委員会 / 和歌山県立医科大学附属病院	2名	2名	3名	3名	3名
46	糖尿病重症化予防(フットケア)研修会	公益社団法人 和歌山県看護協会	5名	7名	8名	8名	8名
47	日本糖尿病療養指導士	一般社団法人 日本糖尿病療養指導士認定機構	4名	6名	6名	5名	7名
48	和歌山県地域糖尿病療養指導士 (WLCDE)	和歌山地域糖尿病療養指導士認定委員会	10名	10名	11名	11名	11名
49	フットケア指導士認定セミナー (第8回)	一般社団法人 日本フットケア学会 学術委員会	1名	1名	1名	1名	1名
50	認知症対応力向上研修	厚生労働省	13名	18名	19名	18名	18名
51	認知症高齢者の看護実践に必要な知識の研修	公益社団法人 日本看護協会	13名	13名	13名	10名	12名
52	JASCS 日本禁煙科学会 禁煙支援士	日本禁煙科学会	4名	4名	4名	3名	3名
53	排尿機能検査士	一般社団法人 日本泌尿器科学会学会	1名	2名	2名	2名	2名
54	オムツフィッター (3級)	株式会社 はいせつ総合研究所	2名	2名	2名	2名	1名
55	アドバンス助産師	一般社団法人 日本助産評価機構	4名	4名	4名	4名	1名
56	分娩期の胎児心拍数陣痛図 (CTG)	公益社団法人 和歌山県看護協会				3名	3名
57	フィジカルアセスメント: 新生児のフィジカルアセスメント	公益社団法人 和歌山県看護協会				2名	2名
58	高血圧・循環器病予防療養指導士	高血圧・循環器病予防療養指導士認定委員会		1名	1名	1名	1名
59	3学会合同呼吸療法認定士	3学会合同呼吸療法認定士認定委員会	4名	5名	5名	5名	2名
60	消化器内視鏡技師	一般社団法人 日本消化器内視鏡学会	3名	4名	4名	4名	1名
61	医療リハビリナースセラピスト養成講習会	特定非営利活動法人 日本医療リハビリナース協会	1名	1名	1名	1名	1名
62	関西ストーマケア講習会修了	関西ストーマケア講習会	2名	3名	3名	3名	3名
63	CRC 養成研修会修了	一般社団法人 日本病院薬剤師会	1名	1名	1名	1名	1名
64	弾性ストッキング・コンダクター講習会	日本静脈学会	3名	3名	3名	2名	2名
65	周術期管理チーム	公益社団法人 日本麻酔科学会	1名	2名	2名	2名	1名
66	周術期管理チーム	公益社団法人 日本麻酔科学会	1名	1名	2名	2名	2名

【概要】

今年度も、新型コロナ肺炎の感染に悩まされ、地域の施設・患者にも大きな影響と負担を強いた1年でした。発熱外来の患者数は徐々に少なくなったものの、エントランスでのトリアージに注意を払い対応を継続しています。救急搬送される患者や一般診察に来られる患者の感染対策だけでなく、職員ひとり1人が感染予防・対策に取り組んでいます。

コロナ禍で不安を抱えている患者・家族に対して、症状や訴えだけでなく、患者満足度が向上出来るように、患者の立場になって寄り添い必要な支援を考えています。

スタッフの構成は、看護師長2名・副看護師長1名・主任看護師3名・看護師26名・クラーク17名です。

【外来目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - ①自ら発信し、チーム力向上
 - ②情報共有を活かした安全の確保
 - ③100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
 - ①SPD請求の整理
 - ②教え合い、声かけ合い、皆でチーム力向上
3. 地域医療機関の信頼と満足の向上
 - ①外来受診時に在宅介護の現状を確認
 - ②病院の顔を意識して、相手の立場になった言動をする

【取り組み】

・職種関係なく、社会人基礎力の向上に努めました

5月	・個人情報・プライバシー ・SNSの危ない使い方～こんな投稿していませんか？～	11月	・聴く力～心に寄り添う技術～
6月	・社会人基礎力の基礎	12月	・アサーティブコミュニケーション
7月	・医療安全の基本を知る1 ・医療安全の基本を知る2	1月	・医療従事者のためのアンガーマネジメント
8月	・会議参加の心得	2月	・思考力を伸ばす指導
9月	・感染対策の概要 ・感染対策の具体	3月	・先輩看護師として身につけたい社会人基礎力
10月	・臨床コーチング入門		

・『感染しない!!』『感染拡大させない!!』感染予防の徹底を継続・向上していきます

【今後の課題】

- ・地域・外来・病棟との継続看護につなげるための情報提供と情報共有を意識し、患者支援に努めます
- ・選ばれる病院を目指して、患者に寄り添い、積極的に声をかけ、対話を通して信頼関係を築きます

【概要】

消化器外科28床、脳神経外科12床、泌尿器科7床、総合内科4床、呼吸器内科3床による54床の混合病棟です。急性期から回復期を経て、在宅へ帰られる患者さん・ご家族さんの要望をお聞きしながら、受け持ち看護師を中心に医師・看護師・薬剤師・理学療法士・医療ソーシャルワーカー等の多職種で関わりを持ち、社会復帰や在宅に向けた支援を行っています。またカンファレンスを行いながら手術後、状態に合わせて安全かつスムーズな離床の促進、異常の早期発見や合併症の予防に努めています。

【スタッフ配置】

病棟スタッフ構成は看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師23名、ケアワーカー2名、医療ソーシャルワーカー1名、病棟クラーク1名を含む31名で構成し、ペアナーシングと受け持ち制で看護を展開しています。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 積極的なコミュニケーションの実施
 - ・疑問に思ったら、声に出してお互い確認
 - ・お互い指摘し合える間柄、協力し合える関係を作る
 - 2) 危機意識を持ち、安全意識を高める
 - ・細かい気づきで、インシデント0レベル報告件数アップ
 - ・指さし呼称や6Rの確認の継続
 - 3) 適切な手指衛生と感染対策の実施
 - ・PPEの適正使用に努め、無駄をなくす
 - ・適切なタイミングで手指消毒を行い、感染防止に努める
 - ・毎日の環境整備を確実に（整理・整頓・清掃）
2. 無駄、無理、ムラをなくし、働きやすい環境づくり
 - 1) 看護に対する積極的な意見交換
 - ・ケースカンファレンスを通し、患者さんに寄り添える看護の継続を図る
 - ・ケースカンファレンス結果を患者さんへフィードバックする
 - 2) 業務整理を行い仕事にメリハリ
 - ・ハドル、デブリーフィングの機会を活用し、みんなで協力
3. 地域との連携を図る
 - 1) 入院から退院まで、患者・ご家族のサポートを行う
 - ・入院時から退院を見据えた継続看護を提供できるよう、受け持ち看護師の支援強化

【取り組み等】

病棟内で医師とも相談しながら定期的に勉強会を開催し、専門性の高い看護を提供できるように努力しています。

6月	ヘルニア手術勉強会	9月	緩和について
7月	ドレーン管理について	11月	胃切除術 薬剤の取り扱い勉強会
8月	胆石手術について	12月	退院支援について

【今後の課題】

患者さんが安心・安全で療養生活を送ることができ、できるだけ早期に元の生活に戻ることを目標とし、受け持ち看護師が責任を持って多職種と連携を図りながら患者さんやご家族さんに合わせた看護を提供していきます。

また、専門性を高めていけるよう、より自己研鑽に努めていきます。

【概要】

病棟の紹介（特徴）

産科・婦人科・消化器内科・内科・皮膚科の40床の混合病棟です。病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、助産師12名、看護師8名、看護補助者1名、クラーク1名、外来助産師2名、看護師2名、の30名体制です。産科では、日本助産評価機構より認定を受けた助産師が中心となり、妊娠初期から産後のケアまで、助産外来から病棟へ継続した支援を行っています。婦人科は手術、化学療法を受けられる方、終末期患者さんの看護を行っています。消化器内科では、内視鏡手術を受けられる患者さんが多く、ほぼ毎日内視鏡治療が行われています。7月より内科患者さんの受け入れも行い、多岐に渡る疾患の患者さんの看護を行っています。それらの患者さんを他職種と連携し早期より退院支援に取り組んでいます。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) アクシデント件数を0件にする
 - 2) 0レベル報告数、一人、月に2例以上
 - 3) 週1回の環境ラウンド実施
 - 4) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラを無くし働きやすい職場づくり
 - 1) スケジュール管理の導入
 - 2) ペアナーシング体制の導入
 - 3) 主体的な勉強会の開催
3. 地域医療機関の信頼と満足の上昇
 - 1) 他職種と連携した、患者・家族への退院支援
 - 2) 切れ目の無い、産前・産後ケアの充実

【取り組み・実績】

- ・ ベッドサイドの環境ラウンド
- ・ 感染対策・手指消毒病棟目標値達成・COVID-19陽性妊婦の受け入れ・マニュアルの改訂
- ・ 助産師・看護師協働のためペア体制の導入
- ・ 病棟スケジュールシートを用いて協力体制の確立、業務の効率化
- ・ 橋本市の産後ケア事業として産後ケア対象者の受け入れ
受け持ち助産師による、退院後1週間目の電話訪問の実施
- ・ 手術室と連携し超緊急帝王切開時のマニュアル作成シュミレーションの開催

【今後の課題】

- ・ ゼロレベルの段階での共有、対策を行う・感染対策の継続
- ・ ペア体制、病棟スケジュールシートの継続、確立
- ・ 新人看護師、2年目以降助産師の育成
- ・ 産後うつ軽減にむけての取り組みの継続（助産外来・産後ケア・電話訪問等）

【概要】

4階西病棟は、循環器内科30床、脳神経外科14床、歯科口腔外科4床、代謝内科2床の混合病棟です。心臓・脳血管疾患患者を24時間体制で入院対応しており、歯科口腔外科では、主に手術患者を受け入れています。代謝内科では、糖尿病の教育入院を受けており、多職種が協働してパンフレットに沿った教育を行い、自己血糖測定やインスリン注射の指導も実施しています。

病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師24名、看護補助者2名、クラーク1名の31名体制です。今年度は、前年度の個人スケジュール表の管理に対して、さらに業務の見える化を図り、勤務内での時間管理と業務効率化に取り組みました。また、病棟内でのインシデントの共有、未然に防ぐためのポジティブインシデント報告に力を入れ、医師だけでなく、PT、OT、ST、管理栄養士、MSW、ME等の多職種と連携を図り、安全・安心な看護ケアを実践しました。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 感染対策の遵守
 - ①手指消毒剤使用量の目標値を達成させる
 - 2) 0レベル報告数の目標値達成
 - ①0レベル提出目標を掲げ（30枚月）達成させる
 - ②0レベル内容をスタッフ間で共有する
 - 3) 内服管理の統一化を図る
 - ①病棟薬剤師と協働し、介助薬、持参薬管理を推進する
 - ②確認（照合）、内服確認と入力までの一連の手順を確実にを行う
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
 - 1) スケジュール管理とペア体制の定着化を図る
 - ①スケジュール管理（病棟・個人）の継続と休憩時間の確保の推進
 - ②ペア体制の目的・運用を明確化し実践する
 - 2) スタッフ全員による環境整備と物品管理
 - ①病棟内整理整頓、ベッド周囲環境の整備を図る
 - ②スタッフステーション内の物品管理（ME器機含む）や整理整頓を推進
 - 3) 研修年間計画の実施
 - ①年間計画を立案し、計画に沿って実施する
 - ②看護師講師の研修を計画する
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の上昇
 - 1) 計画的に退院支援を進める

【取り組み】

- ・感染対策では、手指消毒剤の使用量を1患者15回以上を目標にした。日々の手指消毒剤使用量を管理し、毎月使用量を評価しました。目標達成にむけてスタッフ同士声を掛け合い、目標値は達成できています。今後も継続し感染防止につとめます。
- ・インシデント報告数も目標値を決め、毎月評価しました。報告数を掲示し意識が高まるようにしています。今後も同じインシデントがないよう共有します。
- ・個人スケジュール表を基に病棟スケジュールを掲示し業務の見える化することで、助け合いができ、さらに業務の効率化ができています。
- ・医師、看護師が講師となり「脳梗塞」「心不全」「心筋梗塞」などの部署勉強会を開催しました。次年度も年間計画を立案しさらに多くの勉強会を企画しています。
- ・次年度は今年度の取り組みに加え、患者様とともに治療を進めるようパンフレット作成にも取り組みます。

【概要】

4 階東病棟は整形外科47床 小児科3床の混合病棟です。病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師22名、看護補助者2名、クラーク1名の29名体制です。整形外科では24時間体制で外傷により骨折され、主に手術が必要となる患者さんを受け入れています。今年度より48時間以内の大腿骨頸部骨折の緊急手術の体制も始まり、毎日手術に対応できるよう準備を整えています。小児科は、呼吸器疾患を中心に緊急入院の受け入れを行っています。

患者が退院後も安心して生活できるように、病棟スタッフ全員で患者・家族との関わりを大切にし、看護を提供しています。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 速やかな報告、連絡、相談を行う
 - 2) 危険予測から、注意喚起できる環境づくり
 - 3) 適切な感染防止対策
2. やりがいと楽しさが感じられる病棟づくり
 - 1) ムダを省き、効率的な時間活用
 - 2) 積極的な行動、発言をしよう
3. 患者から信頼が得られる病棟
 - 1) 受け持ち看護師の責任を果たす
 - 2) 患者の立場となって考え、寄り添う看護を行う

【病棟の取り組み】

情報共有と看護師が安全で質の高い看護を提供することを目的とし、以下の取り組みを行いました。

- ・ ベッドサイドの環境ラウンド（安全な療養環境の提供）
- ・ 小児科点滴ルート固定方法の変更
- ・ 腓骨神経麻痺予防対策
- ・ 整形外科の勉強会を実施

【今後の課題】

- ・ 今年度の取り組みを定着に向け評価と修正を行い、さらなる充実を図ります
- ・ 受け持ち看護師が責任を持って、退院後を見据えた看護を提供します
- ・ 専門性を高めていけるよう、自己研鑽に努めていきます
- ・ 患者に寄り添い、患者が安心して入院できる療養環境を作ります

【概要】

5階西病棟は、新型コロナウイルス感染症（以後コロナと略す）患者を受け入れるようになり、3年目となりました。第8派の到来により、和歌山県下から多数のコロナ患者様を受け入れ、看護を行ってまいりました。当病棟では、情報共有のため、毎朝患者の病状について、医師・理学療法士・ソーシャルワーカーを交えたカンファレンスを継続して行い、コロナ患者様の病態把握や起こりうる合併症、治療方針、他院後を見据えた関わりを早期から行い、治療後には入院前の生活に戻れるよう援助してまいりました。また、感染拡大防止の観点により、面会禁止となっていることから、患者様、家族様の不安を少しでも軽減していただけるよう、医師・看護師が患者様の病状やご様子について、随時、電話での連絡をさせていただき家族様の心理的、精神面のサポートも行うよう心がけています。

【スタッフ配置】

病棟スタッフ構成は、病棟看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師1名、看護師10名、ケアワーカー1名、病棟クラーク1名の構成である。

コロナ患者対応病棟として、疾患の理解とそれに応じた患者観察には、スタッフ同士の連携と多職種を交えた日々のカンファレンスで、個別に応じた看護を提供できるようにしています。

【病棟目標・取り組み】

『医療の質と安全の向上』

1. 自ら発信
 - 1) 情報発信：ブリーフィング・ハドル・デブリーフィングでは、自分が得た情報を発表する
 - 2) 情報共有を活かした安全確保
ベッドサイドの危険因子に気づきは必ず報告
2. 無駄・無理・ムラなくし、働きやすい職場づくり
 - 1) 業務内容を見直し、業務改善を行う
「クリニカルパス：COVID19陽性患者入院用」を作成し、入院対応は時間短縮となり患者受け入れがスムーズになる。
3. 感染症患者対応・業務マニュアルの作成と周知徹底
 - 1) 日々変更されCOVID19対策のマニュアルは、変更した内容をわかりやすく紙面におこし、スタッフが周知するまで、スタッフステーション内に掲示
 - 2) 既存のマニュアルは、適宜見直しを行い修正
4. スタッフ主体となる勉強会を実施しスキルアップ（2ヶ月に1回）
 - 1) 疾患について2ヶ月/1回：ナースィングスキル併用（課題視聴100%）
 - 2) 院内、院外研修参加者からの研修の学びを伝達

【概要】

5 階東病棟は、地域包括ケア病棟として49床（内眼科8床）で運営しています。急性期病棟から患者を受け入れ、リハビリや在宅への生活復帰支援と、直接地域からの入院患者の受け入れを行い、その方に適した療養が受けられるように退院支援を行っています。主に整形外科術後の方や、内科、呼吸器疾の方が入院されています。7月からは眼科の白内障患者の受け入れを行い、クリニカルパスを用いて安心して手術を受けていただけるように努めています。

看護師配置13:1、看護補助者配置25:1で、看護を提供しています。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 基本的な言葉使いや対応ができる
 - 2) 安全ラウンドを実施し、危険予知能力を高める
年に3回担当者を決めKYTを実施する
 - 3) 感染委員が中心となり、感染対策の徹底
 - 4) 0レベルを記入することで、気づく視点を養う
月に一人2枚以上の0レベル提出を目標とし達成する
 - 5) 眼科患者受け入れの為、勉強会を実施し安全に手術を受けられる体制の構築
手順書を作成、7月までに体制を整える。
 - 6) 勉強会を適宜実施する
事例検討や倫理カンファレンスを計画的に実施する
2. 無理・無駄・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
 - 1) 看護師及びケアワーカーの業務内容が見える化し、協力し時間管理が行える
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
 - 1) 患者の退院後の生活を見据え、情報提供先に必要な情報を提供できるサマリーを記載する
 - 2) 面会制限中は受け持ち看護師が定期的に患者家族に患者状況の連絡を行う

【病棟の取り組み】

1. 眼科白内障の手術患者の受け入れを行い勉強会実施。手順書等の作成。
2. 院外からの患者の受け入れ準備
3. ベッドサイド環境ラウンドの実施
4. 定期的に倫理カンファレンスの実施
5. KYT（事例検討）・疾患の勉強会を実施。
6. MSW・理学療法士・他職種の方・地域の方々との積極的なカンファレンスの実施

【今後の課題】

- ・受け持ち看護師が他職種と連携して、責任を持って退院支援を行う
- ・看護師・ケアワーカーが共同して患者を受け持ち患者支援を行う
- ・定期的な倫理カンファレンス・ケースカンファレンス・勉強会の実施

【概要】

主に呼吸・循環管理が必要な急性期疾患や意識障害、重篤な代謝障害、開頭・開腹手術や全身麻酔後の患者等、24時間体制で受け入れて看護を展開しています。2022年度は、1日平均患者数442名であり、看護必要度は全ての月で80%以上を達成していました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1日平均患者数 *退室日含まない	3.97	5.29	3.97	5.03	3.71	3.90	4.23	4.33	5.16	4.90	4.89	3.65	4.42
看護必要度 80%以上でクリア	85.7	89.6	84.9	89.7	86.1	80.3	90.1	80.8	83.8	84.9	89.4	84.1	

【看護職員の構成】

副看護部長 1名、副看護師長 1名、主任看護師 1名、看護師 11名
4対1の看護体制により、患者の安全管理を主とした安心・安楽な看護に努めています。

【HCU目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 情報共有をいかした安全の保証
 - ・確認行為の徹底、ブリーフィング等での情報共有や情報発信をおこなう。
 - ・ゼロレベルを1人3枚/月は提出し、インシデント発生後はタイムリーな報告と振り返りを行う。
 - 2) 100%の感染対策
 - ・「5つの場面」での手指衛生や防護具適正使用により感染予防に努める。
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
 - 1) 業務内容を改善し効率よい時間管理
 - 2) 教え合い、声掛けあい、皆でチーム向上
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
 - ・退院支援に繋げる記録（看護サマリも含め）、多職種とのカンファレンスの実施

【取り組み】

病棟スケジュール管理による業務調整、院内留学受け入れ対応マニュアル作成
カンファレンスの開催、医師や他職種との連携による看護実践
フィジカルアセスメント能力の向上に向けた定期的な勉強会開催

【今後の課題】

重症患者に対応するための看護実践能力を高めることが必要である。自己研鑽に努めるだけでなく、多職種との連携や、医師との連携を行うことで日々の看護の振り返りと評価を行い、その能力を高めるように努めていきたい。また、入院時より退院の方向性を見据えて患者・家族との関わりを持ち、安心・安楽な看護を提供できるよう努める。

【概要】

手術室は5ルームあり、消化器外科、整形外科、脳神経外科、眼科、産婦人科、心臓血管外科、泌尿器科、歯科口腔外科の手術を行っています。今年度の手術件数は、2,433件、全身麻酔症例893件（下記表参照）でした。手術体制は365日24時間待機体制をとり、日常から中央材料室と連携して予定手術だけでなく緊急手術に対応しています。

スタッフは、副看護部長1名、主任看護師2名、看護師9名、臨床工学技士2名で構成され、患者に安全な医療・看護を提供するため情報共有を密に行い対応しています。また、COVID-19陽性患者の緊急手術に備えてマニュアル作成やPPEを含む物品を配置し、実際に陽性患者の手術に対応しました。

令和4年度手術件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
待機	144	187	216	175	179	183	203	175	182	196	194	220	2,254
緊急	10	17	24	19	12	15	11	14	13	12	13	19	179
合計	154	204	240	194	191	198	214	189	195	208	207	239	2,433
全麻	56	84	83	73	67	73	67	83	73	79	79	76	893

【目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 自ら発信
 - 2) 情報共有を活かした安全の確保
 - 3) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場作り
 - 1) 業務改善と時間管理
 - 2) お互い声を掛け合い、活気ある職場づくり

【部署の取り組み】

- ・超緊急帝王切開術対応マニュアル作成、シミュレーション開催
- ・SSI予防のための外科閉創セットの作成・使用、評価
- ・業務改善：リーダー、スタッフの役割の見直しと実践
- ・COVID-19陽性患者対応マニュアルと実践

【今後の課題】

- ・前年度に引き続き、各取り組みを継続してさらなる改善を図る。
- ・新メンバーの育成と各自の自己研鑽を推進する。
- ・手術室、中央材料室共に、ロボット手術導入に向けた準備をすすめていく。

VI 診療技術部紹介

VI 診療技術部紹介

薬剤部

臨床検査科

放射線科

臨床工学科

リハビリテーション科

栄養管理科

歯科技工室

地域医療部

医療安全管理部

【概要】

1. 薬剤部の理念

- (1) 薬の知識を活用し公衆衛生の保持および増進に寄与し、地域住民の健康と利益を支えていく。
- (2) 専門職能を生かしチーム医療に貢献する。

2. スタッフ

薬剤部長 : 齊藤 喜宣
 主 任 : 小山 恵理、井上 裕子、宮本 賢典、木村 ナオ子、村田 典代
 指 導 員 : 北島 正大、西 千尋、松山 真範、森崎 潤瑩
 薬 剤 師 : 三星 マヤカ、朝倉 瑞季、畑中 星輝、落合 知実、西之坊 実里
 李 美和 (派遣)、杉本 楓夏 (派遣)、平松 侑奈 (派遣)
 助 手 : 西田 祐子、織田 和隆、海堀 智子、得原 かなこ

薬 剤 師……………計18名 (常勤 15名、派遣 3名)

助 手……………4名

3. 主な業務と取り組み

- (1) 電子カルテ・調剤部門システムを含むマスタ管理業務
- (2) 全入院患者への一包化調剤業務
- (3) 注射剤の個別払い出し調剤業務
- (4) 医薬品安全管理業務
- (5) 麻薬・覚醒剤原料・毒薬・向精神薬・血液製剤等管理業務
- (6) 医薬品情報提供業務
- (7) 中心静脈栄養および抗悪性腫瘍注射薬の混合調製業務
- (8) 入院・外来患者への薬剤管理指導業務
- (9) 入院患者の持参薬調査および報告業務
- (10) 各種チーム医療への参画
- (11) 適切な薬物治療を提供するための病棟薬剤業務
- (12) COVID治療薬の管理およびワクチン集団接種の調製業務

【実績】

1. 2022年度 薬剤管理指導統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総指導人数	348	422	448	412	373	402	415	438	425	421	429	462	4,995
服薬指導件数	642	726	799	737	669	765	758	811	798	832	786	855	9,178
ハイスク指導件数	242	247	278	309	304	321	289	302	322	353	305	341	3,613
通常指導件数	336	426	438	354	314	383	409	449	405	426	399	431	4,770
麻薬指導件数	9	5	2	8	6	10	3	1	6	9	10	13	82
退院指導件数	156	178	200	185	135	157	165	194	194	179	168	199	2,110
外来がん指導3件数	7	4	8	4	4	5	5	9	7	11	8	3	75

2. 2022年度 TDM件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
VCM	7	5	15	15	10	14	9	16	34	20	2	8	155
TEIC	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
GM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5

3. 2022年度 無菌製剤調製件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TPN	2	12	6	3	3	0	16	26	9	5	47	12	141
抗がん剤(入院)	11	7	11	27	33	28	11	12	18	24	16	24	222
抗がん剤(外来)	108	110	121	117	113	126	111	120	123	120	110	135	1,414

【今後の課題】

- ① 入院患者に適切な薬物治療を提供するため、引き続き病棟薬剤業務を実施する体制を整える。
- ② チーム医療に積極的に参加し NST・糖尿病・がん薬物療法・感染対策・緩和・腎臓・医薬品情報等の認定薬剤師制度や専門薬剤師制度などの取得をバックアップする。
- ③ 医薬品安全管理の観点から医師・看護師・他のコメディカルや患者に適切な情報提供を行い、各診療ガイドライン等に基づき医薬品の適正使用に貢献できる業務を展開する。
- ④ 腎機能低下時・肝機能低下時・高齢者などの投与量の減量が必要な患者に対しては、ポリファーマシーの観点に注目しながら適切な処方提案を実施する。
- ⑤ 薬品購入に際して購入方法の見直しを含め、医薬品採用品目の適正化を図り、院内採用薬で代用可能な薬剤の処方提案を推進するとともに適切な在庫量の維持に努める。また、フォーミュラリの実施も推進していく。
- ⑥ 医薬品の供給不足（特に後発品）を予防するために情報収集を行い、早期対応に取り組み医薬品の安定供給に努める。
- ⑦ 実務実習生を継続して受入れ薬剤師の育成に貢献する。
- ⑧ 適宜、部内研修会を行い、薬剤師の知識レベルの向上をはかる。

業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年11月	第27回和歌山県病院協会学術大会	硬膜外PCAポンプにおける疼痛コントロール調査	三星 マヤカ	薬剤部 (河崎 尚史、村田 典代)	和歌山市
2	2022年11月	第60回全国自治体病院学会 in 沖縄	カルボプラチン脱感作療法を経験して	宮本 賢典	薬剤部 (井上 裕子、森崎 潤瑩)	那覇市
3	2023年1月	令和4年度スキルアップ研修会	エンレスト導入による血圧変化の調査	朝倉 瑞季		和歌山市
4	2023年1月	令和4年度病薬連携研修会	免疫チェックポイント阻害薬について	森崎 潤瑩		WEB開催

参加した学会・研修会等

年月	学会・研究会名	参加者	開催都市
2022年10月	第29回医療安全管理に関する研修会	小山 恵理	WEB開催
2022年11月	第27回和歌山県病院協会学術大会	三星 マヤカ、村田 典代、齊藤 喜宣、小山 恵理	和歌山市
2023年1月	令和4年度スキルアップ研修会	朝倉 瑞季、村田 典代、齊藤 喜宣、小山 恵理	WEB開催
2023年1月	令和4年度きのくにがん薬物療法チーム研修会	小山 恵理	WEB開催
2023年2月	近畿薬剤師合同学術大会2023	小山 恵理	WEB開催
2023年3月	日本臨床腫瘍薬学会学術大会 JASPO 2023	井上 裕子 (現地)、宮本 賢典 (WEB)	名古屋市
2023年3月	第13回南大阪・紀北NST研究会	木村 ナオ子	WEB開催

実施した部内研修会等

年月	研修テーマ名	参加者	開催場所
2022年6月	慢性心不全について	薬剤師10名	当院薬剤部内
2022年6月	癌疼痛について	薬剤師9名	〃
2022年6月	癌治療におけるAEマネジメントについて	薬剤師9名	〃
2022年7月	片頭痛治療について	薬剤師11名	〃
2022年7月	酒さ治療について	薬剤師7名	〃
2022年10月	血友病について	薬剤師7名	〃
2022年10月	心不全について	薬剤師9名	〃
2022年10月	睡眠薬について	薬剤師9名	〃
2022年10月	脳血管障害について	薬剤師12名	〃
2022年11月	抗がん剤の後発品 (バイオシミラー) の考え方	薬剤師4名	〃
2022年11月	心不全について	薬剤師11名	〃
2022年11月	手術時の腫瘍の可視可剤について	薬剤師10名	〃
2023年2月	肝細胞癌について	薬剤師8名	〃
2023年3月	乾癬治療について	薬剤師10名	〃
2023年3月	片頭痛治療について	薬剤師5名	〃
2023年3月	前立腺癌治療について	薬剤師12名	〃

【1. 概要】

臨床検査科は「検体検査部門」「生理検査部門」「病理検査部門」「細菌検査部門」「中央採血室」で構成されています。スタッフ個人を診療部門に向けた役割で置き換えると、『チーム医療に参画し直接関わる臨床検査技師』『組織運営の中で各種委員会に属する臨床検査技師』『科内各部門で医師や看護師からの相談や質問に応える臨床検査技師』『本業である検査情報の提供を実践する臨床検査技師』となります。臨床検査科ではそれぞれの役割を認識してレベルアップを図り、且つ科内・科外とも連携できる組織を構築し、目標を達成できるよう努力しています。

【2. 人員配置】

○検体検査部門	5名
○生理検査部門	5名
○病理検査部門	3名
○超音波検査室	1名
○細菌検査部門（委託）	3名
○中央採血室看護師	3名
○採血室および生理検査受付事務	2名

【3. タスクシフト / シェアに関する内容】

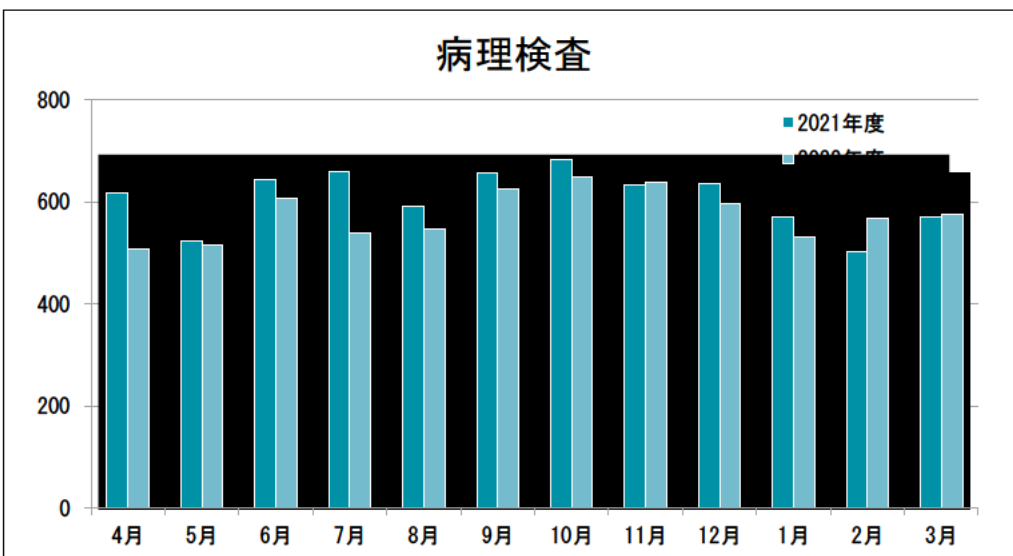
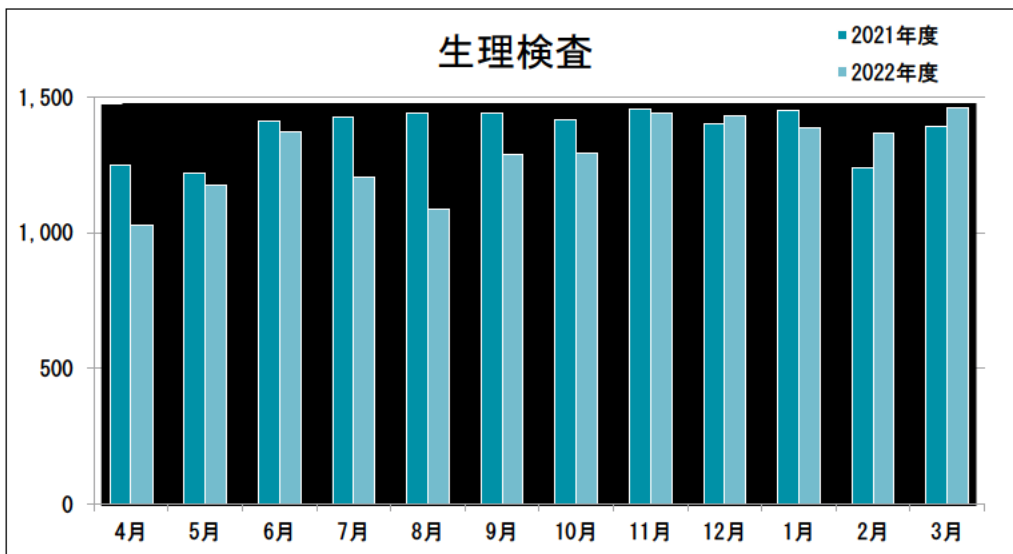
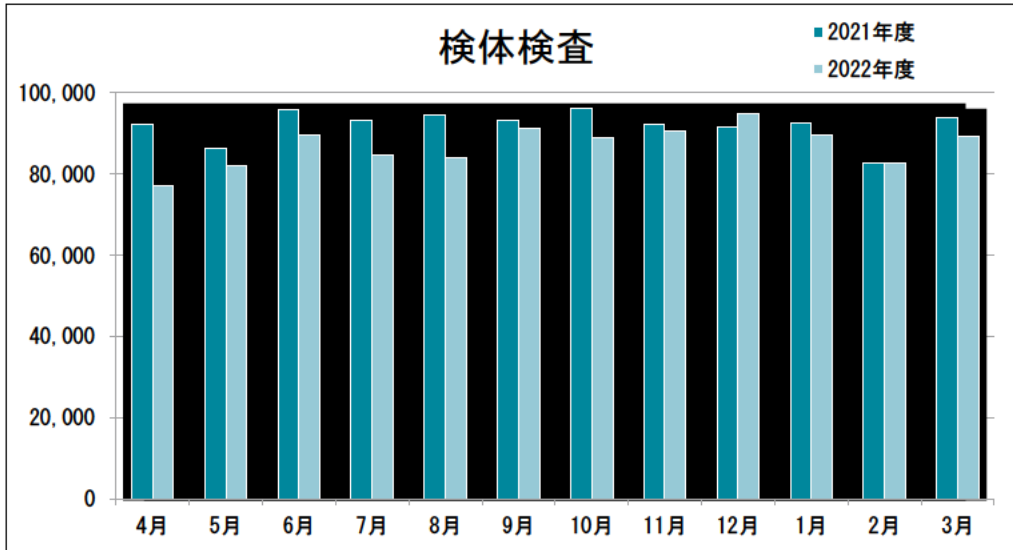
医師の働き方改革に伴い臨床検査技師の業務範囲が拡大され、本年より座学および実技研修会が開始されました。内容は下記の通りで、現在当科臨床検査技師全員が資格取得を目指しています。

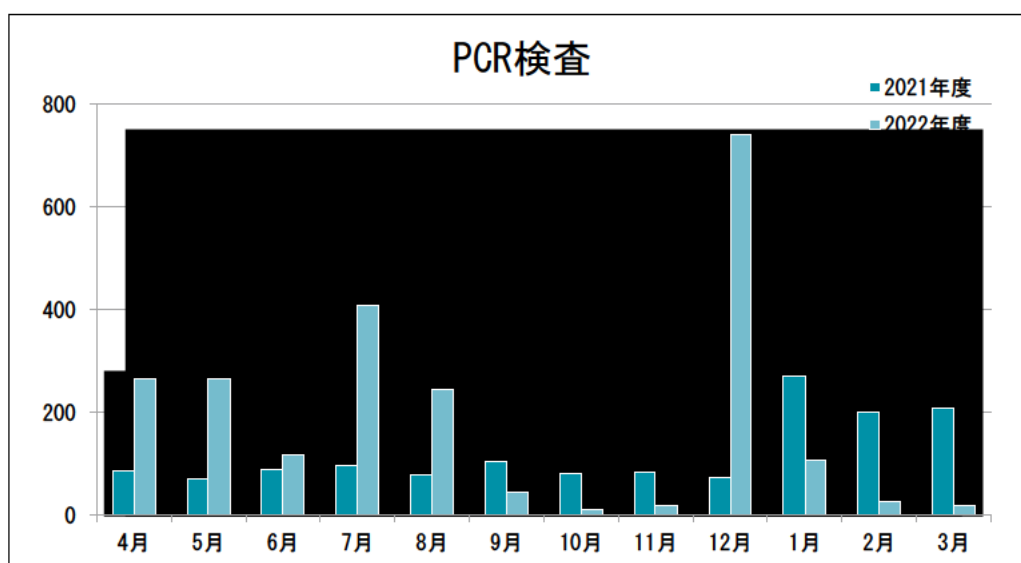
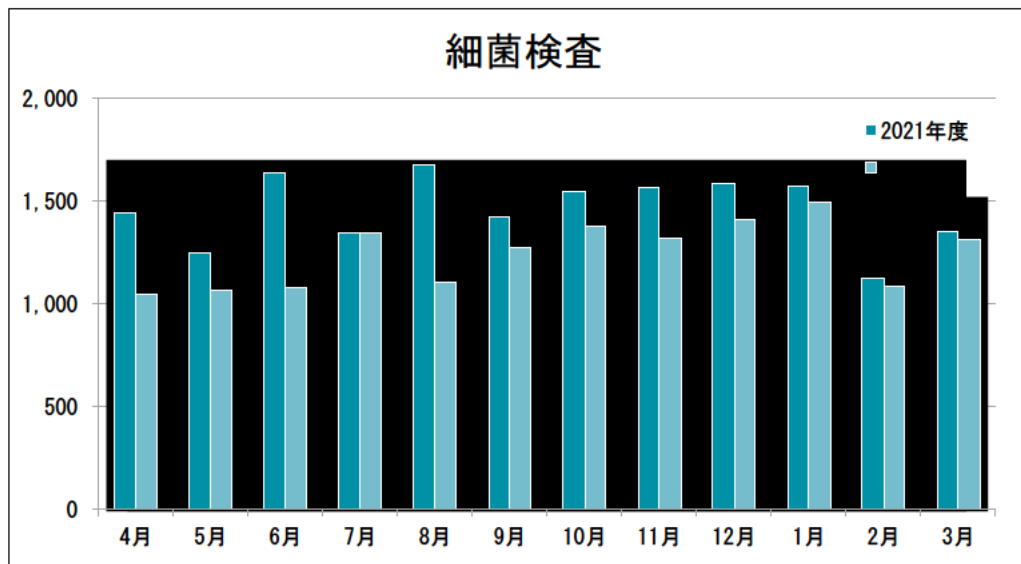
- ①臨床検査技師が実施可能な検体採取として、次に掲げるものが追加された。
（臨床検査技師等に関する法律施行令第8条の2の改正）
 - ア 医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為
 - イ 内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為
これに基づき、臨床検査技師がア及びイに掲げる行為を行う場合は、医師又は歯科医師の具体的な指示の下に行う必要があること。
- ②臨床検査技師が実施可能な生理学的検査として、次に掲げるものが追加された。
（臨床検査技師等に関する法律施行規則第1条の2の改正）
 - ア 運動誘発電位検査に係る電極(針電極を含む)の装着及び脱着
 - イ 体性感覚誘発電位検査に係る電極(針電極を含む)の装着及び脱着
 - ウ 持続皮下グルコース検査(当該検査を行うための機器の装着及び脱着を含む)
 - エ 直腸肛門機能検査(バルーン及びトランスデューサーの挿入(バルーンへの空気の注入を含む)並びに抜去を含む。)
- ③臨床検査技師の業務に、採血、検体採取又は生理学的検査に関連する行為として厚生労働省で定めるもの(医師又は歯科医師の具体的な指示を受けて行うものに限る。)が追加された。これに伴い、改正省令により、この厚生労働省令で定める行為として、次に掲げるものが定められた。
（臨床検査技師等に関する法律施行規則第10条の2として新設）
 - ア 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為
 - イ 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為(電解質輸液の点滴を実施するためのものに限る。)
 - ウ 採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為
 - エ 超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為(静脈路に造影剤注入装置を接続するために静脈路を確保する行為についても、「静脈路に造影剤注入装置を接続する行為」に含まれる。)

【4. 外部精度管理調査結果】

- ①令和4年度日臨技サーベイ：98.7点
- ②令和4年度日本医師会サーベイ：94.0点
- ③令和4年度和臨技サーベイ：97.4点

【5. 検査実績】





業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年5月	第71回日本医学検査学会	イノシシ咬傷から検出された Lancefield の A 群を保有する <i>Streptococcus suis</i> の一例	長谷川 祐紀	大田 孝介・秋田 豊和	大阪府
2	2022年7月	第52回レンサ球菌研究会	イノシシ咬傷から検出された Lancefield の A 群を保有する <i>Streptococcus suis</i> の一例	長谷川 祐紀	大田 孝介・秋田 豊和	仙台
3	2022年7月	第52回レンサ球菌研究会	新菌種の信頼性向上に向けて	秋田 豊和	長谷川 祐紀・大田 孝介	仙台
4	2023年2月	令和4年度和歌山県精度管理調査報告会	免疫分野の結果と総括	前原 純		和歌山県

講演会

No	発表月	会名	演題名	演者	開催都市
1	2022年5月	第1回生物化学分析班研修会	当院での精度管理の現状	前原 純	Zoom

1. 【概要】

放射線科では様々な大型医療機器を搭載する中で、各診療科の一助として画像提供を行っています。装置ごとの医療安全の確保と専門性を高めると共に、認定資格を所有したSTAFFを装置責任者として配置しています。

『理念』

- ・よりよい画像情報を提供します
- ・安心して、安全に検査を受けてもらえるよう心がけます
- ・待ち時間の短縮など、サービスの向上に努めます

『行動指針』

- ・はっきり わかりやすく話す
- ・相手の気持ち 立場に立って行動する
- ・不安を取り除き、緊張をほぐしてあげる

2. 【STAFF】

技師長：藤本 佳文

副技師長：三木田 正夫

主任：新田 伸一・小坂 将弘・森本 拓也・宮田 政明
：武田 有紀・西村 一真・森本 勝士

技師：阿比留 功大・小坂 恵子

専属看護師：1名

助手：1名

【有資格】

- ・日本血管撮影インターベンション専門診療放射線技師
- ・日本磁気共鳴専門技術者
- ・検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
- ・日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
- ・X線CT認定技師
- ・救急撮影認定技師
- ・日本診療放射線技師会 アドバンス診療放射線技師
- ・放射線機器管理士
- ・医用画像情報管理士
- ・放射線管理士
- ・第1種放射線取扱主任者
- ・塩化ラジウム注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習修了
- ・医療安全管理者（日本医師会医療安全推進者養成講座修了）

3. 【実績】

年々需要が高まるマンモグラフィや乳房MRI撮影に対して、女性技師が対応することにより検査・検診への抵抗を可能な限り取り除くよう努め、選ばれる病院を目指しています。

また、各検査に於いても高度な専門性が求められる傾向にあり、各種研修会等への参加および専門資格（認定技師）の取得など、積極的な取り組みを行うと共に、情報を共有し的確な画像提供を行える状況と環境を整備しています。

2022年度 放射線科実績（検査件数）・放射線治療（新患者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般撮影	1,351	1,510	1,618	1,445	1,256	1,501	1,479	1,551	1,523	1,552	1,661	1,664
C T	848	1008	1,005	976	893	1,036	940	1,012	1,171	1,022	955	994
CT (外注件数)	23	32	38	37	22	25	43	35	29	28	27	25
M R I	314	347	414	358	365	406	364	375	367	327	354	369
MRI (外注件数)	34	39	45	34	25	54	39	36	22	25	20	24
T V	70	91	108	90	86	93	87	148	112	76	86	52
Angio	27	43	43	31	37	45	52	51	48	45	46	56
マンモ	56	53	89	78	112	93	104	117	110	83	108	38
歯科撮影	71	69	99	73	67	74	78	94	62	77	71	81
骨塩	42	33	46	50	45	46	32	45	39	24	26	38
ポータブル	115	151	148	148	150	173	207	231	217	261	213	199
核医学検査	23	19	21	17	21	20	23	16	30	20	23	17
放射線治療	79	200	159	203	103	0	0	0	0	0	0	196

4. 【今後の展望と課題】

2022年度内に放射線治療装置の更新が決定しており、これまでのコンベンショナルな治療だけにとどまらず、定位照射（以下＝SRT）や画像誘導放射線治療（以下＝IGRT）といった高精細な放射線治療が可能となります。

SRTでは、病巣部に集中したピンポイント照射が可能で、脳腫瘍への治療効果はガンマナイフに匹敵するものです。体幹部においても3cm以内の肺癌や肝癌では手術に匹敵する局所制御率が得られているとも言われています。

またIGRTでは、治療装置に併設されたイメージャーやコーンビームCTによって、照射直前に治療部位の画像を確認して照射を行うことが可能となり、より精度の高い治療を提供できるものとなっています。

将来的には強度変調放射線治療（IMRT）への対応も可能な装置となっており、地域外の病院へ足を運ぶことなく、地元で高精度な放射線治療を受けていただけることを目指しています。

参加した学会・研修会等

年月	学会・研究会名	開催都市
2022年4月	第78回日本放射線技術学会総会学術大会	WEB
2022年6月	和歌山県技師会 告示研修会	和歌山県
2022年6月	第91回北海道MRI画像研究会	WEB
2022年6月	第7回山形MRI技術研究会	WEB
2022年6月	医療安全セミナー（日本放射線治療専門放射線技師認定機構主催）	WEB
2022年6月	第10回MRI循環器撮影研究会	WEB
2022年6月	和歌山県技師会 第1回研修会	和歌山県
2022年7月	第14回東京CTテクノロジーセミナー学術集会	WEB
2022年7月	放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー	和歌山県
2022年7月	第18回新潟CTテクノロジー研究会	WEB
2022年7月	第50回神奈川MRI技術研究会	WEB
2022年8月	第38回MR研究会	WEB
2022年8月	第19回関西キャノンCTユーザー会	WEB
2022年9月	第151回放射線治療かたろう会	WEB
2022年9月	第38回日本診療放射線技師学術大会	WEB
2022年9月	第114回奈良県MRConference定例研修会	WEB
2022年10月	第51回神奈川MRI技術研究会	WEB
2022年10月	第36回岩手MRI研究会	WEB
2022年10月	和歌山県技師会 告示研修会	和歌山県
2022年10月	和歌山県技師会 第2回研修会	和歌山県
2022年10月	第1回神戸MRの会	WEB
2022年10月	第39回滋放技MRI研究会	WEB
2022年11月	第2回和歌山MRサロン	WEB
2022年11月	第19回放射線治療かたろう会システム研究分科会	WEB
2022年11月	第108回関西MRI技術研究会	WEB
2022年11月	第4回愛媛MRI研究会	WEB
2022年11月	和歌山県肺がん検診従事者研修	和歌山県
2022年12月	第13回日本磁気共鳴専門技術者認定機構 医療安全セミナー	WEB
2023年1月	第52回神奈川MRI研究会	WEB
2023年1月	第39回日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構主催セミナー	WEB
2023年1月	日本消化器がん検診学会 近畿地方会	奈良県
2023年2月	第74回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	東京都
2023年2月	第54回CT画像研究会	WEB
2023年2月	医療機関の放射線業務従事者のための放射性同位元素規制法講習会	WEB
2023年3月	和歌山県技師会 第3回研修会	和歌山県
2023年3月	第113回南大阪MRI研究会	WEB
2023年3月	第65回滋賀MRI研究会	WEB
2023年3月	第153回放射線治療かたろう会	WEB

1、概要

2005年度臨床工学科新設

2015年度4月より業務拡大の1つとして、内視鏡業務開始

2016年度4月より手術室業務開始

それに伴いスタッフ増員し、現在ME業務4名、手術室業務3名（専従）体制で業務を実施

【理念】

ME機器を安全かつ効率よく使用できる環境を整える

チーム医療に参加し、医療の質を上げる

【スタッフ】

ME業務	小嶋 宏之	手術室業務（専従）	宮本 征士
	田嶋 勇介		岩谷 亮佑
	西 真吾		松本 拓巳
	皿谷 悠之助		

【業務内容】

（カテ室業務）

心臓カテーテル検査およびPCIにおけるポリグラフ及び周辺機器の操作、使用する医療材料の取り扱い。

永久ペースメーカー植込み時のプログラマー操作

（手術室業務）

各科手術機器の操作。

専従技士による手術介助業務（直接・間接）

注 手術室業務実績は下表【実績】には件数は入っていません

（血液浄化業務）

病棟における持続血液濾過透析をはじめとする各種血液浄化法の実施。

（人工呼吸器管理業務）

院内で使用する人工呼吸器の保守及び点検業務。

（医療機器管理業務）

人工呼吸器（13台）、輸液ポンプ（136台）、シリンジポンプ（78台）、低圧持続吸引器（14台）などの機器を効率よく使用できるよう中央管理を行う。院内の医療機器の管理台帳を作成し各ME機器の保守点検及び修理業務の管理。

（ペースメーカー外来）

毎月ペースメーカー外来日を設け、定期的にペースメーカーチェックを行う。

（在宅呼吸療法）

在宅での呼吸療法で使用する機器の手配、使用説明およびその指導、管理。

（内視鏡業務）

内視鏡室での検査・治療の補助及び機器の洗浄・管理を行う。

小腸カプセル内視鏡検査の準備・装着・回収・解析記録の処理を行う。

2、実績

2022年度臨床工学科実績

(数字は件数)

		2021年度	2022年度	
臨床業務	カテ室業務	P C I	157	153
		心カテ	125	80
		その他	349	390
	内視鏡業務※	内視鏡	3791	3,052
		カプセル	7	7
	病棟業務	C H D F + H D	9	7
		その他	95	114
ペースメーカーチェック		362	368	
呼出件数		49	41	
修理・点検業務	修理業務	278	190	
	点検業務	1,248	1,024	
合計		6,470	5,426	

3、今後の展望と課題

今後、ますます医療が発達しそれに伴い新しい医療機器を使用する治療が増えてきます。それらの機器を安心・安全に使用できるよう、研鑽に努めていきたいと思いを。また、ME機器の更新についても積極的に関わっていききたいと思いを。

【概要】

リハビリテーション科は、基本的動作能力の回復等を目的とする理学療法、応用的動作能力、社会的適応能力の回復等を目的とした作業療法、言語聴覚能力や摂食嚥下機能の回復等を目的とした言語聴覚療法等の治療法より構成され、いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として行われます。それぞれ理学療法士（PT）23名、作業療法士（OT）4名、言語聴覚士（ST）3名が携わっており、その役割は入院後や発症早期からの急性期リハビリテーションを担い、ベッドサイドからの介入により早期離床、廃用症候群の予防を行い、日常生活動作の早期再獲得をめざすことです。リハビリ対象疾患は、高齢化や複数の疾患障害を持つ方も多く、運動器疾患や脳血管疾患に加え、循環器疾患や内科・外科の内部障害、がん患者へのリハビリテーションなどです。

地域の回復期リハビリ医療施設あるいは介護保険下の療養施設や老人保健施設と連携して、適切な転院を模索することで役割を明確にした効率的なリハビリ医療を行っています。一部運動器疾患を中心に退院後も必要に応じて外来での継続的なリハビリも提供しています。

また、和歌山県立医科大学リハビリテーション科より週一回医師を招請し臨床場面においてアドバイスをいただいています。

<施設基準>	<有資格者>
・運動器リハビリテーション（Ⅰ）	・3学会合同呼吸療法認定士：6名
・脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）	・がんのリハビリテーション研修修了者：17名
・呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）	・地域包括ケア推進リーダー：3名
・がん患者リハビリテーション	・介護予防推進リーダー：3名
・心大血管疾患リハビリテーション（Ⅰ）	・和歌山県糖尿病療養指導士：2名
・廃用症候群リハビリテーション（Ⅰ）	・リンパ浮腫療法士：1名
	・医療安全管理者：1名
	・心不全療養指導士：1名

【スタッフ紹介】（2022年4月）

理学療法士23名			作業療法士4名	言語聴覚士3名
梶木 重裕	松田 恒輝	尾家 千尋	水野 恵子	坂井 俊文
浅倉 洋司	阪部 陸	則岡 優佑	汐崎 敦子	木村 奈央実
吉岡 徹	左海 登子	中谷 竜也	佐藤 将人	岩橋 幸奈
松本 隆幸	兼井 奈保	橋角 亮佑	大原 元	
内田 利加	井向 博信	大江 光司		
松島 宏治	濱田 知也	中西 翔大		
菅野 徳央	佐本 善紀	浅野 佑太		
小原 準矢	櫻井 諒			

【科の取り組み】

・理学療法部門

病気やケガ等により身体に障害を来した患者さんの基本的動作能力（寝返り・起き上がり・座る・立つ・歩く）の維持・回復を主な目的としての運動療法（関節可動域運動・筋力増強運動・基本動作練習等）に加え、日常生活に必要な日常生活動作練習を行うことによりADL・QOL向上を目的に寝たきり予防、家庭復帰、社会復帰をめざしています。

リハビリ実施患者数

疾患別	2021年度	2022年度
運動器疾患	12,218	12,909
脳血管疾患	5,366	7,790
廃用症候群	9,348	9,014
呼吸器疾患	2,981	3,944
心大血管疾患	2,756	2,359
がん疾患	1,691	1,605
合計	34,360	37,621

※増減率 9.5%

疾患別リハ実施単位数

疾患別	2021年度	2022年度
運動器疾患	20,526	21,678
脳血管疾患	8,275	12,301
廃用症候群	12,358	11,596
呼吸器疾患	3,889	5,155
心大血管疾患	4,042	3,362
がん疾患	2,258	2,298
合計	51,348	56,390

※増減率 9.8%

・作業療法部門

上肢や手指の運動機能回復、着替え・トイレといったような日常生活動作練習、家事・職業など生活関連動作練習、認知・注意・記憶力などの低下といった高次脳機能障害に対するアプローチを行っています。また、手の装具の製作や自助具の紹介・製作、福祉用具や家屋改造の相談なども行っています。

リハビリ実施患者数

疾患別	2021年度	2022年度
運動器疾患	3,625	4,177
脳血管疾患	3,066	3,526
廃用症候群	1,196	307
呼吸器疾患	93	48
心大血管疾患	0	0
がん疾患	64	0
合計	8,044	8,058

※増減率 0.2%

疾患別リハ実施単位数

疾患別	2021年度	2022年度
運動器疾患	5,112	6,674
脳血管疾患	5,198	5,708
廃用症候群	1,856	607
呼吸器疾患	132	69
心大血管疾患	0	0
がん疾患	121	0
合計	12,419	13,058

※増減率 5.1%

・言語聴覚療法部門

脳卒中後遺症により話す、聴く、書く等が困難となる失語症、麻痺で正しく発音ができない構音障害に対しコミュニケーション能力向上、記憶力や判断力の低下などの高次脳機能障害を対象とします。また、飲み込むことが困難となる嚥下障害に対しても口から食べることを目標として評価・訓練・指導を行います。摂食嚥下障害に対するニーズが高く各診療科から依頼があります。

リハビリ実施患者数

疾患別	2021年度	2022年度
脳血管疾患	2,921	3,302
廃用症候群	5	685
呼吸器疾患	837	928
がん疾患	0	0
摂食機能療法	3,039	1,887
合計	6,802	6,815

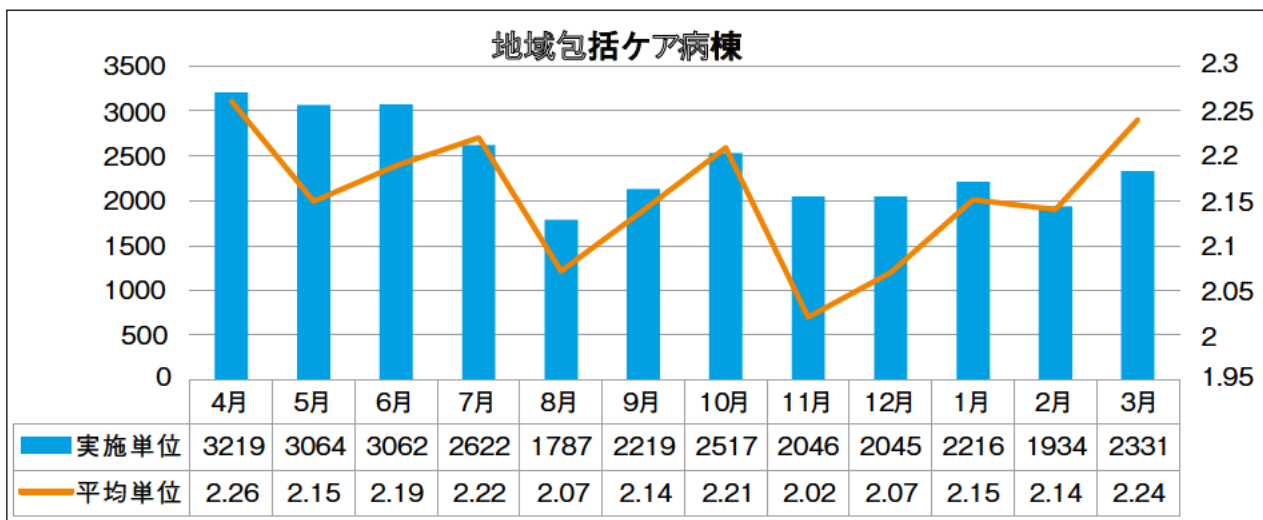
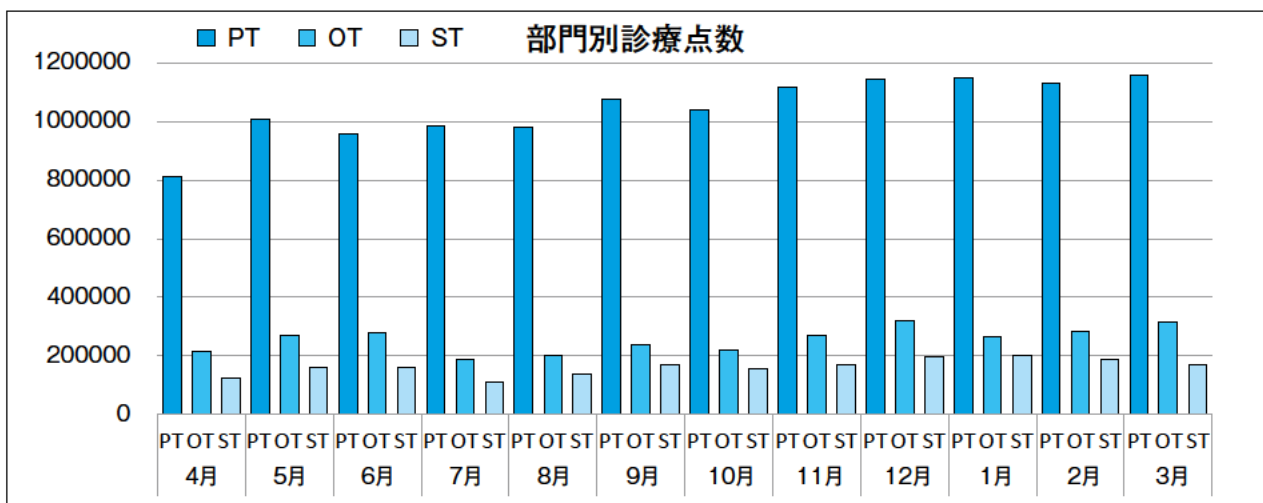
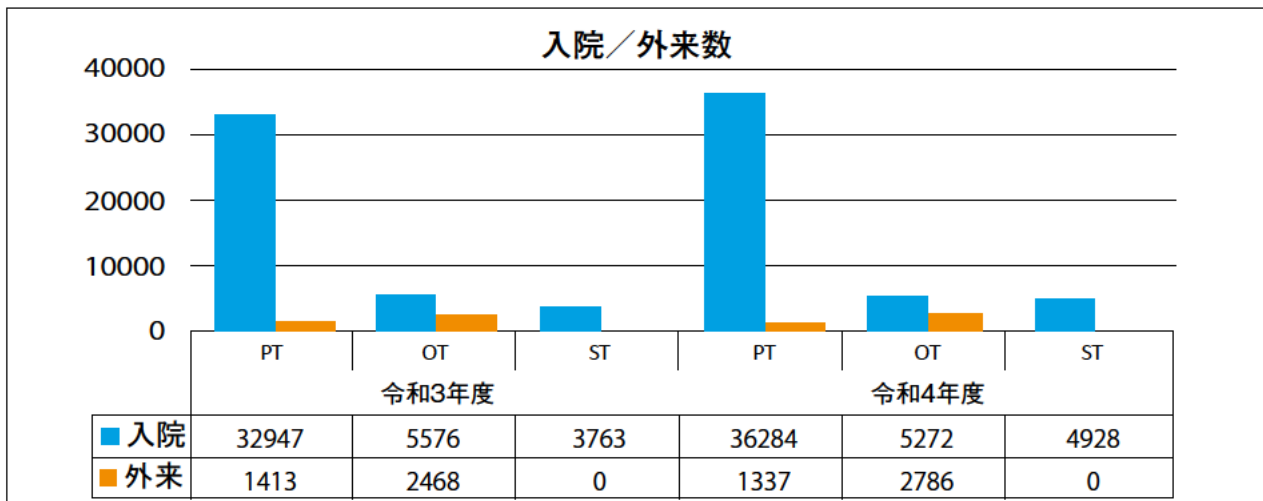
※増減率 0.2%

疾患別リハ実施単位数

疾患別	2021年度	2022年度
脳血管疾患	4,093	4,330
廃用症候群	5	805
呼吸器疾患	1,208	1,181
がん疾患	0	13
摂食機能療法	4558.5	2830.5
合計	9,864.000	8,345

※増減率 - 7.1%

【診療実績】



当院の地域包括ケア病棟では、急性期治療を終えた方を中心に在宅復帰をめざしています。

担当療法士が機能訓練、日常生活動作訓練、生活関連動作訓練、屋外訓練などの個別リハビリを行い、患者さんが安心して在宅復帰できるように一人一人の目標に合わせて支援しています。

地域包括ケア病床50床で月平均のリハ実施患者数は40.1名、月平均の総実施単位数は2414単位、患者一人1日当たりの平均実施単位数は2.15単位です。

【今後の課題】

早期離床を図り身体機能の回復や廃用症候群の予防、ADL改善により社会復帰のために早期から継続的にリハビリテーションを行うことが推奨されており、理学療法部門は365日リハビリテーションを実施していま

す。そのためには専門職として院内外の研修会や学会等へ参加し、知識や技術の向上に努めることが必要です。各々が課題を見つけ明確な目標を立てて取り組みスキルアップのために研鑽を積む必要があり、高い専門性を獲得し患者さんへ良質なリハビリテーションを提供することを心掛けています。

業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年11月	第27回和歌山県病院協会学術大会	持続可能なリハビリテーション医療の実践と科学的根拠の蓄積-脳卒中片麻痺者の上肢運動障害に対する急性期作業療法-	佐藤 将人	槻木 重裕、浅倉 洋司、汐崎 敦子、水野 恵子、大原 元、三上 幸夫	和歌山市
2	2022年11月	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	急性期脳卒中片麻痺者の上肢運動障害における知覚探索アプローチの効果	佐藤 将人	槻木 重裕、浅倉 洋司、三上 幸夫	岡山市
3	2022年11月	和歌山県作業療法学会	右片麻痺患者の自助具を用いたインスリン自己注射に向けた関わり	水野 恵子		Zoom
4	2022年11月	和歌山県作業療法学会	がんや治療に伴う浮腫に対するセルフケア	汐崎 敦子		Zoom
5	2022年11月	和歌山県作業療法学会	右被殻出血により交叉性失語症を呈した患者に対する一例	大原 元	佐藤 将人、槻木 重裕、浅倉 洋司、大饗 義仁	Zoom
6	2023年1月	令和4年度紀北局症例検討会	脳出血で高次脳機能障害を生じADLの低下を生じた1症例	中谷 竜也		Zoom
7	2022年4月～11月 (毎月開催)	和歌山県中枢神経麻痺研究会	成人片麻痺者における姿勢制御と各肢位の特徴	佐藤 将人		Zoom

講演会

No	年月	会名	演題名	演者	開催都市
1	2023年3月	中枢神経麻痺研究会学術大会	知覚探索アプローチ	佐藤 将人	橋本市

論文・雑誌掲載

No	年月	誌名等及び巻・頁	題名	筆頭著者	共著者
1	4/13掲載	Progress in Rehabilitation Medicine Vol. 7, p1-9.	Acute occupational therapy for a patient with unilateral spatial neglect and difficulty in tool manipulation: a case report	Masato Sato	Yukio Mikami, Fumihito Tajima
2	7/27掲載	Asian Journal of Occupational Therapy Vol. 18, p111-115.	Effect of perceptive exploration activity on spoon manipulation by paralyzed upper extremity with sensory disturbance in a patient with hemiparesis: a single-subject research design	Masato Sato	Yukio Mikami, Fumihito Tajima
3	10/12掲載	Asian Journal of Occupational Therapy Vol. 18, p191-194.	Effect of the perceptive exploration approach on upper extremity movement disorder in patients with acute stroke hemiparesis: case series study	Masato Sato	

参加した学会・研修会等

年月	学会・研究会名	開催都市
2022年5月	第19回鳥根県理学療法学術大会 (参加者：内田利加)	Zoom
2022年11月 11-12日	第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	千葉市

【概要】

栄養管理科は管理栄養士3名で業務を行っています。主な業務は外来および入院患者の栄養管理です。その中で最も中心となるのは栄養食事指導業務であり、外来栄養食事指導（地域連携や保健指導も含む）、入院栄養食事指導を行っています。糖尿病教育入院における糖尿病教室、がん領域では外来化学療法の質向上のための総合的な取り組みとして、外来化学療法栄養指導を行っています。NSTや褥瘡関連においてはチーム医療の中で重要な役割を担います。また退院後の他施設とのシームレスな連携を図る為、栄養情報提供書の作成も精力的に行っています。給食食事部門との調整では嚥下調整食や食欲不振食の内容や工夫について、改良を重ねてきました。入院患者も年々高齢化が進み、治療食を兼ねた嚥下調整食の必要性もでてきました。2020年度以降は糖尿病食と嚥下食を兼ねた糖尿病嚥下食の食事作りに踏み切り、稼働後は取り組みの評価も行いました。災害対策委員会における栄養管理科の備えについては、今後、給食会社との連携を図り、運営体制等の課題に取り組む必要があります。病院管理栄養士は専門性を高め、個々の患者の栄養管理、栄養補給法の提案のみならず施設基準における給食食事部門との連携や調整など、全体を通した多岐に渡る栄養管理体制の運営が必要です。給食部門は平成11年に直営から給食会社へ全面委託となり、入院患者の食数管理、献立作成、食材発注、在庫管理、調理、盛り付け、配膳、下膳、洗浄は給食会社が行っています。

<理念>

- ◇ 患者様の病態に応じて適切な食事を提供し、その治癒あるいは回復の手助けをする
- ◇ 治療食であっても個人の嗜好と生活習慣を考慮した食事を提供する
- ◇ 衛生的で、安全・安心な食事を提供する
- ◇ 栄養指導を行い、食事・栄養管理できるように行動の変容に導く
- ◇ 栄養管理を行い、患者様のQOLを高める手助けをする

<行動指針>

- ◇ いつも笑顔でまごころをこめた対応
- ◇ 「ありがとう」という感謝の気持ちを持って行動
- ◇ 「すみません」という謙虚な気持ちを持って行動

<スタッフ>

技師長 藤本 佐和子
主任 高橋 佐智
指導員 下垣内 愛奈

<有資格：専門・認定管理栄養士>

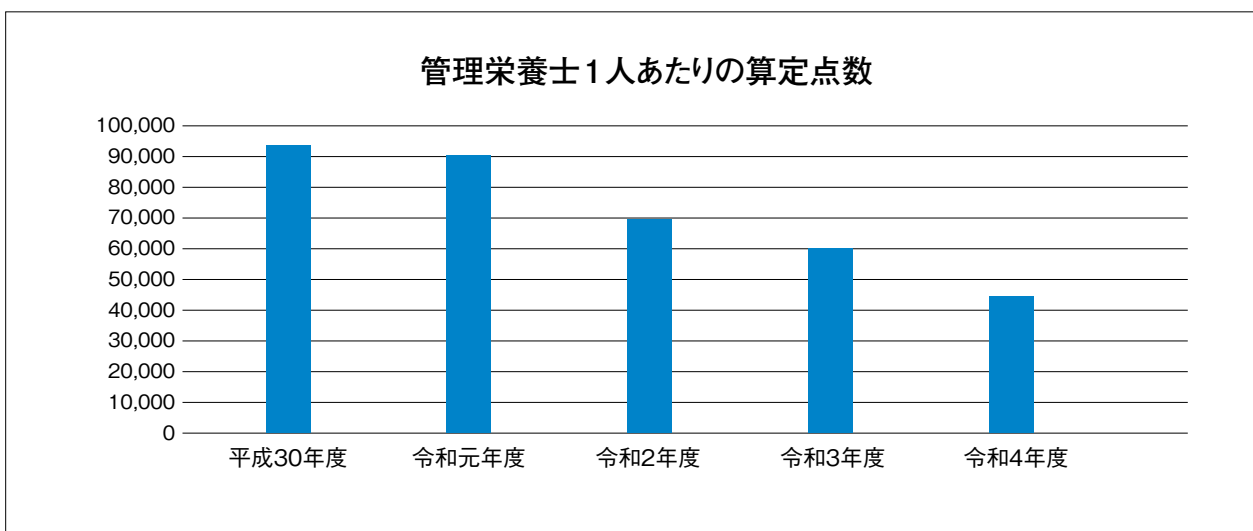
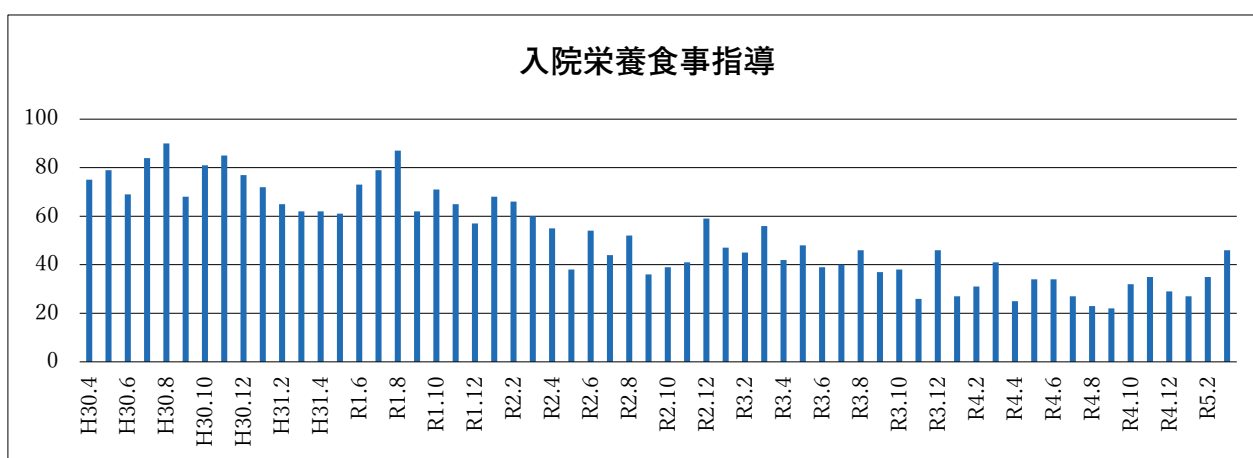
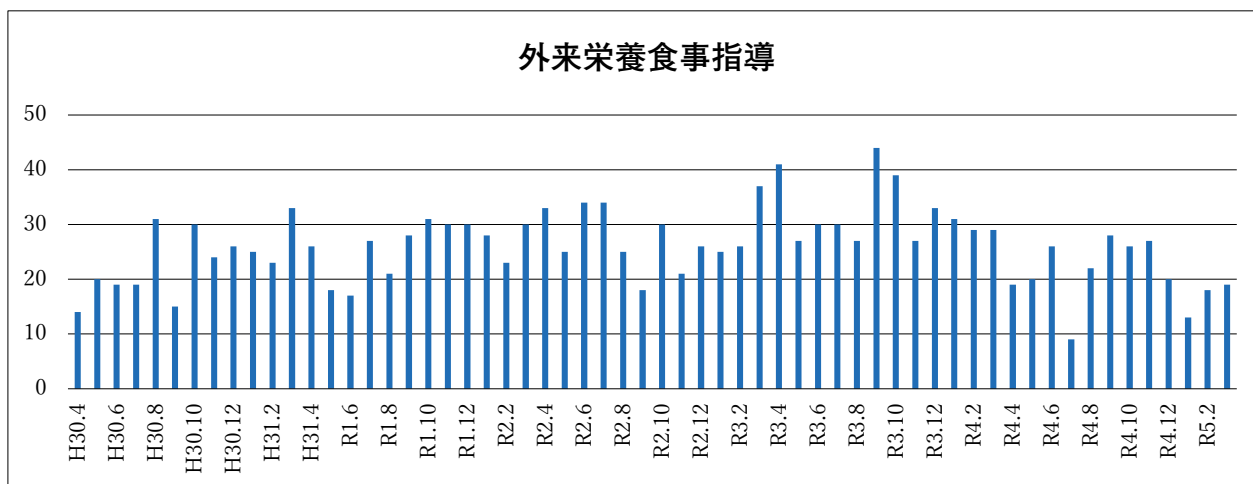
がん病態栄養専門管理栄養士 1名
病態栄養認定管理栄養士 1名
栄養サポートチーム（NST）専門療法士 1名
日本糖尿病療養指導士（CDEJ）2名
和歌山地域糖尿病療養指導士（WLCDE）2名

（給食会社 シダックスフードサービス株式会社）33名

【実績】

令和4年度給食提供実施件数および栄養指導件数

食種		月												年度平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般食	常食	5,925	6,215	6,927	7,336	5,554	5,846	5,412	5,549	6,932	7,113	5,710	6,358	6,240
	軟食等	6,060	7,055	6,061	6,873	6,999	7,239	7,134	8,273	8,711	9,345	7,929	7,463	7,429
特別食	加算	3,412	3,783	3,750	4,315	3,587	4,119	5,071	4,192	4,194	4,158	4,150	4,471	4,100
	非加算	346	276	296	406	253	301	276	261	215	401	361	103	291
計		15,743	17,329	17,034	18,930	16,393	17,505	17,893	18,275	20,052	21,017	18,150	18,395	18,060
患者外食	職員食	371	352	407	331	292	315	321	357	340	318	292	372	339
	その他	92	88	110	104	112	100	97	156	138	146	108	174	119
計		463	440	517	435	404	415	418	513	478	464	400	546	458
栄養指導	外来集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院集団	3	1	2	0	1	0	1	2	1	1	5	1	2
	外来個人	19	20	26	17	26	28	26	27	20	13	18	19	22
	入院個人	25	34	34	27	23	22	32	35	29	27	35	46	31
計		47	55	62	44	50	50	59	64	50	41	58	66	54



【栄養管理委員会】
 <栄養管理委員会>
 2022年11月10日

- * 栄養補助食品一部見直しについて
- * 産褥食献立でのグレープフルーツ使用禁止の提案
- * 患者給食嗜好調査について

2022年12月15日
 * 消化態栄養剤ペプタメンプレビオ導入検討について

【食事についての紹介】

行事食は毎月1～2回行われ、暦行事にちなんだ料理・普通食～治療食（特別食）の行事食を提供しています。
オリジナルメッセージカードも添えて提供しています。

【行事食の紹介】

1月1日～1月3日	正月料理（雑煮・黒豆・田作り・数の子・紅白なます・赤飯・鯛）
1月7日	七草粥
2月3日	節分（巻き寿司・鯛・節分豆）
3月3日	ひな祭り
4月4日	お花見弁当
5月5日	子供の日
6月	入梅
7月7日	七夕
8月15日	夏祭り
9月15日	敬老の日
10月	秋祭り
11月	開院記念日
12月	冬至、クリスマス、大晦日

【食種】

院内食事箋規約より、普通食（A～D）、軟菜食（3分粥、5分粥、7分粥、全粥、軟飯）、流動食（流A、流B、流2）食欲不振食（なごみ食）陣痛食、産褥食、嚥下食、経管栄養食、術前食、各術後食（術A、術B、術C、術E）、糖尿病食、糖尿病嚥下食、脂質異常症食、腎臓食、ネフローゼ食、透析食、心臓食（A、心B I、心B II、心C）、肝臓食（A～C）、膵臓食（3分粥～米飯）、胆嚢炎・胆石食（流動～米飯）、潰瘍食（1分粥～米飯）、腸炎食（3分粥～全粥）、貧血食、低残渣食、低ヨード食、大腸検査食、小児食（A～D）、離乳食（A～D）、小児腸炎食（A～D）、小児腎臓食（A—A～D、B—A～D、C—A～D）小児ネフローゼ食（A—A～D、B—A～D）があり、合計200種類以上の食種となる。この食種に加え、多様な個人対応（アレルギー除去食含む）も行っています。

【今後の課題】

安全・安心で且つ患者様に喜んでいただける食事作りと、各専門性を活かした栄養管理と栄養食事指導の拡充を図り、地域に貢献できるよう発信していきたいと考えております。

業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年8月	第25回和歌山栄養療法研究会	地域包括ケア病棟への転棟を機に食事摂取量が増加した症例	高橋 佐智		和歌山市

参加した学会・研修会等

年月	学会・研究会名	開催都市
2022年6月	K I S S E Iヘルスケア事業部「正しい水分補給の進めかた」	Web
2022年8月	日清オイリオ×ナースの星「摂食嚥下障害の正しい食支援に向けて」	Web
2022年7月8月	日本病態栄養学会 透析予防セミナー	Web
2022年8月	第25回和歌山栄養療法研究会	Web
2022年9月	第5回「食事と腎の会」CKD食事療法実践セミナー	Web
2022年10月	和歌山県栄養士会JDA-DATスタッフ育成・スキルアップ」研修	Web
2022年11月12月	日本栄養士会2022年度腎臓病病態栄養セミナー基本編	Web
2022年11月12月	第27回和歌山県病院協会学術大会	和歌山市
2023年1月	第26回日本病態栄養学会年次学術集会	ハイブリッド
2023年3月	第13回南大阪・紀北NST研究会	Web

【概要】

歯科技工室は、歯科口腔外科外来に設置構成された歯科専門技術職です。

<理念>

- 1) 専門職として患者様に対応する。
- 2) 他職種とのコミュニケーションづくりをする。
- 3) 患者様が来院しやすい病院づくりをする。

<スタッフ>

歯科技工士 下坂洋二
 歯科衛生士 北河寛子（会計年度任用職員）
 松浦昌世（会計年度任用職員）

(1) 技工部門

歯科医師の指示の下、他科から依頼のさまざまな技工物や睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置、手術後の顎欠損患者様の顎補綴、止血用のシーネ、顎関節治療用のスプリント、歯ぎしり防止用ナイトガード等を迅速に作製し、入院患者様の生活の質向上に努めています。

(2) 診療部門

歯科衛生士は、歯科診療補助業務の他、外来患者様と入院患者様に専門的口腔ケアなどを行います。周術期口腔機能管理では、医科と連携し、歯科医師と共に口腔管理を行います。また、嚥下機能が低下している他科の入院患者様などを歯科医師と共に往診し、病棟看護師の協力の下、専門的口腔ケアを行います。チーム医療では、NSTチーム、緩和ケアチームに積極的に参加しています。

【実績】

2022年度 周術期口腔ケア患者人数 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	13	10	10	11	16	11	16	10	12	7	9	136

2022年度 往診口腔ケア・外来口腔ケア・周術期口腔ケア (延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
往診口腔ケア	4	2	11	14	3	0	9	28	26	22	32	31	182
外来口腔ケア	7	16	26	11	14	31	13	13	13	10	7	9	170
周術期 (往診)	8	14	9	6	13	14	11	14	9	12	12	9	131
周術期 (外来)	26	41	31	22	28	39	34	33	28	34	22	25	363

【今後の課題】

周術期では、術前・術後の口腔機能管理を行うことにより、術後肺炎などの合併症予防ができることが期待されています。診療部門では、通常外来診療と並行して、歯科医師と共に周術期口腔機能管理を行っているため、術後の口腔ケア介入のタイミングを検討し取り組んでいく必要があると考えています。

【1. 概要】

地域医療部では前方支援を地域医療連携室、後方支援を入退院支援室とし、地域における中核病院として地域医療機関及び関係機関と連携を深め、患者様に対してより質の高い医療を提供できるよう活動しています。

2022年度も地域の医療機関からの診療・検査の予約受付や転院受入れを行うとともに、医師・看護師・その他のコメディカル等と連携して、急性期治療後の在宅復帰・転院の退院調整などの支援を患者様・ご家族に対して実施しました。

【2. 人員配置】

組織名	補職名	氏名 (職種)	備考
地域医療部	部長	星屋 博信 (副院長兼務)	
	副部長	兼平 龍一 (地域医療連携室長兼務)	
地域医療連携室	室長	兼平 龍一 (副地域医療部長兼務)	
	室長補佐	山内 壯一 (事務員)	
	主幹	山本 茂晴 (事務員)	
		染原 佳代子 (看護師)	
		土居 美佳 (事務員)	
		澤本 真由美 (事務員)	
		上田 喜代美 (事務員)	(総合案内)
		山本 愛 (事務員)	(総合案内)
入退院支援室	室長	恋中 理恵 (退院支援看護師)	
	主任	奥田 昌子 (退院支援看護師)	
	主任	泉本 大祐 (社会福祉士)	
	主任	橋爪 祥人 (社会福祉士)	
	主任	上中居 幹太 (社会福祉士)	
		吉鶴 伸太朗 (社会福祉士・精神保健福祉士)	
		畑中 里香 (社会福祉士)	
		田中 佐知 (事務員)	
		松田 道代 (事務員)	

【3. 実績】

【地域医療連室】

前方支援業務では、連携業務の推進強化のための渉外活動を促進し、「かかりつけ医」を推奨するため伊都医師会及び五條市医師会を中心に「連携登録医」を締結し、外来に連携登録医ポスターを配置しています。また、院内・院外ホームページでの連携登録医を検索できるようにしています。2022年度の橋本市民病院連携登録医数は、新規開院2診療所、閉院が2診療所で、130診療所となっています。(2023年3月31日時点)

地域医療連携室の窓口で専属の看護師を配置することで地域の医療機関からご紹介いただいた患者様の速やかな受入れに努め、受診予約や結果連絡等に関する業務を行うとともに、土曜日や平日の19時までの受診予約も行っています。

(1) 紹介率・逆紹介率

	紹介率	逆紹介率
2018年度	27.8%	46.0%
2019年度	29.1%	47.1%
2020年度	32.9%	50.0%
2021年度	35.8%	54.4%
2022年度	37.5%	56.3%

(2) 渉外活動の状況

近隣施設、医療機関との医療連携の強化を図る目的で定期的に訪問している。

	伊都郡・橋本市	五條市	その他	合計
2020年度	116件	7件	1件	124件
2021年度	93件	6件	0件	99件
2022年度	100件	6件	3件	109件

(3) 「橋本市民病院連携登録医制度」の運用状況

連携登録医契約状況 130診療所（2023年3月31日現在）

〈医科〉伊都医師会登録医数	68診療所
五條市医師会登録医数	22診療所
他地域医師会登録医数	1診療所
〈歯科〉伊都歯科医師会登録数	39診療所

（詳細は巻末連携登録医を参照ください。）

(4) 地域医療機関向け広報誌の発行

①「2022年度橋本市民病院診療科紹介パンフレット」 7月発行

(5) 診療の予約業務等

地域医療機関からの診療依頼に対して適切な診療科への予約取得を行うとともに、診療経過・検査結果・入院経過などの報告支援や、当日緊急受診の要請・入院要請に対して、迅速かつ適切な受診調整、入院の受入れ調整を行った。また、画像診断用の診療情報提供書及び栄養食事指導予約申込み用の診療情報提供書の様式等を一部変更し運用を見直すことで、医療機関相互の診療情報提供依頼について利用し易い改善に努めました。

(6) 研修会等開催

新型コロナ禍の影響により、地域の医療機関の皆様を対象とした研修会等の開催は中止となりました。

【入退院支援室】

入退院支援室では、病床の効率的な運用を図ると共に、患者様の入院から退院まで円滑に安心して医療を受けられるよう、入院前から一人一人の状況を身体的、社会的、精神的背景から把握し、入院病棟と多職種で情報を共有し、入院中の一貫した支援を行っています。

また、ソーシャルワーク業務を中心に各種相談業務に取り組みました。がん相談支援センターでは、がんに関する情報の発信や外来通院時からの療養支援、がん相談や緩和ケアチームの活動にも携わり、がん医療に係る相談業務等にも積極的に取り組みました。橋本市民病院がん患者サロン「サロン・ド・サクラ」は、新型コロナの影響で中止していましたが、感染状況を鑑みWEB開催を行っています。

【今後の課題】

在宅医、訪問看護、ケアマネージャー、介護施設等と連携を密にして退院支援・調整の質の向上を図る。

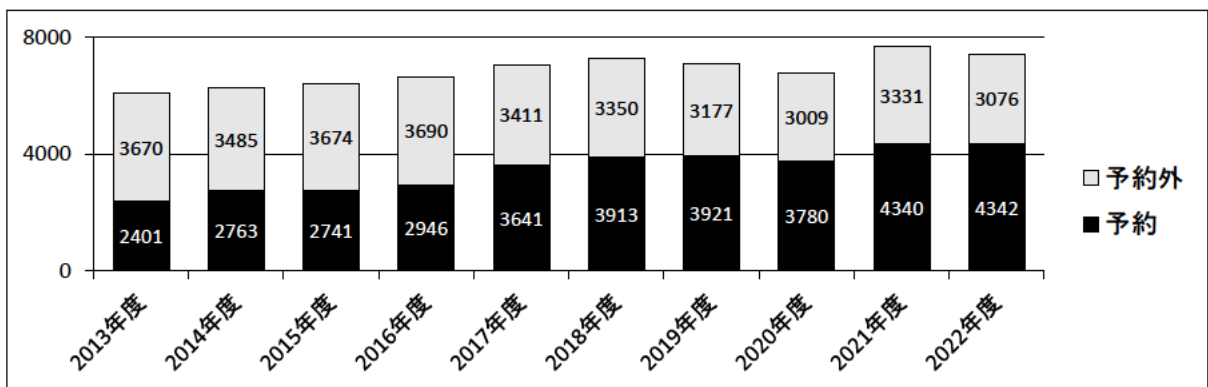
また、紹介率・逆紹介率の向上を目的として、地域医療機関とのよりよい医療連携の構築を目指すこと、および、医療・介護・福祉行政が一体となり、地域住民のケアをスムーズに行えるような支援を目指していく。

2022年度 地域医療連携室 事務業務件数

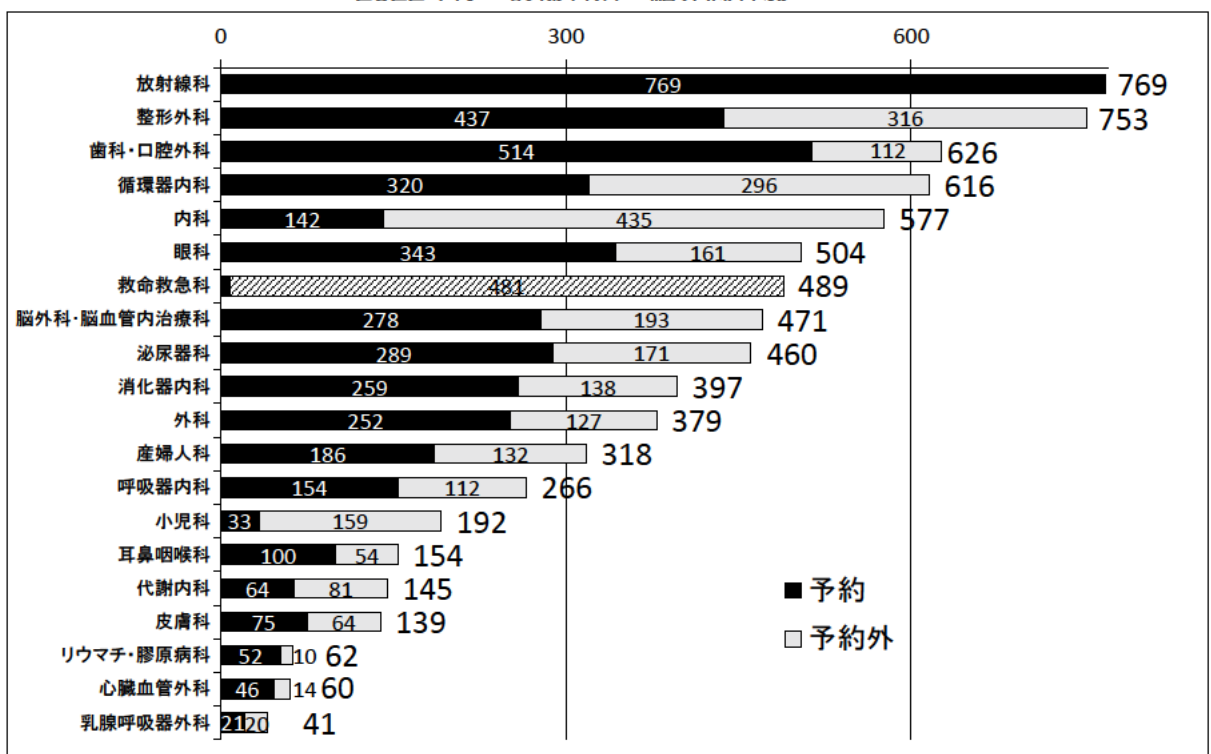
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
電話対応	2,428	1,811	2,427	2,369	3,357	2,316	3,255	2,985	2,181	1,863	2,146	2,332	2,455.8
FAX 対応	3,070	2,169	2,940	2,708	3,531	2,584	2,554	1,883	2,191	2,429	2,155	3,018	2,602.7
受診報告書	48	58	65	55	63	56	72	48	68	48	75	78	61.2
入院報告書	110	141	154	114	108	108	166	144	143	137	144	137	133.8
退院報告書	129	114	117	126	103	107	115	115	136	128	103	137	119.2
死亡報告書	8	8	9	8	3	4	11	9	4	7	5	14	7.5
未受診報告書	7	10	4	8	15	10	1	4	2	9	12	6	7.3
紹介予約取得	229	255	368	264	445	360	409	267	226	282	287	346	311.5
逆紹介予約取得	45	23	72	60	54	64	52	33	48	57	59	81	54.0
画像診断結果送付	87	69	80	69	56	77	131	66	42	64	56	39	69.7
経過報告書送付	412	426	486	412	482	487	546	357	336	427	414	473	438.2

《 地域医療連携統計 》

紹介患者数 年度推移

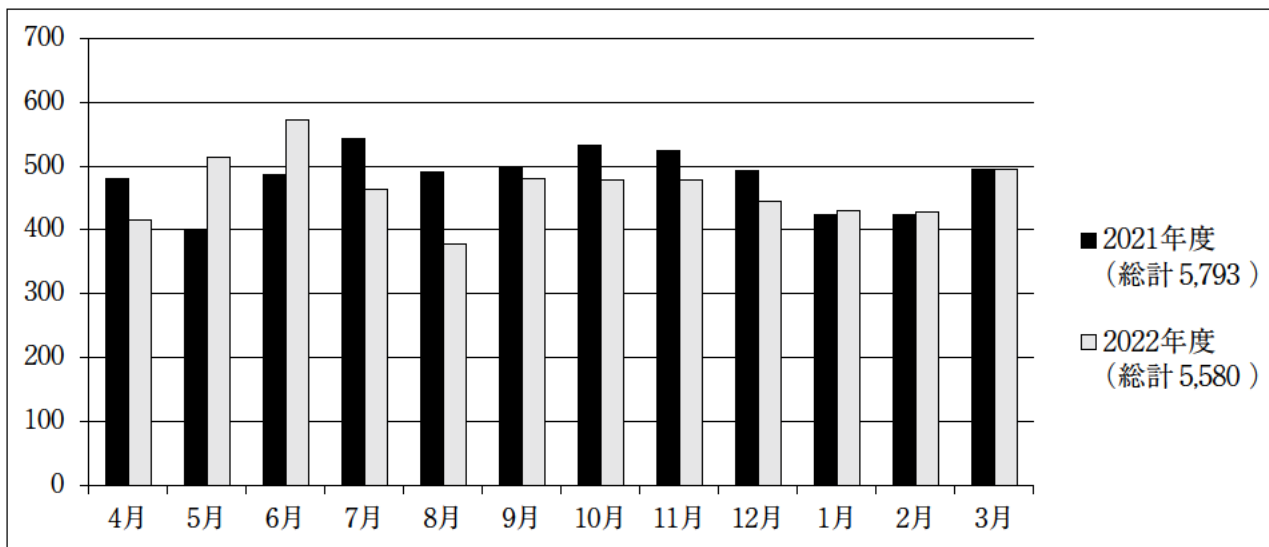


2022年度 診療科別 紹介患者数

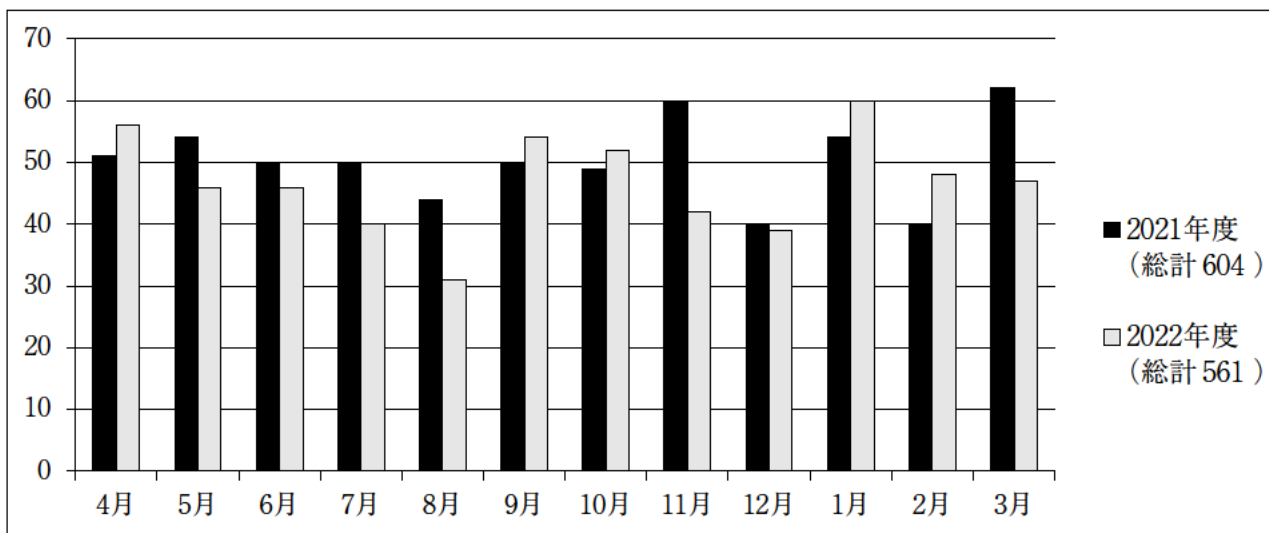


地域別 紹介患者数

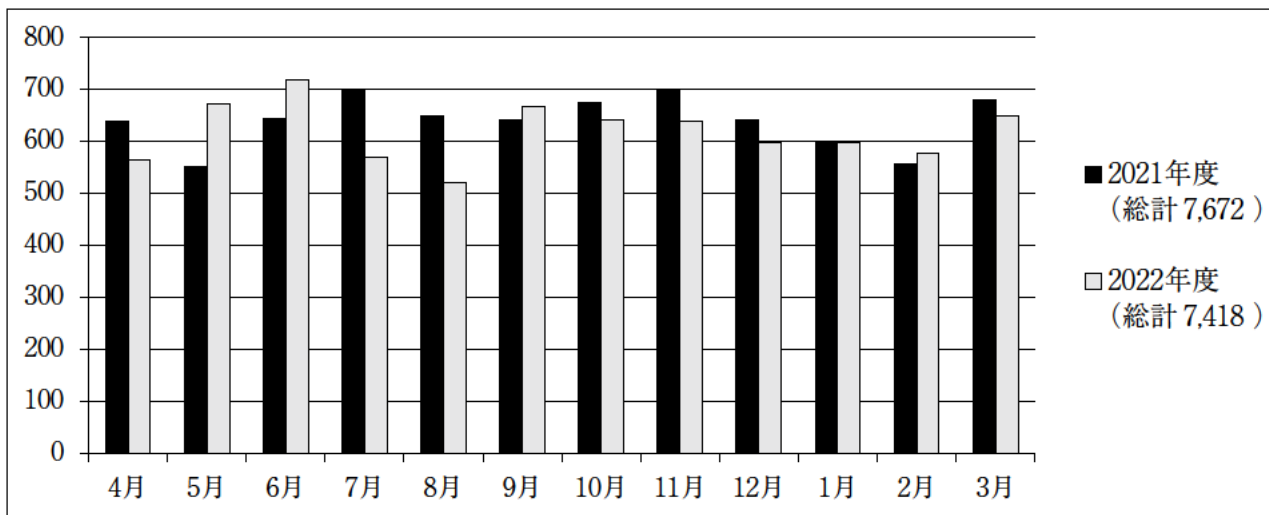
➤ 伊都橋本地域医療機関からの紹介患者数



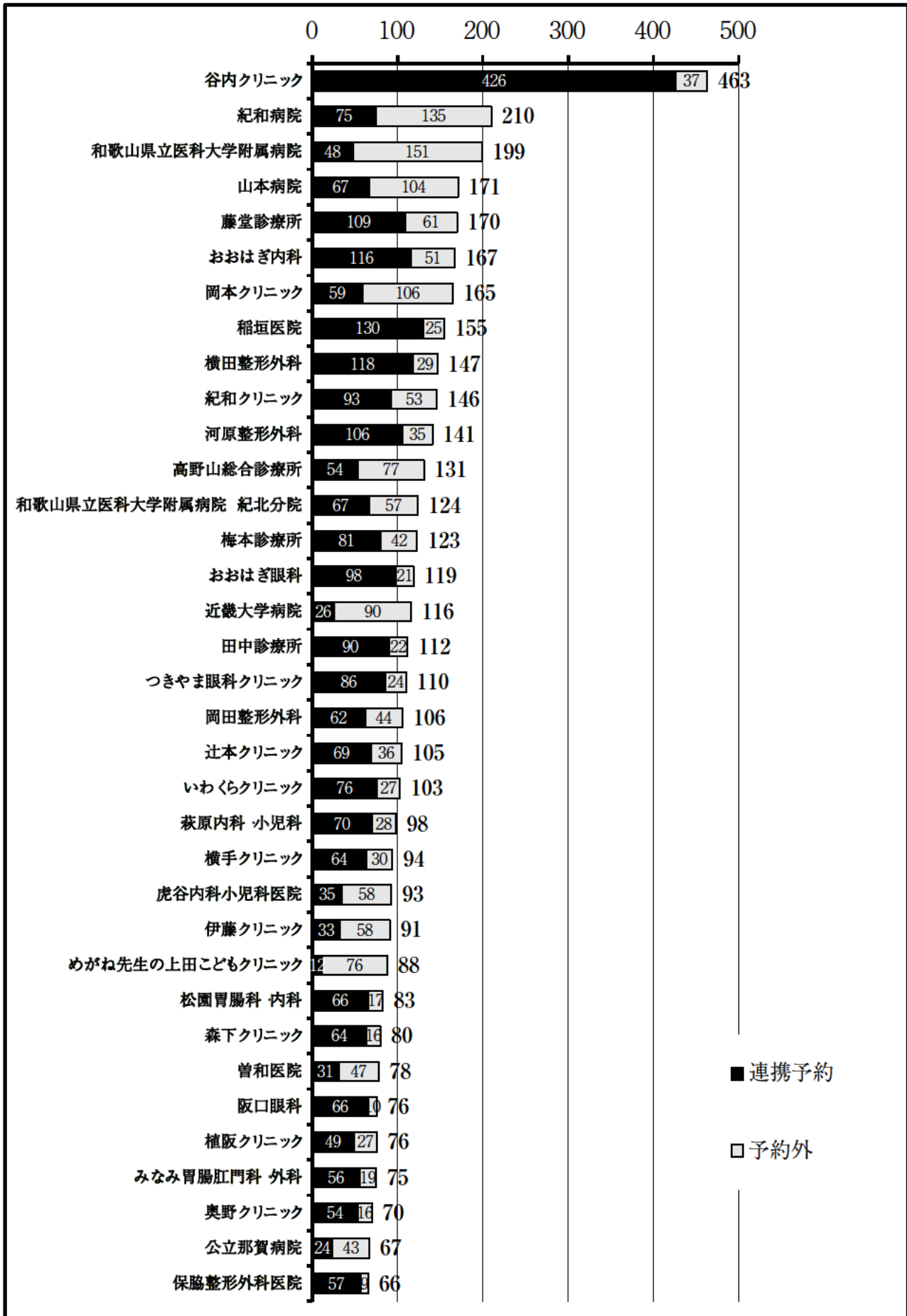
➤ 五條市医療機関からの紹介患者数



➤ 全地域医療機関からの紹介患者数

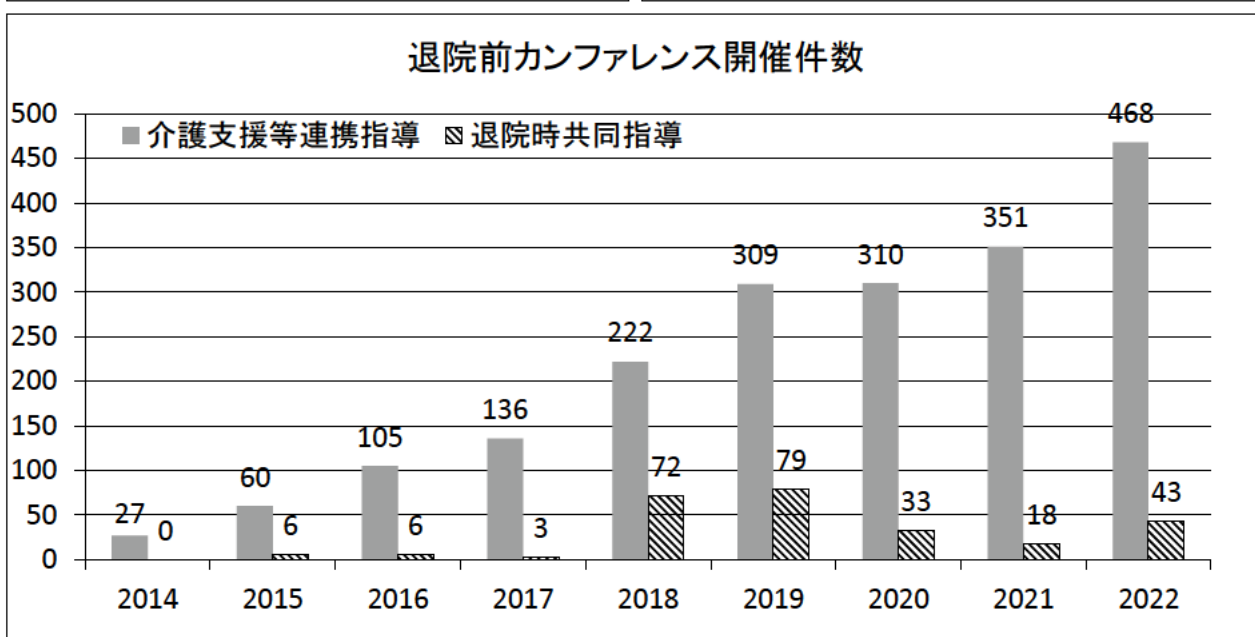
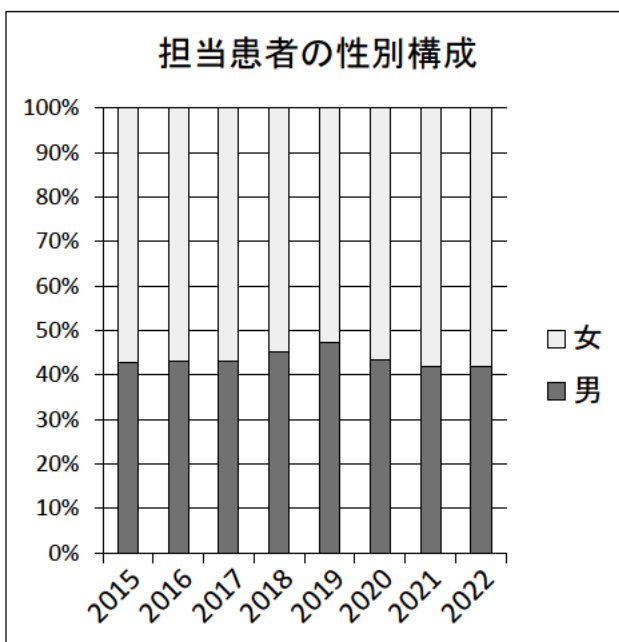
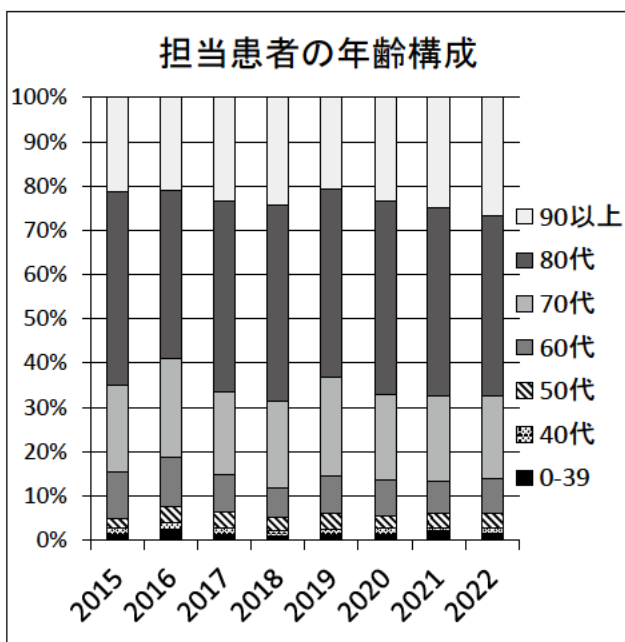
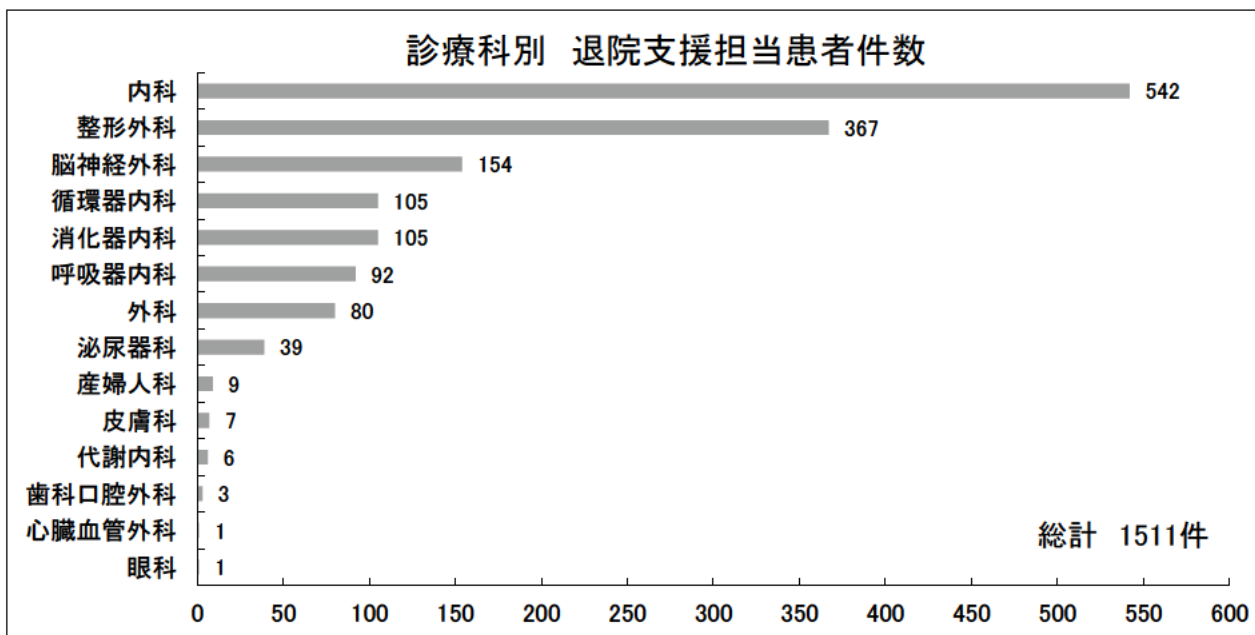


医療機関等 紹介患者数 (2022年度TOP35)

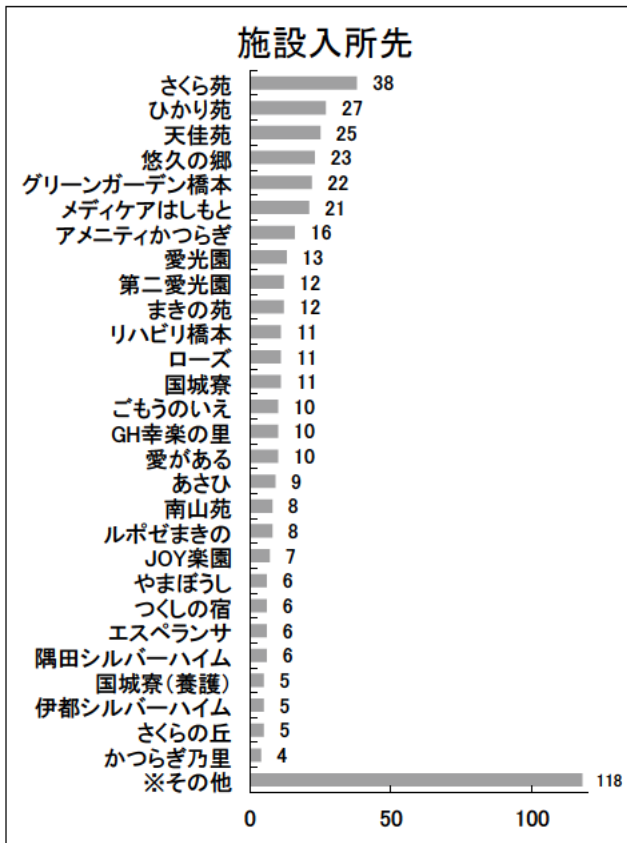
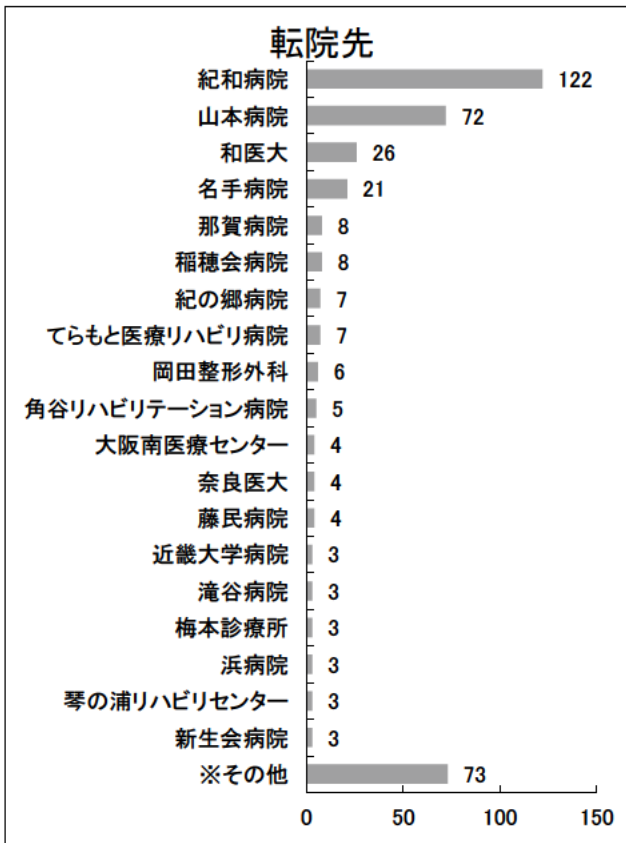
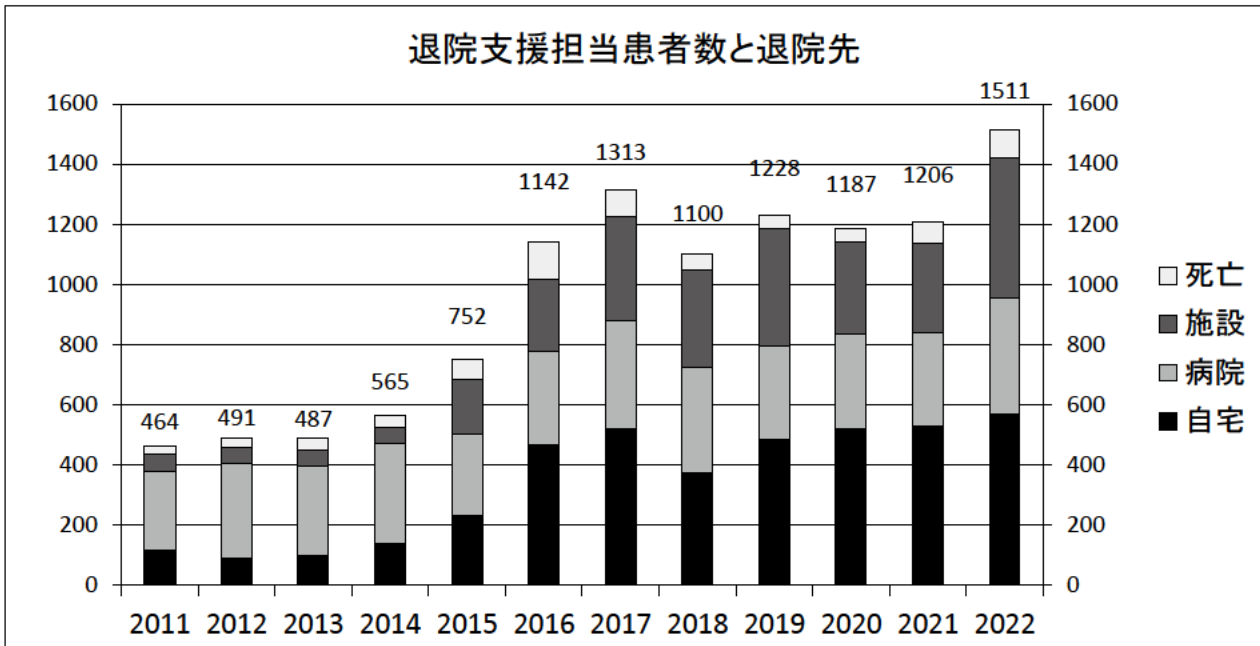


■ 連携予約
□ 予約外

◀ 退院支援統計 ▶



◀ 退院支援統計 ▶



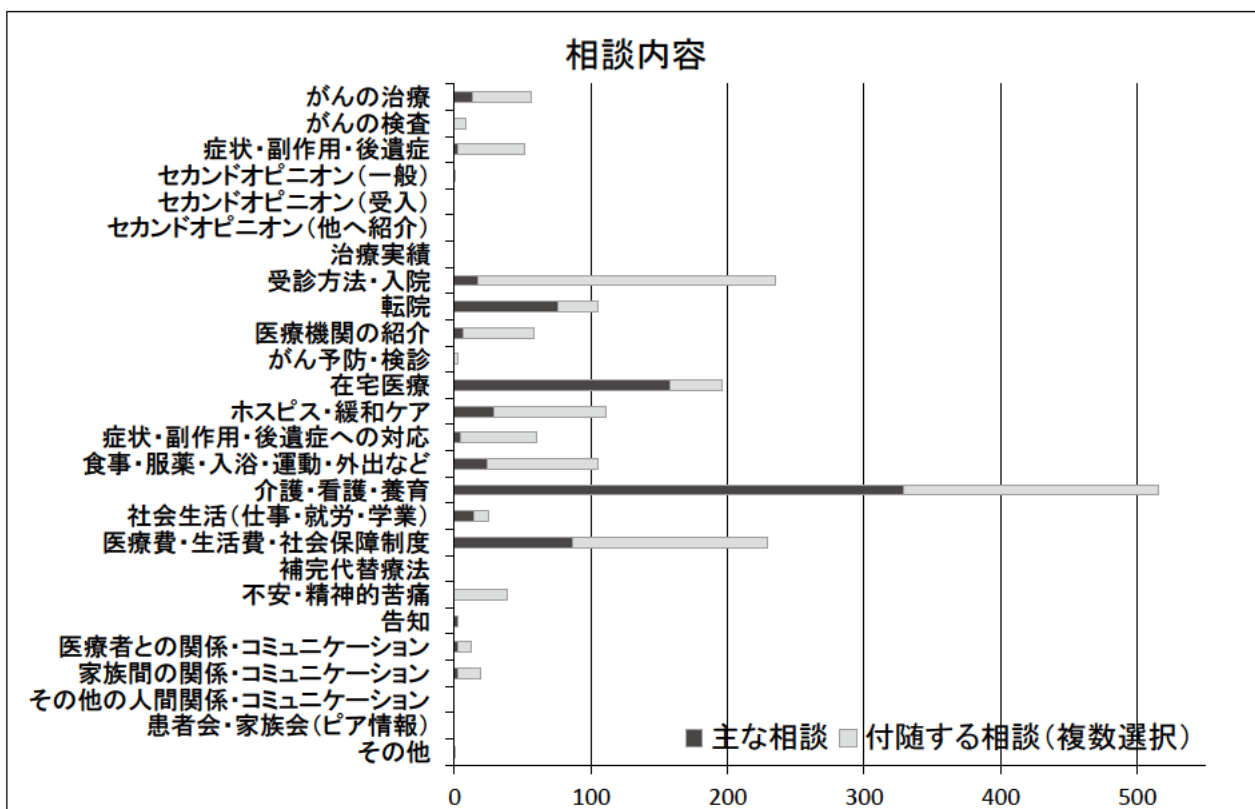
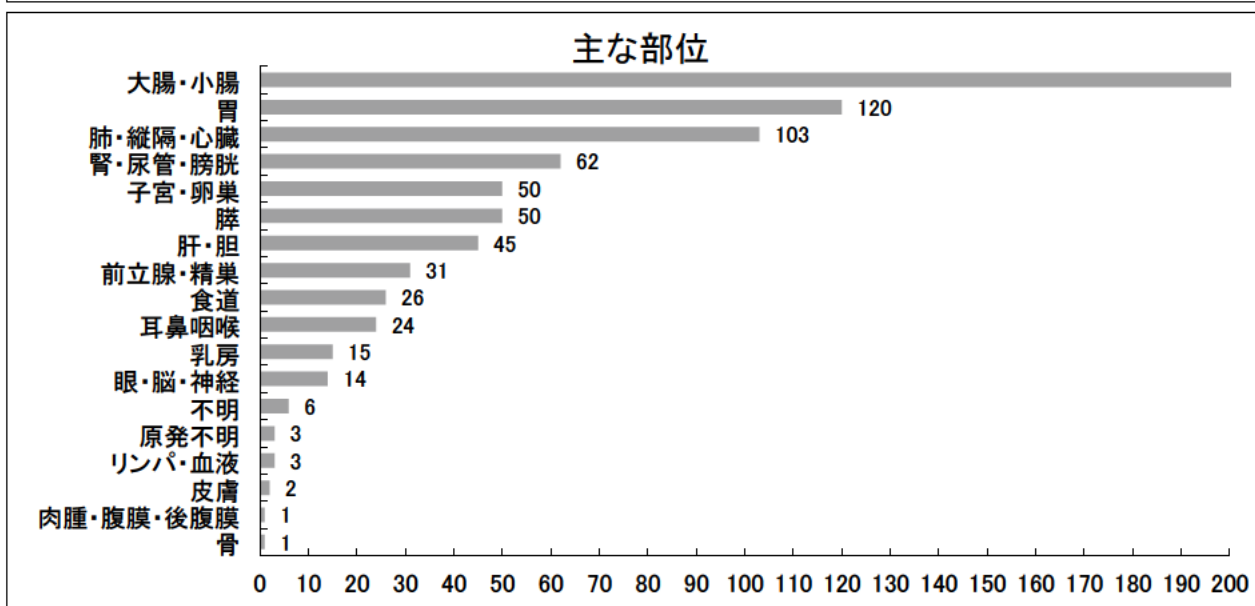
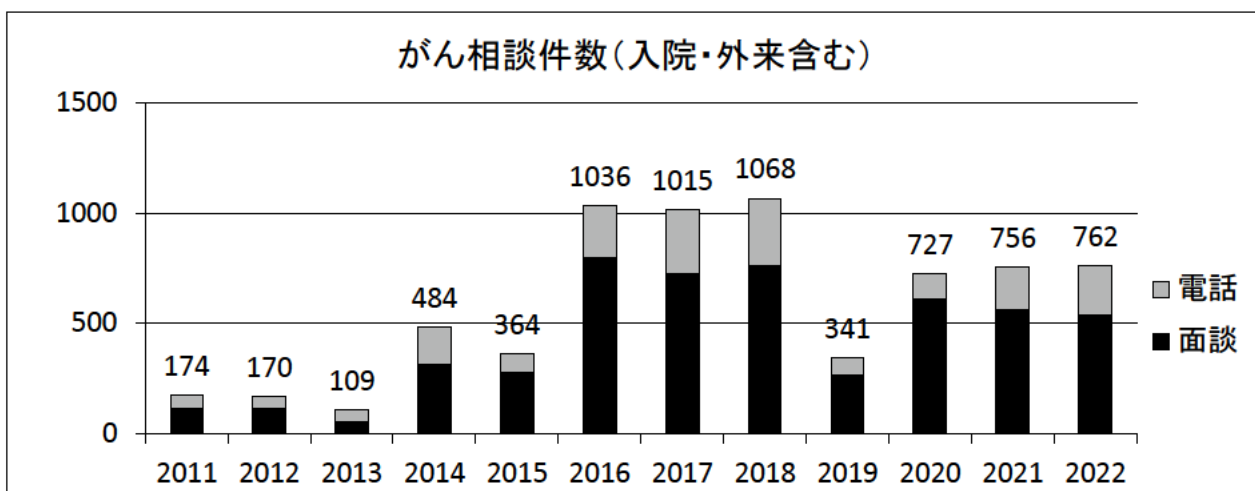
※ その他の転院先に含まれる医療機関

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 紀北分院 | 平成まほろば病院 | 青山第二病院 |
| 奈良県総合リハ病院 | 南和病院 | 与田病院 |
| 五條病院 | 貴志川リハビリ病院 | 中谷病院 |
| 古梅記念病院 | 岸和田徳州会病院 | 阪南市民病院 |
| 向井病院 | 天理よろず相談所病院 | 河西田村病院 など |

※ その他の施設入所先に含まれる施設

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| はるすの郷 神野々 | 花咲寮 | 美里園 |
| 博寿苑 | 友幸苑 | 友喜苑 |
| 祥水苑 | ジュレ橋本 | みとうの里 |
| 千宝 | 友語苑 | ネオファミリー高野口 |
| ライフガーデン御幸 | 富貴福祉センター | 友愛苑 など |

《 がん相談統計 》



【概要】

医療安全管理と感染管理活動は、院内活動だけでなく、地域の医師会及び歯科医師会・薬剤師会や近隣病院、保健・福祉施設、行政機関との情報交換や連携の強化に努めています。医療安全、感染管理のそれぞれの立場から、院内外の多職種との協働・連携を推進し、役割を遂行しています。

【スタッフ紹介】

・ 医療安全管理部部長	金 桂洙	(眼科部長)
・ 医療安全管理副部長	石亀 慎也	(総合内科医師)
・ 医療機器安全管理責任者	小嶋 宏之	(臨床工学科技師長)
・ 医薬品安全管理責任者	齊藤 喜宣	(薬剤部長)
・ 医療安全管理者(専従)	近藤 史子	(医療安全管理室長)
・ 感染管理認定看護師(専従)	栞田 美加子	(感染管理室長)
・ 医療安全管理室主幹	山口 博志	(医療安全管理室兼感染管理室)
・ 感染管理事務	小嶋 文子	

【実績】

医療安全管理室

- ・ 医療安全カンファレンス(週1回)
- ・ 医療安全対策委員会(月1回)
- ・ セーフティマネジメント委員会(月1回)
- ・ 患者サポートカンファレンス(週1回)
- ・ 医療安全研修(年2回)
- ・ 自治病医療安全管理対策研修会(web研修)
- ・ 院内医療安全ラウンド(28回【14部署2クール】)
- ・ 医療事故事例検討会(4例)
- ・ 新規採用者研修、ラダー研修(ラダーI受講者)、補助者研修など
- ・ モニターアラーム説明会(12回)
- ・ DC説明会(12回)
- ・ 麻薬管理説明会

感染管理室

- ・ 感染制御会議(週1回)
- ・ 院内感染管理ラウンド実施(週2回)
- ・ 抗菌薬適正使用支援チーム会議(週1回)
- ・ ICTワーキング(月1回)
- ・ 感染研修会(年2回:資料研修)
- ・ 抗菌薬適正使用支援研修会(年2回:資料研修)
- ・ 新規採用者、補助者研修(適宜)
- ・ 新型コロナ感染症関連説明会(3回)
- ・ 新型コロナ感染症感染対策会議(適宜)
- ・ 地域感染症研修会(年4回)
- ・ 伊都橋本地区病院感染症連絡会(年4回)
- ・ サーベイランス:全入院患者(月1回)
- ・ サーベイランス:SSI(年2回)
- ・ 症状サーベイランス(毎日)
- ・ 定点把握感染症発生報告(週1回)

VII 事務局紹介

Ⅶ 事務局紹介

総務課

医事課

診療情報課

【概要】

総務課は、庶務係、経理係、用度係の3係で構成しています。

庶務係は、職員の人事、給与、労務、服務や福利厚生などの庶務業務を主な業務。

経理係は、病院事業に関する総合計画の策定及び推進、病院事業の経営健全化の推進、予算の調整と執行管理を主な業務。

用度係は、施設の整備や維持管理、薬品、診療材料物品などの購入・調達、医療機器の新規購入及び更新などの用度業務を主な業務としています。

2022年度も新型コロナウイルス禍の影響や病院職員が新型コロナ陽性になるなどにより入院制限等を行ったことから、以前経営状態は厳しいものとなりました。ただ、課員一人一人が感染症に対し高い意識を持っていたことから、課内で感染することなく業務を遂行することができました。

【課題】

- ・高額医療機器の更新や、新築後19年となることから建物及び設備等の更新・修繕が増加に対し費用の確保と迅速対応。
- ・新型コロナウイルス感染症関連補助金の確保。
- ・病院経営が多様化し、人の入れ替わりの激しいなかにおいても、迅速な人材の確保。
- ・過去の慣習だけで運営しているさまざまな事案についてのマニュアル化。
- ・企画経営担当を中心に、収益改善のための継続的な取組みや原価計算の活用、経営強化プランの策定。

【2022年度目標】

- ・人事給与制度を見直しと働き方改革を推進する。
- ・人事考課制度の試験的運用を行う。
- ・経営強化プランの策定をする。
- ・過去の慣習だけで運営しているさまざまな事案についてマニュアル化を進める。
- ・長期的な医療機器や建物・設備の更新計画を作成する。
- ・新型コロナウイルス禍に注意を払い、病院運営に支障を来さないようにする。

【スタッフ紹介】

総務課長・・・・・・・・・・藤本 昇三
 総務課長代理・・・・・・・・高木 誠
 総務課長補佐・・・・・・・・池田 知将
 総務課庶務係長・・・・・・・・香川 貴俊
 総務課経理係長・・・・・・・・名村 絵理子
 総務課用度係長・・・・・・・・武田 朋容

【概要】

医事課の主業務は、診療報酬制度の運用です。実業務のほとんどは委託しておりますが、その管理により精度が大きく変化するため、統括部署としての責任は重大です。高い精度管理を維持できるよう、研鑽に努めております。健康保険法等による制度の改正も頻繁に行われるため、常に最新の情報を得るように日常の情報収集や他院との連携も欠かせません。加えて、収入・算定数などの保険請求の統計業務、患者未払金の管理、施設基準の管理等も業務としております。

また、医事課内には医師事務作業補助者も在籍しており、書類作成を主とする業務を実施しております。医師の働き方改革の推進によりタスクシフトが必須化される中、当院では比較的早くから医師事務作業補助者を配置しておりました。このため、診断書の作成や医療データの入力を通じてスキルが累積しているところが当院の強みと言えます。手術データのオンライン入力も依頼されることが多くなっており、医師事務作業補助業務のニーズは拡大しており、今後も体制の充実を図ってまいります。

診療報酬の改定を中心とした医療制度の変更についても、医事課が正確な情報を発信しなければなりません。特に、新型コロナウイルス感染症関連と地域包括ケア病棟の運用に関しては、経営への影響が大きく、重要視されるため注視して取り扱いをしておりました。今後は、病床機能報告に加え、外来機能報告の情報を基にしながら、当院の地域でのあり方についても正確な情報発信に努めることは、医事課の使命といえます。

【目標】

1. 知識の向上に努め、診療報酬請求の精度管理を行う
2. 適正な診療報酬請求のため情報収集・共有を行う
3. 未収金を減少させる

【課題】

医業収益の分析を行い、新たな収益増加を検討するとともに、病床機能報告及び外来機能報告を基に、地域医療における役割を含めた今後の当院のあり方について検討すること。

【スタッフ紹介】

医事課課長・・・谷澤 由紀

医事課主幹・・・堀 芳彰

医事課課長補佐・・・浅田 浩嘉

医事課職員・・・片山 倫誠 他 6名（E V前職員 4名を含む）

医師事務作業補助者・6名

【概要】

診療情報課は、診療情報係、システム係で業務を行っております。

診療情報係は、患者管理医療データの作成・報告・提出業務、また、紹介状・手術記録等紙ベースでの運用を行っているデータの取り込み、カルテデータの取り出しを行っております。

医療データと言え多岐にわたっており、主には退院患者の病名コーディング、身体状況、入院経路、退院後の動向等々1人1人の細かい患者データをまとめた様式関係、診療内容をデータ化したE Fファイル等厚労省から提出を義務付けられたデータを初め、がん拠点病院として提出を義務付けられたがん登録を行い、データを作成・報告し、キャンサーボード等がん診療に関する様々な会議・勉強会を開催し、基準が高度化したがん拠点病院の認定が維持できるよう努めております。

また、作成データから見えてくるDPCコーディング・請求漏れ等も医事課と連携しながら、検討・助言を行い収益UPの手助けとなるよう努めております。

システム係は、電子カルテの管理を主な業務とし、病院内の通信ネットワーク、院内電話の管理までシステム全般の保守・管理を行っております。

2022年2月、新電子カルテシステムにリプレイスし、無事に稼働することができました。それぞれの現場からのお声や不具合に対応し、それらの問題解決に努めております。またより良いものとするため、メーカーに対し声を上げバージョンアップできるように努力しております。

2023年3月の電子カルテシステムバージョンアップ時に、電子カルテ上で動作する新しいコミュニケーションツール「NEC Communication Service for Medical (愛称「つるりん」= Tool for Link)」を導入しました。「LINE」や「Microsoft TEAMS」の様に、1対1のチャットの他、チャットグループを作成（任意に作成可能）してグループチャットの形で連絡・情報共有できるツールです。電子カルテ利用中も通知が出るのが特徴です。

また、電子カルテを使用しなくても、院内携帯電話を用いれば、院外において、この「つるりん」の利用が可能となります。対面、院内携帯、メール等、コミュニケーションの方法はいろいろありますが、それぞれ、一長一短があり、使い方によっては、非効率になることがあります。今般導入したコミュニケーションツールを用いることで、職員の働き方改革につなげていきたいと考えています。

診療情報課は、システム内の個人情報保護の核であり、個人情報漏洩事故が起こらないよう努めております。

【実績】

・作成データ数	DPC 様式 1	6,423	件/年
	スキャン取込	26,917	件/年
	がん登録	569	件/年
	診療録の開示請求対応	104	件/年



イメージキャラクター：
つるりん (Tool for Link)



院外利用



スマホ



チャット



ファイル共有

【目標】

1. がん拠点病院の維持
2. より正確な患者データの作成し、期日までに提出すること【DPC 係数の維持】
3. 個人情報の漏洩が起こらないようにすること
4. システム停止などに迅速に対応すること
5. 新電子カルテシステムの課題に対する迅速な対応

【スタッフ紹介】

診療情報課課長・・・・・・・・野口 朋弘（診療情報管理士）
診療情報課課長補佐・・・・・・・・名村 隆（診療情報管理士・がん登録実務中級者）
診療情報係長・・・・・・・・井上 正輔（診療情報管理士・がん登録実務初級者）
システム係長・・・・・・・・飯田 淳 他3名

業績

学会、研究会等発表

No	年月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年11月	第60回全国自治体病院学会	当院に未コード化傷病名が発生した背景：傷病名データとマスターの検証から	井上 正輔	名村 隆、飯田 淳	那覇市

VIII 委員會介紹

Ⅷ 委員会紹介

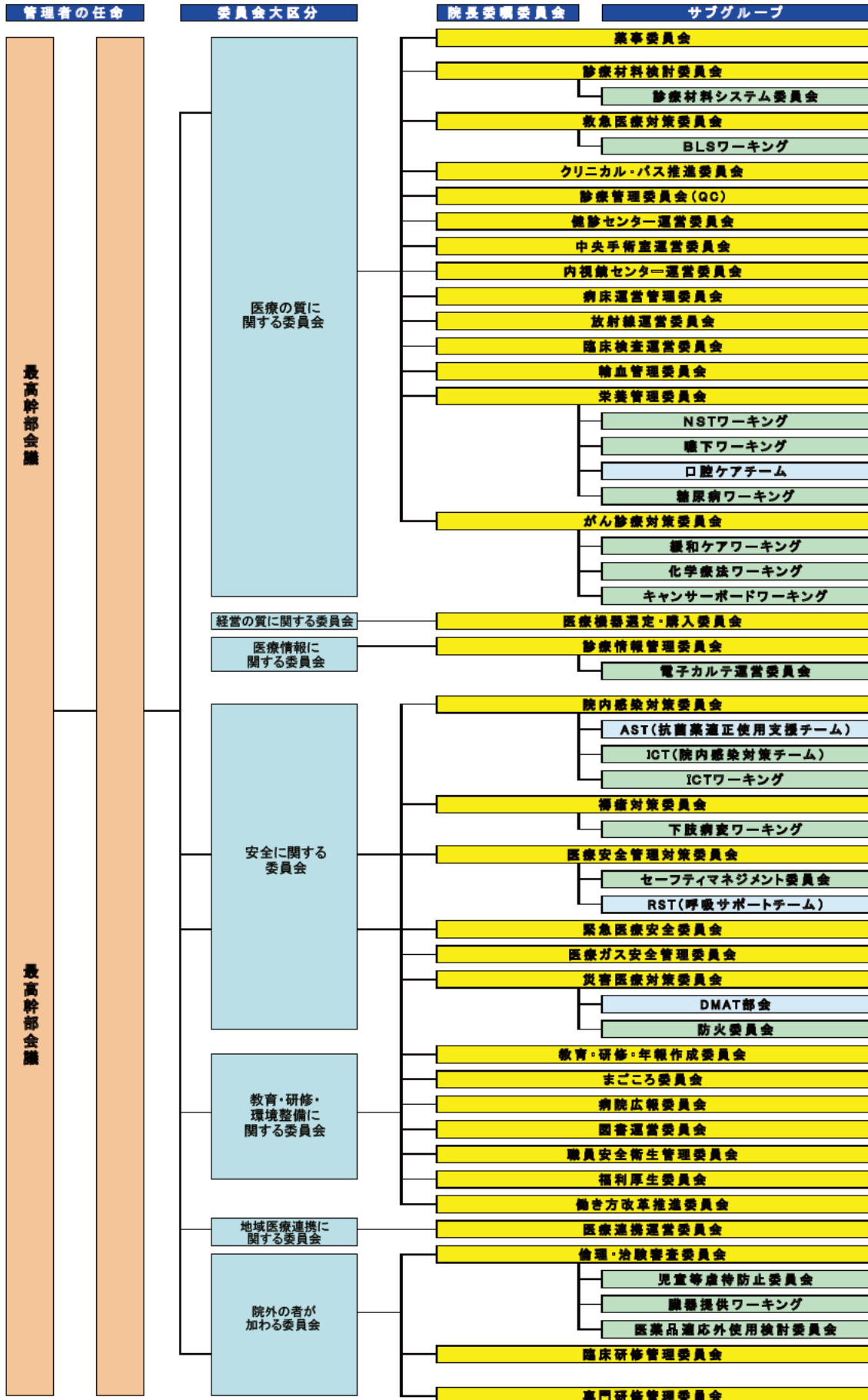
No.		委員会名	目的
1	0	薬事委員会	医薬品の新規採用、医薬品の不良在庫防止、その他における薬剤関連業務の合理化に資する事項を検討することで、病院経営の効率化を図っています。
2	0	診療材料検討委員会	各部署からの要望あるいは材料コスト等を考慮し、適正な診療材料の採用や変更をおこなうことを目的としています。
2	1	診療材料システム委員会	医療材料諸管理の適正化、標準化、並びに定数の適正化を目的としています。
3	0	救急医療対策委員会	救急医療の充実を目的とし、院内及び地域の救急体制について検討を行います。メディカルコントローラー機能検討、消防との連携、受け入れの検証、外来救急体制等幅広く議論を行っています。また、症例検討会も委員会主導で開催しています。
3	1	BLS ワーキング	BLSとは Basic Life Support の略で一次救命処置の事であり、救急プライマリケアの一環として必要なことと考えられます。多くの職員が具体的に学習できるように研修会の開催を計画しています。
4	0	クリニカル・パス推進委員会	医療の質の向上のため、院内クリニカルパスの使用推進を行い、適用率の向上を目的としています。
5	0	診療管理委員会 (QC)	外来・病棟部門の業務及び業務連携を円滑にすること、ならびに患者に対する医療の質の向上について検討することを目的としています。
6	0	健診センター運営委員会	健診センターにおける方針管理、運用、各部門の調整を目的としています。健診部門においては、他部署との健診調整が重要であり、計画的な運用のためには密に連携をとっていく必要性が高く、健診センター長を中心に運用方針を決定しています。また、市役所など他機関との調整・連携も行っています。
7	0	中央手術室運営委員会	中央手術室の適切な管理と運営に関する検討を行うことを目的としています。
8	0	内視鏡センター運営委員会	内視鏡室の適正な管理と運営を検討することを目的としています。
9	0	病床運営管理委員会	病床の適切な管理と効率的な運営に関する検討を行い、高度急性期のHCU（ハイケアユニット）、急性期の一般病棟、回復期の地域包括ケア病棟を患者の病状に応じて適切な選択すること等を目的としています。
10	0	放射線運営委員会	放射線検査における患者および職員の安全に関する検討ならびに被ばく管理に関する取り組み、その他放射線に関する事項について審議を行います。
11	0	臨床検査運営委員会	臨床検査の適正な管理及び合理的な運営を図ることを目的としています。
12	0	輸血管理委員会	安全で適正な輸血の在り方をサーベイランスするために設置されています。輸血療法の適応、血液製剤の選択と適正使用、輸血マニュアルの整備、血液製剤の保管・管理と使用状況調査、事故・副作用・合併症の把握と対策、輸血関連情報の伝達、院内採血・自己血採血などのマニュアルの整備などを話し合い、検討しています。
13	0	栄養管理委員会	患者給食および栄養管理の質向上に資するため、栄養管理、栄養改善に関する事項の検討を目的としています。
13	1	NST ワーキング	患者の栄養状態やQOL向上のため、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士・歯科衛生士など他職種が連携し、栄養管理・栄養改善について検討することを目的としています。
13	2	嚥下ワーキング	嚥下障害に対する共通認識を持ち、スムーズに退院できることを目指しています。
13	3	口腔ケアチーム	1、外来及び入院患者の口腔内管理を他職種と連携し支援する。 2、口腔ケアの知識の共有とスキルアップを図る
13	4	糖尿病ワーキング	外来及び入院患者の糖尿病療養生活を多職種連携し支援します。院内・院外問わず、地域住民の方々に糖尿病への理解と関心を深めて頂けるように啓蒙活動を行います。糖尿病治療にあたり療養支援に関する知識の共有とスキルアップを図ります。

No.		委員会名	目的
14	0	がん診療対策委員会	がん診療連携拠点病院としてその役割を果たし、機能強化にかか る事業を推進することを目的としています。
14	1	緩和ケアワーキング	当院における緩和ケアの充実を図ることを目的としています。
14	2	化学療法ワーキング	がん化学療法に関わる諸問題の討議や治療計画（レジメン）を科 学的根拠に基づき審査し、組織学的に統括、管理し安全に化学療 法を行うことを目的としています。
14	3	がん患者さんボードワーキング	がん患者さんの病態に応じたより適切ながん医療の提供ができ るよう他職種によるカンファレンスの場を定期的に設けられるよ うに活動しています。また、地域がん診療連携拠点病院として院 内におけるがん治療の把握と共有を図ることを目的としています。
15	0	医療機器選定・購入委員会	医療機器等の新規導入または更新に際し、業務効率及び患者サー ビス向上にふさわしい機器を整備することを目的としています。
16	0	診療情報管理委員会	診療情報の適切な記録と管理及び、医療情報システムの運営、開 発についての諸問題を検討し、診療情報の適切な管理と業務の効 率化を図ることを目的としています。
16	1	電子カルテ運営委員会	電子カルテの適切な運営・管理・改善に係わる事項を審議するこ とを目的としています。
17	0	院内感染対策委員会	院内感染予防と拡大防止を積極的に推進し、院内感染管理の万全 を期するとともに、院内感染が発生した際にはその対策を樹立さ せ、ICTと連携して周知徹底することを目的としています。
17	1	AST（抗菌薬適正使用支援チーム）	院内感染対策委員会での決定事項に沿って、感染症患者への適時 介入や診断の支援、抗菌薬適正使用を現場で支援する組織です。 また抗菌薬適正使用に向けたサーベイランスや教育・啓発を行う ことを目的としています。
17	2	ICT（院内感染対策チーム）	院内感染対策委員会の下部組織であり、感染対策を現場で推進す る実働組織です。院内感染状況を把握・介入・評価を行い、感染 対策の改善と感染率の低減に努めることを目的としています。
17	3	ICTワーキング	院内感染対策委員会での決定事項に沿ってICTの指示により、感 染対策を実践現場で実施・指導する実働組織です。また、ICTと 共にサーベイランスを実施し、感染対策改善と感染率の低減に努 めることを目的としています。
18	0	褥瘡対策委員会	入院患者の褥瘡予防と改善を図り、安心・安全な医療を提供する ため改善・対策を検討を目的としています。
18	1	下肢病変ワーキング	他疾患で入院し見過ごしてしまいがちな下肢病変患者を早期発見 し、早期に予防治療が行える下肢病変患者を入院中にピックアップ し、外来治療・ケアに継続していく。
19	0	医療安全管理対策委員会	医療安全管理対策委員会の目的は、病院における医療事故を防止 し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立することを目的として います。
19	1	セーフティマネジメント委員会	医療安全管理対策規程に基づき設置されたセーフティマネー ジャーを中心に、医療安全管理対策を実効あるものにするため、 事故の原因分析や事故防止の具体策について、問題解決のためグ ループに分かれて調査・検討対策することを目的としています。
19	2	RST（呼吸サポートチーム）	RST（Respiratory Support Team: 呼吸ケアサポートチーム）は、 主に人工呼吸器を装着した患者を対象に、医師、看護師、理学療 法士、歯科衛生士や臨床工学技士などの多職種が集まって活動す るチームです。 具体的な内容は、呼吸ケアチーム回診で、人工呼吸器を装着した 患者が適切な人工呼吸器設定となっているかの確認や、安全管理 が守られているかどうか、人工呼吸器関連の合併症予防が適切に 行われているかの確認などを行い、人工呼吸器からの早期離脱を 目指します。その確認したことを臨床の現場に提案や提言として 還元し、より適正な人工呼吸器管理をサポートします。
20	0	緊急医療安全委員会	病院における重大医療事故の発生時に速やかに対応する体制を整 えることを目的としています。
21	0	医療ガス安全管理委員会	医療ガス（診療の要に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用 圧縮空気、窒素等をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を 確保することを目的としています。

No.		委員会名	目的
22	0	災害医療対策委員会	災害医療全般、防災・防火に関することを取り扱い、地域災害拠点病院としての体制整備、日常の防災対策を主として取り扱うことを目的としています。
22	1	DMAT 部会	災害医療対策委員会の下部に位置し、院内 DMAT の情報共有及び技能維持が目的です。平時において、DMAT メンバーは病院の組織上横断的に配置されているため、院内においてはこの部会が唯一の正式な病院組織となっております。
22	2	防火委員会	日常の防火対策及び訓練について検討することを目的としています。
23	0	教育・研修・年報作成委員会	医療安全管理体制の確立及び、職員の技術・知識等の向上のため、研修会等の開催を企画・管理し、職員の資質向上を図るとともに、病院年報の作成を目的としています。
24	0	まごころ委員会	まごころ委員会の目的は、橋本市民病院におけるコミュニケーションの強化をはかり、患者サービスの向上を目指すことを目的としています。
25	0	病院広報委員会	橋本市民病院の事業活動を正確かつ迅速に職員に周知させるとともに、市民に対する広報・広聴活動を行うことを目的としています。
26	0	図書運営委員会	図書室の適切な運営管理と利用促進、図書・文献の整理を目的としています。
27	0	職員安全衛生管理委員会	労働安全衛生法第18条の規定により次の事項を調査審議し、職員の意見を収集することを目的としています。 (1) 労働者の健康障害を防止するための基本となるべき対策にすること (2) 労働者の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること (3) 労働災害の原因及び再発防止対策で、衛生に係るものに関すること (4) 前3号に掲げるもののほか、労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項
28	0	福利厚生委員会	職員相互の親睦と福利厚生の増進を図ることを目的としています。
29	0	働き方改革推進委員会	2019年6月に働き方改革関連法が成立し、2024年4月から勤務医の時間外労働時間の上限が制限されます。当院においても医師を中心とした働き方改革を進めていくにあたり、「医師の働き方改革ワーキングチーム」と「多職種による働き方改革ワーキングチーム」の2チームを立ち上げ、それぞれのワーキングチームの視点から働き方改革に取り組んでいくことを目的としています。
30	0	医療連携運営委員会	病病・病診連携推進、保健・介護・福祉機関との連携協力体制の強化、これらに対する院内・院外への啓蒙活動を図ることを目的としています。
31	0	倫理・治験審査委員会	倫理・治験審査委員会は下記の目的を以って組織しています。 ・倫理・治験審査委員会の目的は、臨床倫理的課題（医療行為の妥当性、終末期医療、脳死判定、宗教に関する問題など）に対する病院の方針を審議し明確にする。 ・臨床倫理的課題に対する病院の方針を職員に周知する ・病院長が治療及び研究について実施の可否を決定するための諮問機関として審議するため ・橋本市民病院治験取扱規程（平成18年橋本市病管規程10号）第2条第1項の規定により、橋本市民病院において治験を行うことの適否、その他の治験に関する調査審議を行うため
31	1	児童等虐待防止委員会	子どもへの虐待対応マニュアル等を整備し、児童等虐待の早期発見に努め、早期に対応策していくことを目的としています。
31	2	臓器提供ワーキング	臓器提供の希望があった時に、患者家族さんからの希望に添えるよう臓器提供体制を構築することを目的としています。
31	3	医薬品適応外使用検討委員会	医薬品の適応外使用についての安全供給を検討しています。
32	0	臨床研修管理委員会	橋本市民病院とその協力病院における初期臨床研修に係わるすべての事項について審議を目的としています。
33	0	専門研修管理委員会	橋本市民病院における新専門医制度に係わるすべての事項についての審議を目的としています。

委員会組織図

2022年度 院内各種委員会一覧



Ⅸ 連携登録医名簿

橋本市民病院連携登録医療機関リスト (130 医療機関)

橋本市民病院連携登録医 (医科 91 医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本北部	1	おおはぎ眼科	大萩 康子		眼科
	2	おおはぎ内科	大萩 晋也	○	内科 胃腸科 呼吸器科 リハビリテーション科 小児科
	3	医療法人 橋本孝佑会 奥野クリニック	奥野 孝	○	脳神経外科 外科 内科 神経内科 放射線科 整形外科 リハビリテーション科
	4	きみが丘クリニック	康 龍男	○	内科 アレルギー科 血液内科 小児科 皮膚科
	5	しらすぎ台クリニック 山内耳鼻咽喉科	山内 一真		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	6	医療法人 曾和医院	曾和 正	○	内科 小児科 消化器科 循環器科 アレルギー科
	7	田倉皮膚科クリニック	田倉 学		皮膚科 内科
	8	藤堂診療所	藤堂 泰三		内科 皮膚科 外科 理学療法
	9	ナサコ内科	名迫 由美子		内科 漢方治療
	10	ひぶせ耳鼻咽喉科	火伏 宏美		耳鼻咽喉科
	11	みなみ胃腸肛門科・外科	南 浩二	○	胃腸科 肛門科 外科 内科 皮膚科 放射線科
	12	めがね先生の上田こどもクリニック	上田 悟史		小児科
	13	医療法人 緑横会 横田整形外科	横田 英史	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科 放射線科
	14	吉川こどもクリニック	吉川 明男		小児科
70	いわくらクリニック	岩倉 伸次	○	内科 消化器内科 肛門外科	
橋本東部	15	いこまレディースクリニック	生駒 久男		産婦人科 心療内科 内科
	16	稲垣医院	稲垣 侑		皮膚科 泌尿器科 外科
	17	医療法人 博周会 梅本診療所	梅本 博昭	○	内科 消化器内科 外科 整形外科
	18	医療法人 岡田整形外科	岡田 正道		整形外科 リハビリテーション科 放射線科
	19	医療法人 仁清会 岡本クリニック	岡本 一仁	○	麻酔科 (ペインクリニック) 内科
	20	奥村マタニティクリニック	奥村 嘉英		産婦人科 内科 小児科
	21	奥村レディースクリニック	向林 学		婦人科
	23	小西内科医院	小西 紀彦	○	内科
	24	小林医院	小林 克祐		内科 循環器 東洋医学
	25	医療法人 わかば会 田中診療所	田中 耕治	○	内科 糖尿病 漢方
	26	医療法人 谷内クリニック	谷内 まゆみ / 谷内 俊文		内科 (総合・消化器・循環器・呼吸器) アレルギー科 小児科 リハビリテーション科
	27	医療法人 涼悠会 トメモリ眼科・形成外科	留守 良太 / 留守 祥子		眼科 形成外科 美容整形
	28	豊澤医院	豊澤 浩	○	内科 小児科
	29	医療法人 佑々会 林耳鼻咽喉科	林 泰弘		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	30	火伏医院	火伏 總子	○	内科
	32	松園胃腸科・内科	松園 泰彦		消化器内科 内科 胃腸科 放射線科
	33	医療法人 南クリニック胃腸肛門科	南 光昭	○	内科 外科 肛門外科 皮膚科 消化器内科
	34	森本胃腸肛門科	森本 悟一	○	胃腸科 肛門科 外科 内科
	134	つきやま眼科クリニック	月山 純子		眼科 コンタクト

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本西部	35	伊藤クリニック	伊藤 洋	○	外科 内科 消化器内科 / 外科 呼吸器内科 整形外科 脳神経外科 泌尿器 循環器内科
	36	植阪クリニック	植阪 和修	○	胃腸内科 外科 内科 肛門外科
	37	医療法人 狩谷産婦人科	狩谷 功		婦人科 内科
	38	医療法人 河原整形外科	河原 史郎		整形外科
	39	栗山クリニック	栗山 司	○	外科 内科 胃腸科 整形外科 脳神経外科 リハビリテーション科
	40	医療法人 青藍会 小林医院	小林 豊和	○	内科 小児科 循環器 放射線科
	41	医療法人 セセラギ会 小林診療所	田中 英治	○	内科 循環器内科
	42	阪上医院	阪上 良行		内科
	43	たきわき皮膚科クリニック	瀧脇 弘嗣		皮膚科
	44	医療法人 辻本クリニック	辻本 俊和	○	循環器内科 消化器内科 内科 小児科 脳神経外科 整形外科 禁煙外来
	45	虎谷内科小児科医院	虎谷 彰久	○	内科 小児科 消化器科 循環器
	46	医療法人 康紀会 なかいクリニック	中井 康人	○	心療内科 精神科 内科 神経科
	47	ハギノ眼科クリニック	萩野 雅洋		眼科
	49	松岡医院	松浦 良光	○	整形外科 外科 内科
	50	医療法人 森下会 森下クリニック	森下 昌亮	○	内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 リハビリテーション科 放射線科
かつらぎ町	51	上田内科	上田 和夫		内科
	52	上田消化器・内科クリニック	上田 和樹	○	内科 消化器内科
	53	上田神経科クリニック	上田 英樹		老年精神科
	54	木秀クリニック	横手 秀行		内科 整形外科 脳神経外科 神経内科
	55	医療法人 仁人会 北林医院	北林 佳憲		整形外科 外科
	56	黒岩クリニック	黒岩 丈清	○	内科 胃腸科 循環器科 呼吸器科 放射線科 理学療法科 内視鏡科
	57	阪中外科	阪中 孝三	○	内科 外科 整形外科
	58	たかの耳鼻咽喉科	高野 郁晴	○	耳鼻咽喉科
	59	医療法人 永野医院	永野 公一	○	内科 消化器 循環器 呼吸器
	60	馬場眼科	馬場 幸男	○	眼科
	61	医療法人 九曜会 前田医院	前田 至規	○	内科 小児科
	63	医療法人 幸生会 米田小児科医院	米田 勝紀		小児科 アレルギー科
	136	にじいろ内科クリニック	岡本 美保		内科 老年内科
九度山町	64	医療法人 萩会 萩原内科・小児科	萩原 正史	○	内科 小児科
	65	医療法人 淳雄会 保脇整形外科医院	保脇 淳之	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
	66	医療法人 英裕会 横手クリニック	横手 英義 / 横手 裕子	○	脳神経外科 整形外科 外科 リハビリテーション科 循環器内科 胃腸内科 呼吸内科
高野町	67	花谷医院	花谷 誠也	○	内科
	68	富貴診療所	田中 利平	○	内科
	69	高野町立高野山総合診療所	廣内 幸雄	○	総合診療
岩出市	133	レディースクリニック和	帽子 英二		婦人科 産婦人科

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
五條市	71	足立医院	足立 聡	○	内科 小児科 婦人科
	72	医療法人 岩井内科・皮膚科	岩井 務 / 岩井 佐代子	○	内科 循環器科 リハビリテーション科 皮膚科
	73	右馬医院	右馬 文彦		内科
	74	医療法人 南和会 大川橋診療所	小延 知暉	○	内科 外科 小児科 放射線科 整形外科 消化器内科 肛門科 リハビリテーション科
	75	鎌田医院	鎌田 修		内科
	76	医療法人 鎌田医院 賀名生診療所	鎌田 勝三郎	○	内科 放射線科
	77	医療法人 鎌田医院 田園診療所	鎌田 勝三郎	○	内科 婦人科
	78	医療法人 社団恵生会 後藤医院	後藤 寛	○	内科 小児科 放射線科 産婦人科
	79	医療法人 阪口眼科	阪口 昌子	○	眼科
	80	寒川医院	寒川 英明	○	内科 外科
	81	医療法人 素心会 杉崎医院	杉崎 俊照	○	内科 外科 消化器科 乳腺科 肛門科 リハビリテーション科
	82	竹本医院	竹本 成一	○	内科
	83	医療法人 桜翔会 田畑医院	田畑 尚一	○	泌尿器科 内科 人工透析科
	84	辻田クリニック	辻田 重信		内科 消化器科 放射線科
	85	医療法人 中垣整形外科	中垣 公男		整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
	86	中谷内科医院	中谷 吉宏	○	内科
	88	ひらい内科クリニック	平井 妙代子		内科 呼吸器科 アレルギー科
	89	前防医院	前防 則彦	○	内科
	90	横野医院	横野 久春	○	内科 消化器科
	91	医療法人 水本整形外科	水本 茂		整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
92	医療法人 山田医院	山田 宏治	○	内科	
135	森川耳鼻咽喉科	森川 大樹		耳鼻咽喉科	

橋本市民病院連携登録医(歯科 39医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	標榜
橋本北部	93	岩上歯科	岩上 正嗣	歯科
	94	おかもと歯科クリニック	岡本 光裕	歯科
	95	加藤歯科医院	加藤 大太郎	歯科
	96	ひまわり歯科医院	花岡 政文	歯科
	98	堀切歯科診療所	堀切 卓	歯科
	99	森歯科医院	森 公伸	歯科
	100	森田歯科医院	森田 滋子	歯科
	101	いわかみ歯科医院	岩上 訓男	歯科
	102	おかだ歯科クリニック	岡田 隆秀	歯科
	103	落合デンタルオフィス	落合 茂弘	歯科
	104	海堀歯科医院(古佐田)	海堀 昭彦	歯科
	105	こじま歯科医院	小嶋 一史	歯科
	106	後藤歯科	後藤 彰基	歯科
	107	隅田歯科医院	隅田 素能子	歯科
	108	つちだ歯科医院	土田 雅久	歯科
高野口町	109	とよざわ歯科クリニック	豊澤 悟	歯科
	110	ほりはた歯科医院	堀畑 幸則	歯科
	111	三木歯科医院	三木 修三	歯科
	112	村上歯科医院	村上 浩孝	歯科
	113	海堀歯科医院(学文路)	海堀 昭登志	歯科
	114	下田歯科クリニック	下田 隆志	歯科
	115	はたの歯科クリニック	畑野 修一	歯科
かつらぎ町	116	石川歯科医院	石川 哲也	歯科
	117	喜多歯科医院	喜多 義郎	歯科
	118	辻歯科医院	辻 正信	歯科
	119	辻本歯科クリニック	辻本 和弥	歯科
	120	守内歯科医院	守内 一誠	歯科
	121	吉川歯科医院	吉川 武志	歯科
高野町	122	うちた歯科	内田 憲二	歯科
	123	恩地歯科医院	恩地 良幸	歯科
	124	木村歯科医院	木村 幸弘	歯科
	125	楠井歯科医院	楠井 貴介	歯科
	126	阪中歯科	阪中 孝之	歯科
	127	たえなか歯科クリニック	妙中 泰之	歯科
	128	田村歯科クリニック	田村 修志	歯科
	129	医療法人歯優会 中島歯科医院	中島 毅	歯科
	130	中平歯科医院	中平 良基	歯科
	131	ゆあさ歯科医院	湯浅 祥司	歯科
132	わしみね歯科医院	鷲峰 賢昭	歯科	

(2023年3月31日現在)

橋本市民病院 教育・研修・年報作成委員会

委員長	診療部	整形外科筆頭部長	林 未統
副委員長		病院長	駿田 直俊
委員	診療部	脳神経外科部長	大饗 義仁
委員	診療部	歯科口腔外科部長	田中 章夫
委員	看護部	5階東病棟副師長	前垣内 真由美
委員	診療技術部	薬剤部主任	木村 ナオ子
委員	診療技術部	放射線科副技師長	三木田 正夫
委員	診療技術部	臨床検査科指導員	山崎 いずみ
委員	診療技術部	リハビリテーション科主任	松本 隆幸
委員	診療技術部	栄養管理科技師長	藤本 佐和子
委員	地域医療部	入退院支援室室長補佐	泉本 大祐
委員	地域医療部	地域医療連携室室長補佐	山内 壮一
委員	事務局	事務局長	池之内 正行
委員	事務局	総務課	阪本 実優
委員	事務局	医事課	片山 倫誠
委員	事務局	総務課	大江 将人
委員 (年報編集担当)	事務局	診療情報課課長補佐	井上 正輔

橋本市民病院 2022年度 病院年報

発行・編集 : 橋本市民病院

〒648-0005 和歌山県橋本市小峰台2-8-1

電話(0736)37-1200 Fax(0736)37-1880

ホームページ <http://www.hashimoto-hsp.jp>

発行年月 : 2023年9月

